

2025_{年度}

外国語学部

履修要項

[2025 年度入学者用]

FACULTY OF FOREIGN LANGUAGES

TAKUSHOKU UNIVERSITY

学生のみなさんへ

1. この『履修要項』は卒業まで使用するものです。
再交付は行いませんので、卒業まで大切に保管してください。
2. 『履修要項』は、冊子を配付する他にポータルサイト（Takudai Portal）にPDF版を公開していますので、ご利用ください。
3. 『履修要項』配付後に生じた変更等は、ポータルサイト（Takudai Portal）や年度初めに配布される「履修登録資料」等を通じてお知らせします。
4. 履修科目を選択する前に、この『履修要項』を熟読し、所属する学科のカリキュラムを十分に理解してください。
5. 履修・試験・成績等について分からないことがありましたら、八王子学務課窓口で直接質問してください（質問について間違いのないように回答するために、電話による問い合わせは受け付けていません）。

目次

外国語学部 学士課程教育に関する基本方針	1
I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	3
II. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	6
履修についての一般事項	11
I. 授業について	13
1. 学期・授業期間	13
2. 授業時間	13
3. 科目	13
4. 休講	13
5. 補講	14
6. 欠席	14
7. 連絡	14
8. 問い合わせ	14
II. 単位について	15
III. 履修登録について	15
1. カリキュラム	15
2. 履修登録の基本事項	15
3. 履修登録の手続き	16
4. 履修登録取消制度	16
5. 再履修	16
IV. 試験について	17
1. 学期試験	17
2. 追試験	18
3. 再試験	19
V. 成績について	20
1. 成績発表	20
2. 成績照会	20
3. 成績評価	20
4. GPA制度	21
5. 修学指導	22
6. 厳格な成績評価への取組	23
7. 入学前に他大学等で修得した科目の単位認定	23
8. 大学院科目 早期履修制度	24

VI. 履修⇒授業⇒試験⇒成績発表フロー	26
VII. 鉄道運行停止時の授業・学期試験の取り扱いについて	28
1. 鉄道運行停止時の授業・学期試験の取り扱い	28
2. 大震災に基づく警戒宣言が発せられた場合の授業・学期試験の対応	28
外国語学部における履修	29
I. 教育課程（カリキュラム）について	31
1. 教育課程の構成	31
II. 卒業・進級要件について	32
1. 卒業要件	32
2. 進級要件	33
III. 科目の履修方法について	35
1. 全学共通教養科目の履修方法	35
2. 専門科目の履修方法	35
3. 第二外国語の履修方法（学科横断科目）	36
4. 自由科目の履修方法	37
5. 履修者数の調整（登録制限・抽選）について	37
IV. 卒業研究について	38
1. 卒業研究について	38
V. 履修登録の制限について	40
VI. 単位認定科目について	41
1. 「海外研修」	41
2. 「実務研修」	41
VII. 単位互換制度について	42
1. 「大学コンソーシアム」	42
授業科目配当表	43
1. 全学共通教養科目配当表	45
2. 英米語学科 専門科目・自由科目配当表	46
小学校英語指導者資格	48
履修モデル	49
3. 中国語学科 専門科目・自由科目配当表	54
履修モデル	56
4. スペイン語学科 専門科目・自由科目配当表	58
履修モデル	60
5. 国際日本語学科 専門科目・自由科目配当表	62
「日本語教員試験」対応プログラム	66
履修モデル	68

「カリキュラム・マップ」「科目ナンバリング」及び「カリキュラム・ツリー」	73
1. カリキュラム・マップ	75
2. 科目ナンバリングとカリキュラム・ツリー（履修系統図）	76
3. カリキュラム・マップ及び科目ナンバリング、カリキュラム・ツリー	81
1. 全学共通教養科目	81
2. 英米語学科	83
3. 中国語学科	88
4. スペイン語学科	92
5. 国際日本語学科	96
教職課程 履修要項	101
拓殖大学日本語教員養成講座 履修要項	113
拓殖大学学則（抄）	121
拓殖大学研究倫理ガイドライン	131

外国語学部
学士課程教育に関する基本方針

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

外国語学部は、専攻言語に関する専門的知識、言語運用能力、社会人として求められる汎用的知識・技能・能力、および社会の一員として生きる意欲・姿勢と課題発見・解決能力を身につけ国内外を問わず居住する地域や社会で協働できる人を社会に送り出すことを目指す。各学科は、そのために十分な教育、研究指導を行い、各学科の示す到達目標に達した者に当該学科の学士の学位を授与する。

■■ 英米語学科 ■■

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的・的確な英語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（英米語）の学位を授与する。

ア. 専門的知識の修得

英語や英語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

イ. 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答える英語の実践的な運用能力を身につけている。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブラーナーの力を身につけている。

オ. 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

■■ 中国語学科 ■■

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的・的確な中国語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（中国語）の学位を授与する。

ア. 専門的知識の修得

中国語や中国語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

イ. 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答える中国語の実践的な運用能力を身につけている。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブラーナーの力を身につけている。

オ. 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

■■ スペイン語学科 ■■

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的的確なスペイン語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（スペイン語）の学位を授与する。

ア. 専門的知識の修得

スペイン語やスペイン語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

イ. 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答えるスペイン語の実践的な運用能力を身につけている。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブラーナーの力を身につけている。

オ. 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

■■ 国際日本語学科 ■■

1. 卒業時までの到達目標

豊かな専門的知識と実践的で的確な日本語運用能力とコミュニケーション能力、さらに多文化共生を志向する国際感覚を持ち、地域社会や国際社会の課題発見と解決に貢献し、社会の一員として判断・行動できる人材を育成する。

以下の到達目標（知識、技能、意欲、協働力等）に達した者に学士（日本語）の学位を授与する。

ア. 専門的知識の修得

日本語や日本文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

イ. 言語運用能力の修得

時代の変化と社会の課題に答える日本語の実践的な運用能力を身につけている。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の修得

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブラーナーの力を身につけている。

オ. 課題発見・解決能力の修得

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

2. 卒業後の進路

同課程の教育課程を修め、上記の到達目標に十分達したと認められた学位取得者は、異文化コミュニケーションの素養を備えており、言語・文化の研究者、教育者、エキスパートとして、各種ビジネス業界、官公庁、社会貢献活動等多様な分野での活躍が期待される。これらの活動を通じて、本学科は日本と国際社会との良好な関係の構築と維持、ならびに日本の地域活性化、国際化に貢献する。

Ⅱ. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

外国語学部は、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえ、以下の点を重視した教育課程を編成し実施する。専攻言語に関する専門的知識と言語運用能力、時代の変化に対応した汎用的技能を高め、地域や国際社会の一員としてふさわしい幅広い知識と教養の修得、異文化に対する柔軟な姿勢と協働問題解決力を育成する。

■ ■ 英米語学科 ■ ■

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

ア. 専門的知識の育成

英語圏の言語・社会・文化・歴史・経済等に関する専門的知識を育成し、専門演習ゼミナールを通して、卒業論文、研究、発表により学修を総合化する。

イ. 言語運用能力の育成

- ・ 1年次に専門的学修の基礎、2年次にアカデミックな英語運用能力を伸ばすための科目、3年次には内容（教科）と言語（英語）を同時に修得する科目を置く。
- ・ 3、4年次開講科目へスムーズに適応できるよう、基礎から応用へと段階的・発展的に学修できる科目を置く。
- ・ 英語教育科目群においては、英語教師として現場で活躍できるだけの知識と能力が身につくよう、教育方法についての理論と実践の科目を開講する。これらの学修は英語教員を目指す学生にとっても必須のものである。
- ・ ビジネスコミュニケーション科目群には、ビジネスの世界で活躍したい学生が、貿易実務などに携わるのに必要な実用的な英語の使い方に関して知見を深められる科目を置く。
- ・ 通訳・翻訳科目群においては、企業や団体で通訳や翻訳といった業務に対応するために必要な知識とスキルを体系的に学ぶ科目を置く。
- ・ 英語学科目群においては、言葉としての英語そのものに興味ある学生が音声・語彙・文法などのしくみをしっかり学び、本学大学院言語教育研究科での進学にもつながる科目を置く。
- ・ 地域研究科目群においては広く英語・英語文化に関わる進路を目指す学生が、英語・英語文化に関しての知見を深められる科目を置く。
- ・ 英語以外の言語に対する理解を深め、その言語の運用能力を向上させるために、外国語科目を置く。また、生きた場面で言語使用に触れる機会を持てるよう、海外研修・留学プログラムへの積極的な参加を促す。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学部基盤科目群に情報系の科目を置く。
- ・ 情報収集力、情報発信力と論理的思考力はゼミナール科目群を通して指導する。
- ・ 人間関係の構築、維持、発展等に必要コミュニケーション・スキルの涵養は、多くのアクティブ・ラーニング科目を通して指導する。

エ. 社会の一員として生きる姿勢・態度の育成

- ・ 多様化する日本や国際社会に生きる一員であることが自覚できるよう、学科専門科目群のほか、学部教養科目群に異文化理解を深める機会を提供する科目を置く。

- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるように学部基盤科目としてキャリア科目群を置く。

オ. 課題発見・解決能力の育成

- ・国内外で生起する諸問題を日頃から意識し、外国語学部生ならではのリソースから情報を収集、分析し、解決法を模索する姿勢と能力を涵養するため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として、卒業時に論文、研究、発表などを全員に課する。
- ・学科専門科目においても能動的学修の実施を推奨し、協働しながら課題を発見し、解決する機会を可能な限り多く提供する。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価に関しては、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、卒業認定・学位授与方針に沿った学修課程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらに GPA を利用し評価、指導する。

■■ 中国語学科 ■■

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

ア. 専門的知識の育成

- ・中国語圏の言語・社会・文化・歴史・経済等に関する専門的知識を育成するために、1年次より4年次まで、必修の科目を置く。
- ・専門演習ゼミナールを通して、卒業論文により学習を総合化する。

イ. 言語運用能力の育成

- ・正確な発音、文法、語彙、会話表現等の専攻語の理論とアクティブ・ラーニングを積極的に導入したスピーチやプレゼンテーションさらには通訳・翻訳・討論による高度で実践的な言語運用能力を育成する。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学部基盤科目群に情報系の科目を置く。
- ・情報収集力、情報発信力と論理的思考力はゼミナール科目群を通して指導する。
- ・人間関係の構築、維持、発展等に必要なコミュニケーション・スキルの涵養は、多くのアクティブ・ラーニング科目を通して指導する。

エ. 社会の一員として生きる姿勢・態度の育成

- ・多様化する日本や国際社会に生きる一員であることが自覚できるよう、学科専門科目群のほか、学部教養科目群に異文化理解を深める機会を提供する科目を置く。
- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるように学部基盤科目としてキャリア科目群を置く。

オ. 課題発見・解決能力の育成

- ・国内外で生起する諸問題を日頃から意識し、外国語学部生ならではのリソースから情報を収集、分析し、解決法を模索する姿勢と能力を涵養するため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として、卒業時に論文、研究、発表などを全員に課する。
- ・学科専門科目においても能動的学修の実施を推奨し、協働しながら課題を発見し、解決する機会を可能な限り多く提供する。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価に関しては、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、卒業認定・学位授与方針に沿った学修課程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらに GPA を利用し評価、指導する。

■■ スペイン語学科 ■■

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配当においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

ア. 専門的知識の育成

- ・専門教育科目は必修科目、選択科目 I 及び選択科目 II の三つの構成とし、基礎・発展・完成と卒業まで体系的に学べるように編成する。
- ・専門選択科目においては、履修モデルを示しキャリア目標に応じた学習を可能にする。言語の仕組みについて専門的知識を修得すると同時に、4技能の向上を図る。
- ・また、スペイン語圏の社会問題、ビジネス、文化、歴史、文学、芸術などを理解し、言語と文化の関連性を分析できる能力を培う。

イ. 言語運用能力の育成

- ・実践的で的確な母語及び外国語の運用能力とコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・専門選択科目では、キャリア目標に応じた学習を可能にする。文法、語彙、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングなどの言語スキルを磨き、実際のコミュニケーションに役立てることを重視する。スペイン語以外の外国語科目初級は1年間必修(週2回)、中級は選択科目(週1回)として履修年次は自由に選べるように設定し、多様性について学び、情報や知識を多面的かつ論理的に分析し、表現できる能力を育成する。
- ・CEFRの指標に照らし合わせた学修成果が得られているか検証する。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学部基盤科目群に情報系の科目を置く。
- ・情報収集力、情報発信力と論理的思考力はゼミナール科目群を通して指導する。
- ・人間関係の構築、維持、発展等に必要コミュニケーション・スキルの涵養は、多くのアクティブ・ラーニング科目を通して指導する。

エ. 社会の一員として生きる姿勢・態度の育成

- ・多様化する日本や国際社会に生きる一員であることが自覚できるよう、学科専門科目群のほか、学部教養科目群に異文化理解を深める機会を提供する科目を置く。
- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるように学部基盤科目としてキャリア科目群を置く。
- ・相互学習能力の育成：1年次から相互学習を導入し、2年次以降はプレゼンテーション、グループワークなどを取り入れ、他者との対話を通して方向性を見出し、目標実現のために行動できる能力を育成する。

オ. 課題発見・解決能力の育成

- ・国内外で生起する諸問題を日頃から意識し、外国語学部生ならではのリソースから情報を収集、分析し、解決法を模索する姿勢と能力を涵養するため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として、卒業時に論文、研究、発表などを全員に課する。
- ・3・4年次ゼミナールでは演習やプロジェクトを組み込み、課題解決及び目的達成のために協働学習をおこない自主的・自律的に物事に取り組む能力を高めるカリキュラムを編成する。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価に関しては、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、卒業認定・学位授与方針に沿った学修課程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらに GPA、CEFR を利用し評価、指導する。学修成果が CEFR の指標に照らし合わせて達成されているか検証する。

■■ 国際日本語学科 ■■

1. 教育課程の編成

教育課程の編成にあたっては「卒業認定・学位授与の方針」に謳う人材育成のために、以下の5点を重視する。科目の配置においては、基礎から応用に向かう順次性、科目の目標・方法の系統性にも配慮する。

ア. 専門的知識の育成

- ・日本語に関わる専門的学修の基礎を学ぶために必修科目の科目群を置く。
- ・日本語教師として国内外の現場で活躍できるだけの知識と能力が身につくよう、選択科目Ⅱ（日本語教育）の科目群を置く。
- ・日本語・日本文化に関わる進路、あるいは国語教員を目指す学生が、日本語・日本文化に関しての知見を深められるよう、選択科目Ⅱ（日本語・日本文化）の科目群を置く。

イ. 言語運用能力の育成

- ・日本語文法、文章表現法の理解を深め、さらに日本語の表現能力を幅広く向上させられるよう、選択科目Ⅰに文法系、表現系の科目群を置く。
- ・日本語以外の言語に対する理解を深め、その言語の運用能力を向上させるために、外国語科目群をおく。また、生きた場面で言語使用に触れる機会を持てるよう、海外研修・留学プログラムへの積極的な参加を促す。
- ・留学生の日本語運用能力向上のために選択科目Ⅰ・日本語(留学生)科目群を必修とする。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の育成

- ・ICT、データサイエンスについての基本的知識と技能、ならびに基本的な数量的分析能力を向上させるために、学科基盤科目（情報）の科目群を置く。情報リテラシーと論理的思考力は、ゼミナール科目群の各科目を通して指導する。
- ・コミュニケーション・スキル、社会人として必要なスキルの涵養は、ゼミナールをはじめとする多くの科目で実施される能動的学修形態を通じて行う。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の育成

- ・多様化する日本や国際社会に生きる一員であることを自覚し、異文化間理解/交流に積極的に取り組めるよう、日本人学生と留学生がほぼ同数という学科固有の学生構成と能動的学修形態を組み合わせた学修環境を提供する。
- ・卒業後のキャリアパスを早くから意識し、国内外の変化に柔軟に対応していく姿勢を身につけられるよう、学部基盤科目（キャリア）の科目群を置く。

オ. 課題発見・解決能力の育成

- ・事態を観察、調査・研究・解決する能力の涵養のため、ゼミナール科目群では自ら課題を設定し、解決を模索する能動的学修を行う。その集大成として「卒業論文」を全員に課する。
- ・学科専門科目においても能動的学修の実施を推奨し、協働しながら課題を発見し、解決する機会を可能な限り多く提供する。

2. 学修成果の評価について

学修成果の評価については、予め、学生に各授業科目の到達目標、授業計画、予習・復習及び成績評価の方法等を明示したうえで、「卒業認定・学位授与の方針」に沿った学修過程を重視しつつ、成績評価基準に基づき厳格に行う。さらに GPA を利用し評価、指導する。

 *MEMO* 

履修についての一般事項

I. 授業について

1 学期・授業期間

1つの学年は2学期制となっており、学則上では**前期**（4月1日～9月30日）と**後期**（10月1日～3月31日）に分かれています。

ただし、学年暦（1年間の日程表）は年度毎に決まり、実際の授業期間は年度によって異なります。また、各曜日の授業回数を十分に確保するため祝日に授業を実施する場合があります。詳細は毎年配付される学年暦を参照してください。

2 授業時間

授業は、1時限105分で、原則として週単位で編成された授業時間割に従って、以下の時間帯で行われます。時間帯は両キャンパス統一です。

時 限	授 業 時 間 帯
1時限	9：20～11：05
2時限	11：15～13：00
昼休み	(13：00～13：50)
3時限	13：50～15：35
4時限	15：45～17：30
5時限	17：40～19：25

3 科目

科目には、次の5つの形態があります。科目により授業形態が異なりますので、授業時間割表で確認してください。

- (1) **前期科目** …… 前期の期間に授業が行われる科目
- (2) **後期科目** …… 後期の期間に授業が行われる科目
- (3) **通年科目** …… 1年間（前期・後期）にわたって授業が行われる科目
- (4) **連続授業科目** …… 1週間に2時限以上授業が行われる科目
例) **General English I**、総合中国語① I、基礎スペイン語 I 等
- (5) **単位認定科目** …… 学修の成果により単位が認定される科目（履修登録は不要）
例) 海外研修 I、実務研修 I 等

4 休講

大学側あるいは授業担当教員の都合、更には自然災害や鉄道の運行停止等により、やむを得ず授業を休講とする場合があります。休講情報は、ポータルサイト(Takudai Portal)から配信しますので、授業が始まる前までに必ず確認してください。

休講の配信がなく、授業開始から30分経過しても授業担当教員が出講していないときには、八王子学務課窓口で指示を受けてください。なお、電話等での休講に関する問い合わせには一切応じませんので注意してください。

また、鉄道運行停止時等の授業の取り扱いについては、28ページを参照してください。

5 補講

授業は講義要項等に示された授業計画に基づいて進行しますが、休講になった場合や講義の進行が遅れた場合は、補講を行います。補講情報はポータルサイト(Takudai Portal)から配信しますので確認してください。

補講は、原則として毎週土曜日1～3時限目と前・後期の学期末に設定される補講期間(期間は毎年発表される学年暦を参照)に行います。

6 欠席

科目履修者は、基本的にすべての授業に出席することが求められており、欠席が多い場合、成績評価に影響が及ぶとともに学期試験を受けられなくなることがあります。体調不良等やむを得ず欠席する場合には、欠席届を提出することができます。

欠席届用紙は、八王子学生支援室に用意してあります(就職活動の場合は、八王子就職課)。病気等やむを得ない理由で授業を欠席する場合は、所定の欠席届用紙に記入し、証明書を持参のうえ八王子学生支援室で指示を受け、担当教員へ直接提出してください。

ただし、この欠席届の扱いは、担当教員の判断によりますので、必ずしも出席扱いになるものではありません。

7 連絡

履修・授業・試験・成績等に関する重要事項の連絡は、次の2つの伝達方法で行いますので、毎日必ず確認するようにしてください。

(1)「ポータルサイト(Takudai Portal)からの配信」

(2)「掲示板への掲示」(八王子学務課窓口)

なお、大学から学生個人に対する緊急の用件、その他必要が生じたときは、ポータルサイト(Takudai Portal)の個人伝言、あるいは電話による連絡を行う場合があります。

また、八王子学務課より上記方法で学生個人に対する連絡があった時は、速やかに指示に従ってください。

ポータルサイト(Takudai Portal)や掲示板を確認しなかったり、指示に従わなかったりすることにより生じる不利益や不都合等については、大学は一切関知しません。

8 問い合わせ

履修・授業・試験・成績・休講等についての電話等による問い合わせには、一切応じません。質問等があるときは、必ず本人が八王子学務課窓口^に直接出向いて確認してください。

また、外部からの個人的な連絡(電話の取り次ぎ・郵便物等の受け渡し)には一切応じません。

Ⅱ. 単位について

各科目にはそれぞれ「単位」が、割り当てられています。進級や卒業の要件として、一定以上の単位の修得が必要となります。

ここでいう「単位」とは、学修の量を示す基準です。教育課程（カリキュラム）に従い科目を履修し、試験等に合格することによって、その科目の単位を修得したものと認められます。

各授業科目の1単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としていますので、授業時間で不足する学修時間分は「授業時間外に必要な学修等」として授業内容を深く理解するために、自ら準備、確認、予習、復習等の時間を授業時間外に設けることが求められます。単位の計算方法は、授業科目の種類によって異なり、次の基準によって計算されます。

- (1) 講義及び演習の授業科目については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技の授業科目については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 卒業研究等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合は、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

授業は予習を前提として行われますので、講義要項に書かれている予習項目にしっかりと取り組み、授業に出席してください。また、次の授業までにその回の授業の復習を行い、理解をより一層深めることに努めてください。

Ⅲ. 履修登録について

1 カリキュラム

卒業するには4年以上在籍し、各年次で履修登録を行い所定の単位を修得しなければなりません。そのためには、自分の所属する学科のカリキュラムをよく理解し、履修計画を立てることが大切です。

科目は、体系的に学修できるように編成されており、履修年次が定められています。また、各学科の目的に従って科目区分が設けられています。

2 履修登録の基本事項

科目を履修する際には、定められた規則に従わなければなりません。

次の事項は、履修登録の基本となりますので、十分に理解しておいてください。

- ① この「履修要項」や毎年度提示される「講義要項」を熟読して、授業科目の概要を理解してください。
- ② 所属する学科のカリキュラムをよく理解し、卒業までの履修計画を立ててください。
- ③ 八王子国際キャンパス開講科目を履修してください。
- ④ 同一名称の科目は1科目しか履修・修得できません。
- ⑤ 科目毎に定められた履修年次・学期に従って履修してください。
 - a) 原則として、上級年次の配当科目は履修できません。
 - b) 下級年次の配当科目は履修できます。
 - c) 必修科目は、必ず指定された年次に履修してください。
- ⑥ クラス編成を行う科目は、必ず指定されたクラスを履修してください。
- ⑦ 一度単位修得した科目を再び履修することはできません。また、修得した単位を取り消すこともできません。
- ⑧ メディアを利用して行う授業（遠隔授業）により修得できる単位数は、卒業の要件

として修得すべき単位数のうち、60単位が限度となるので注意してください。
※遠隔授業の詳細は毎年配付される「時間割表・履修登録資料」を確認してください。

3 履修登録の手続き

履修登録は、1年間の学修計画を決める上で最も重要な手続きであり、履修登録が正しくされていないと単位を修得できず進級や卒業ができなくなります。

次の(1)～(5)をよく理解のうえ、必ず履修登録を行ってください。

- (1) 学年の始めに年間の履修計画を立て、その年度に履修する科目(前期・後期ともに)をポータルサイト(Takudai Portal)より登録してください。所定の期日までに登録しない場合は、除籍の対象となりますので注意してください。
- (2) 登録内容は、ポータルサイト(Takudai Portal)で確認できます。正しく登録されているか確認してください。
- (3) 登録した科目は、所定の期間に手続きすることで、履修登録の取り消しが認められます(「4. 履修登録取消制度」参照)。また、後期の科目については、指定された期間に前期の成績を確認した上で、既に登録してある科目を変更(削除・追加)できます。
- (4) 登録していない科目は、たとえ授業に出席し、試験で合格点を取っても単位は認定されません。また、不合格になった科目は学業成績表に記録が残り、GPA(21ページ参照)にも影響があるため、安易に履修しないで慎重に履修計画を立てることが大切です。
- (5) 履修登録期間以外の登録は認めません。

4 履修登録取消制度

履修登録取消制度とは、履修登録して授業を受けたものの、「授業内容が勉強したいものと違っていた」「授業についていけないだけの学力が不足していた」等の理由により履修登録の取り消しを認めるもので、単位修得できないことによりGPA(21ページ参照)が下がることを回避するための制度です。

次の(1)～(5)をよく理解した上で、申請してください。

- (1) 前期・後期それぞれの所定期間内(授業開始から4～5週間目頃)にポータルサイト(Takudai Portal)にて申請することで履修登録の取り消しが認められます。申請期間等の詳細は、ポータルサイト(Takudai Portal)でお知らせします。
- (2) 取り消し科目数の制限は設けません。ただし、全科目の取り消しはできません。なお、4年生については、取り消し後の履修登録単位数が、最低履修登録単位数(4単位)を下回ることはできません。
- (3) 通年科目は、前期履修登録取消期間にのみ取り消すことができます。
- (4) 取り消した科目は、当該年度のみ記載(学業成績表の最終評価に[W]が付きます)され、次年度以降は記載されません。
- (5) 登録を取り消しても、履修登録単位制限(年間上限44単位)の計算からは除外されません。

5 再履修

履修登録した科目が不合格になった場合、原則として、その科目を年度内に再び履修することはできません。

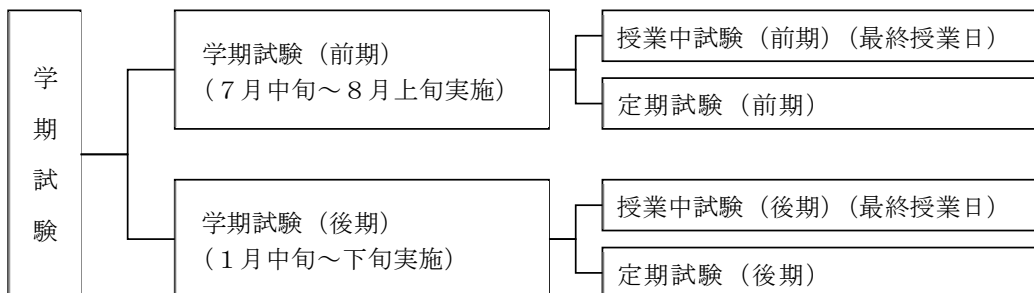
ただし、翌年度以降、あらためて履修することができます。これを「再履修」といいます。なお、科目によっては、翌年度以降休講になり、再履修できない場合や、クラス指定等制限のある科目もあります。詳細は毎年配付される履修登録に関する資料等を参照してください。

IV. 試験について

試験には、学期試験（前期・後期）・追試験（前期・後期）・再試験（年度末）の3種類があります。この他に、担当教員が必要に応じて、小テスト等を実施する場合があります。

1 学期試験

- (1) 学期試験は、2つの日程（授業中試験・定期試験）に分けて実施します。



- (2) 「授業中試験」は、最終授業日に実施します。八王子学務課では授業中試験で実施する科目の試験日時等の発表は行いませんので、通常の授業中に担当教員より指示を受けてください。
- (3) 「定期試験」は、通常の授業曜日・時限とは異なり、新たに時間割を編成して実施します。定期試験の時間割は、定期試験開始の3週間前頃にポータルサイト（Takudai Portal）で発表します。
- (4) 定期試験時間帯

1時限	9：30～10：30
2時限	11：00～12：00
3時限	13：00～14：00
4時限	14：30～15：30
5時限	16：00～17：00
6時限	17：30～18：30

- (5) 学期試験は、原則としてその科目の授業回数の「**3分の2以上**」出席しなければ受験資格が与えられません。その他の受験資格については、担当教員の判断により異なります。
- (6) 試験の方法は原則として筆記試験ですが、担当教員によっては論文・レポートの提出、または口頭試験等で実施する場合があります。
- (7) 次のいずれかに該当する場合は、学期試験を受験することはできません。また、たとえ受験したとしても、単位は認定されません。
- 受験した科目を履修登録していない場合
 - 決められた時間（試験開始後15分）までに試験室に入室していない場合
 - 学生証を携帯していない場合
 - その他、規定による受験資格のない場合
- (8) 定期試験の時間割で、受験すべき科目が同一時限に重なった場合は、指定期間内に「試験時間重複科目届」を八王子学務課に提出してください。提出のない場合にはどちらか1科目しか受験できませんので注意してください。
- (9) 定期試験では試験開始30分後、試験室から退出できます。

- (10) 筆記試験受験の際、試験答案用紙には、学生番号・氏名をペン書き（ボールペン等）で記入してください（答案作成は鉛筆を用いて構いません）。
- (11) 試験は試験監督の指示に従い厳粛な気持ちで受験してください。
不正行為があった場合は学則の規定により処罰し、保護者等に通告しますので、正々堂々と自己の実力を試すよう、取り組んでください。また、不正行為があった場合は、進級・卒業に影響を及ぼします。

2 追試験

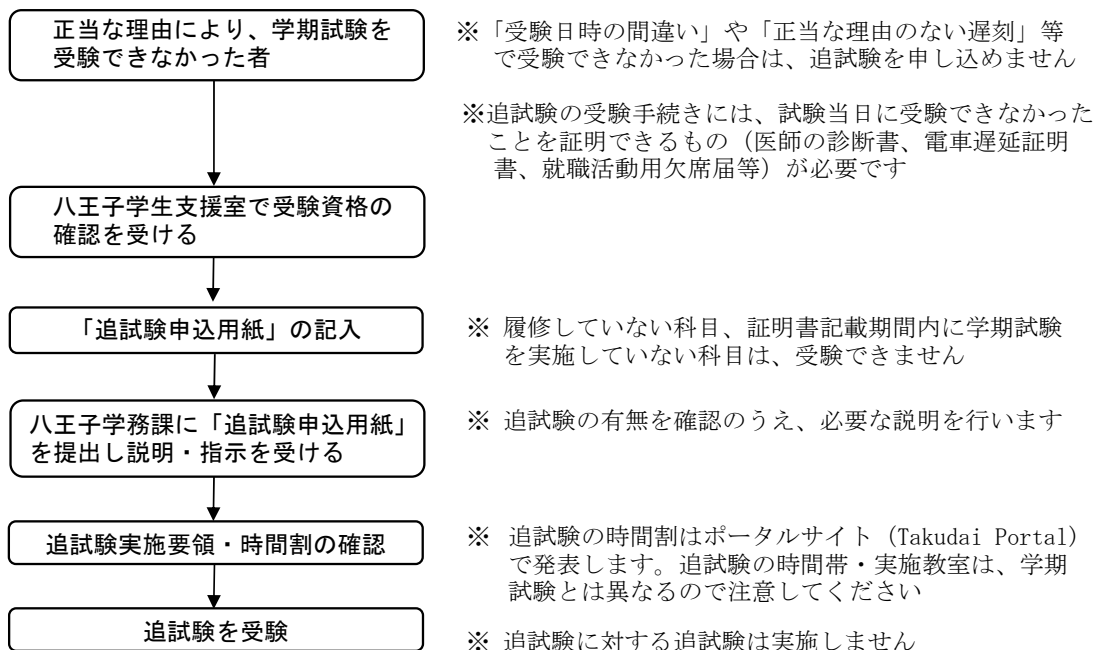
学期試験を正当な理由（電車遅延・疾病・就職活動等）により受験できなかった場合は、追試験を受験することができます。

- (1) 追試験は次の要領で実施します。

追試験の実施条件等

項目	条件等
受験できる学年	全学年
受験資格	正当な理由により学期試験を受験できなかった者
対象科目	学期試験を実施した全科目（平常点・レポート試験は除く）
申込・受験できる単位数	制限なし
成績評価	通常の学期試験に準ずる
実施時期	前期・後期学期試験終了後（詳細はポータルサイト（Takudai Portal）および掲示等でお知らせします）

- (2) 追試験の受験手続きは、次の手順によって行います。



3 再試験

進級保留者（1年生で2年次進級所要単位を充足できなかった者、および2年生で3年次進級所要単位を充足できなかった者）、卒業保留者（4年生で卒業所要単位を充足できなかった者）は、再試験を受験することができます。

再試験は次の要領で実施されますが、受験には申込の他、受験料が必要になります。詳細は、ポータルサイト（Takudai Portal）および掲示等で連絡します。

《再試験実施要領》

（1）進級保留者

項 目	条 件 等
受 験 資 格	1年生で、2年次進級所要単位を充足できなかった者（中国語学科のみ） 2年生で、3年次進級所要単位を充足できなかった者
対 象 科 目	当年度履修科目のうち、成績評点が〔0～59点〕で不合格となった科目。 評点が〔XXX〕および〔---〕でF（不合格）になった科目は受験できません。 【実施しない科目】 ①全学共通教養科目の以下の科目 講座「拓く力」（世界の中の日本）、講座「スポーツと人間」、 スポーツ演習、トレーニング演習、歴史の中の拓殖大学 ②必修科目の授業科目群「ゼミナール等」の科目 ③教職課程科目、日本語教員養成講座科目
申込・受験できる単位数	当年度履修科目のうち、10単位以内
成 績 評 価	試験（筆記、口頭、実技等）、レポート、授業参加状況（発表等）を総合的に判断して評価した成績について、再試験の結果を考慮し、60点を上限として再評価する。
実 施 時 期	2月下旬～3月上旬

※再試験受験料は毎年配布される「履修登録資料」等を確認してください。

（2）卒業保留者

項 目	条 件 等
受 験 資 格	4年生で、卒業所要単位を充足できなかった者
対 象 科 目	当年度履修科目のうち、成績評点が〔0～59点〕で不合格となった科目。 評点が〔XXX〕および〔---〕でF（不合格）になった科目は受験できません。 また、以下に掲げる科目は再試験を実施しません。 【実施しない科目】 ①全学共通教養科目の以下の科目 講座「拓く力」（世界の中の日本）、講座「スポーツと人間」、 スポーツ演習、トレーニング演習、歴史の中の拓殖大学 ②必修科目の授業科目群「ゼミナール等」の科目、卒業研究 ③実習科目（小学校英語教育実習Ⅰ・Ⅱ、日本語教育実習） ④教職課程科目、日本語教員養成講座科目
申込・受験できる単位数	当年度履修科目のうち、10単位以内
成 績 評 価	試験（筆記、口頭、実技等）、レポート、授業参加状況（発表等）を総合的に判断して評価した成績について、再試験の結果を考慮し、60点を上限として再評価する。
実 施 時 期	2月下旬～3月上旬

※再試験受験料は毎年配布される「履修登録資料」等を確認してください。

V. 成績について

1 成績発表

- (1) 学業成績は、年に2回、「学業成績表」にてお知らせします。詳細については、ポータルサイト (Takudai Portal) および掲示等で連絡します。

成績発表の時期・方法

	学年	発表時期	発表方法
前期成績	全学年	9月中旬	ポータルサイト (TakudaiPortal) で発表
後期成績	1～3年	3月中旬～3月下旬	
	4年	2月中旬～2月下旬	

- (2) 成績評価に関して不明な事項がある場合は、**成績発表日から1か月以内に申し出なければ無効**となります。質問等がある場合は、科目担当教員に直接申し出てください。

2 成績照会

学業成績表の見方、進級・卒業単位について質問がある場合は、学業成績表を持参のうえ、八王子学務課窓口へ直接出向いて相談してください（電話等での問い合わせには一切応じません）。

3 成績評価

- (1) 成績は、科目担当教員が試験（筆記、口頭、実技等）、レポート、授業参加状況（発表等）を総合的に判断して評価します。成績評価の方法は講義要項を参照してください。
- (2) 成績は、原則として**素点（0～100）**で発表されます。
ただし、次のような表示で発表される場合もあります。
[---]印： **未 受 験**（試験等を未受験の場合）
[XXX]印： **評価に値せず**（出席不良等で評価に値しない場合）
- (3) 成績の評価は、S・A・B・C・Fで表記します。評価基準は次のとおりです。

可否	評価	素点等	成績の状況
合格 (単位修得)	S	100～90点	特に優れている 学修の成果が到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績に与えられます。
	A	89～80点	優れている 学修の成果が到達目標を十分に達成できている優れた成績に与えられます。
	B	79～70点	良好 学修の成果が到達目標を達成できている成績に与えられます。
	C	69～60点	合格と認められる最低限 学修の成果が到達目標を最低限達成できている成績に与えられます。
不合格	F	59～0点	合格基準に達していない 学修の成果が到達目標を達成できていない場合です。
		[---]	
		[XXX]	

- (4) 通年科目は、前期に成績発表を行わず、後期に通年評価としての点数を発表します。
- (5) 不合格となった科目は、次年度以降、学業成績表の「不合格科目欄」に記載されます。
「不合格科目欄」に記載された科目は、原則として次年度以降再履修し、単位修得すると抹消されます(科目担当教員が異なっても構いません)。
- (6) 教職課程科目(各教科教育法、教育の基礎的理解に関する科目等、介護等体験)、日本語教員養成講座科目については、不合格になっても評価に[F]は付きません。また次年度以降も、学業成績表の不合格科目欄に記載されません。

4 GPA制度

GPA (Grade Point Average) とは、科目毎の成績素点に対してGP (Grade Point) を設定し、その科目の単位数を加味して1単位あたりのGPの平均値を表したもので、学修状況を総合的に示す指標です。GPAは次のとおり算出します。

- (1) 各科目のGPを求める

$$GP = (\text{成績素点} - 55) / 10$$

ただしGPが ① 0.5未満のときは、GP = 0.0 (59点以下)

② 0.5~0.9のときは、GP = 1.0 (60点~64点)

③ 4.1~4.5のときは、GP = 4.0 (96点~100点) になります。

◆評価・成績素点・GP対照表

評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP	評価	素点	GP
S	100	4.0	A	89	3.4	B	79	2.4	C	69	1.4	F	59~0 「XXX」 「---」	0.0
	99	4.0		88	3.3		78	2.3		68	1.3			
	98	4.0		87	3.2		77	2.2		67	1.2			
	97	4.0		86	3.1		76	2.1		66	1.1			
	96	4.0		85	3.0		75	2.0		65	1.0			
	95	4.0		84	2.9		74	1.9		64	1.0			
	94	3.9		83	2.8		73	1.8		63	1.0			
	93	3.8		82	2.7		72	1.7		62	1.0			
	92	3.7		81	2.6		71	1.6		61	1.0			
	91	3.6		80	2.5		70	1.5		60	1.0			

- (2) GPAを求める

$$GPA = \frac{(\text{履修登録科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数 (不合格科目含む)}}$$

- ① GPAの対象とならない科目

- ・教職課程科目(各教科教育法、教育の基礎的理解に関する科目等、介護等体験)、日本語教員養成講座科目
- ・履修登録の取り消しが認められた科目
- ・素点を示さず、単位認定された科目

- ② GPAの値は、小数第3位を切り捨て、少数第2位まで表示します。

- (3) GPAの発表

GPAは、学業成績表に学期(前期・後期)・年度・累積の3種類を記載します。また、成績証明書に累積のGPAを記載します。

5 修学指導

本学では、入学後にオリエンテーションを実施し、履修要項および履修登録に関する資料に基づき、4年間の履修手続の流れや学修計画の立て方などについて、きめ細かな履修指導を行うとともに、学生が気軽に教員の研究室を訪れ、個別に学業などの質問や相談ができるよう、全ての専任教員が「オフィスアワー」（教員情報に掲載）を設定し、年間を通じた学修指導の体制を整えています。さらに、学修状況の不調を早期に把握する観点から出席不良、成績不振、原級等となった学生への個別面接などを行っています。

このように本学では、学生が自覚をもって有意義な大学生活を送り、やがて自律した社会人となることを支援するよう努めています。

本学の学則 24 条では、次のとおり在学年限を超過して在学することはできません。この規定に該当すると退学の措置を適用することになります。

学則（在学年限）

第 24 条

学生は、6 年をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、8 年以内の期間、在学することができる。

- 2 第 30 条第 1 項の規定により入学した学生は、同条第 2 項により定められた在学年 1.5 倍の年数（端数が生じた場合は切上げた数）をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、その 2 倍に相当する年数以内の期間、在学することができる。

このような措置の対象とならないよう、本学では、生活習慣を改善し学修意欲を高めてもらうこと、学修活動の改善を支援することなどを目的として、次のとおり、GPA の基準を用いて、「成績不振学生の面接等」を行っています。

○成績不振学生の面接等

学期ごとの GPA が、その終了時に 1.0 未満の学生を対象に次のとおり面接等を行います。ただし、当該学期の休学者、卒業所要単位修得者、および学部が対象外とする者を除きます。

回数	指導内容等
1 回	学生本人に、学部長が指名する教員が修学指導を行います。
2 回連続	学生本人に、学部長又は学部長が指名する教員が進路変更を含めた修学指導を行います。
3 回連続	学生本人・保護者等に学部長が退学を含む進路変更を勧告します。

この他、八王子学生支援室において、出席不良、原級等となった学生への個別面接も行っています。

6 厳格な成績評価への取組

本学では、成績評価を客観的かつ厳格に行うことを目的として、次のとおり、GPAの基準を用いて「成績不振学生の面接等」を行うこと、学科目別の成績評価分布の状況を把握し公表したうえで、教員間又は授業科目間の平準化を目指した「成績評価基準」（履修要項20ページ3-（3）参照）および「成績評価分布の目安」を定めるなどの取組を行っています。

（1）教員間又は授業科目間の平準化を目指した「成績評価基準」等

- ①試験問題やレポートの難易度は、客観的な評価となるよう工夫し、予め70点から80点程度の平均点となるように努めます。
- ②成績評価は、学期試験、レポート、小テスト、授業への参加状況など、多面的かつ総合的に評価し、その個々の評価点の割合を講義要項で示します。
- ③成績評価は、極端な偏りの評価が行われないよう、学科目別成績評価分布表の平均値を踏まえ、下表のとおり、評価の分布（目安）となるように努めます。

○成績評価分布の目安

評 価	素 点	評価の分布（目安）
S	100～90点	20%程度
A	89～80点	20～30%程度
B	79～70点	20～30%程度

※ C・Fの評価の分布の目安は、次に示す「学科目別成績評価分布」の平均値を考慮します。

※ 履修者20名以下および習熟度別クラスの科目は除きます。

（2）学科目別の成績評価分布表は、本学ホームページで公表しています。

「拓殖大学 学科目別 成績評価分布」で検索してください。

7 入学前に他大学等で修得した科目の単位認定

入学前に他の大学または短期大学等において修得した科目について、本学が教育上有益と認めるとき、本人の申請（入学時のみ）に基づいて単位認定を行います。申請方法等詳細については、八王子学務課に問い合わせてください。

（1）申請対象者・申請期間

申請対象者は、新入生のみで、入学年度の4月に指定する期間を申請期間とします。

（2）申請に必要な資料

- ①既修得科目単位認定申請書
- ②申請時最新の成績証明書とその写し
- ③在学証明書（単位認定申請科目の成績を修得した時点の当該大学等の在籍が分かるもの）
- ④シラバス・講義要項（単位認定申請科目履修時のもの）
- ⑤授業回数・授業時間が分かるもの（単位認定申請科目履修時のもの）
- ⑥履修要項（単位認定申請科目の配当[専門科目または教養科目、年次]の記載があるもの）

（3）その他

認定に際し、別途面接を実施します。

8 大学院科目 早期履修制度

大学院科目早期履修制度とは、学生に対して専門分野に関する学修意欲の向上を図るため、学部4年生に在籍しながら進学を希望する大学院研究科の開講科目を履修することができる制度です。

なお、制度により修得した単位は、本人の申請（大学院入学時のみ）に基づき、審査のうえ、単位認定を受けることができます。

(1) 出願期間・出願方法

ポータルサイト(Takudai Portal)および掲示等でお知らせします。

(2) その他

出願資格、履修可能科目等は、研究科によって異なるため、ポータルサイト(Takudai Portal)および掲示等に掲載される各研究科の募集要項を確認すること。

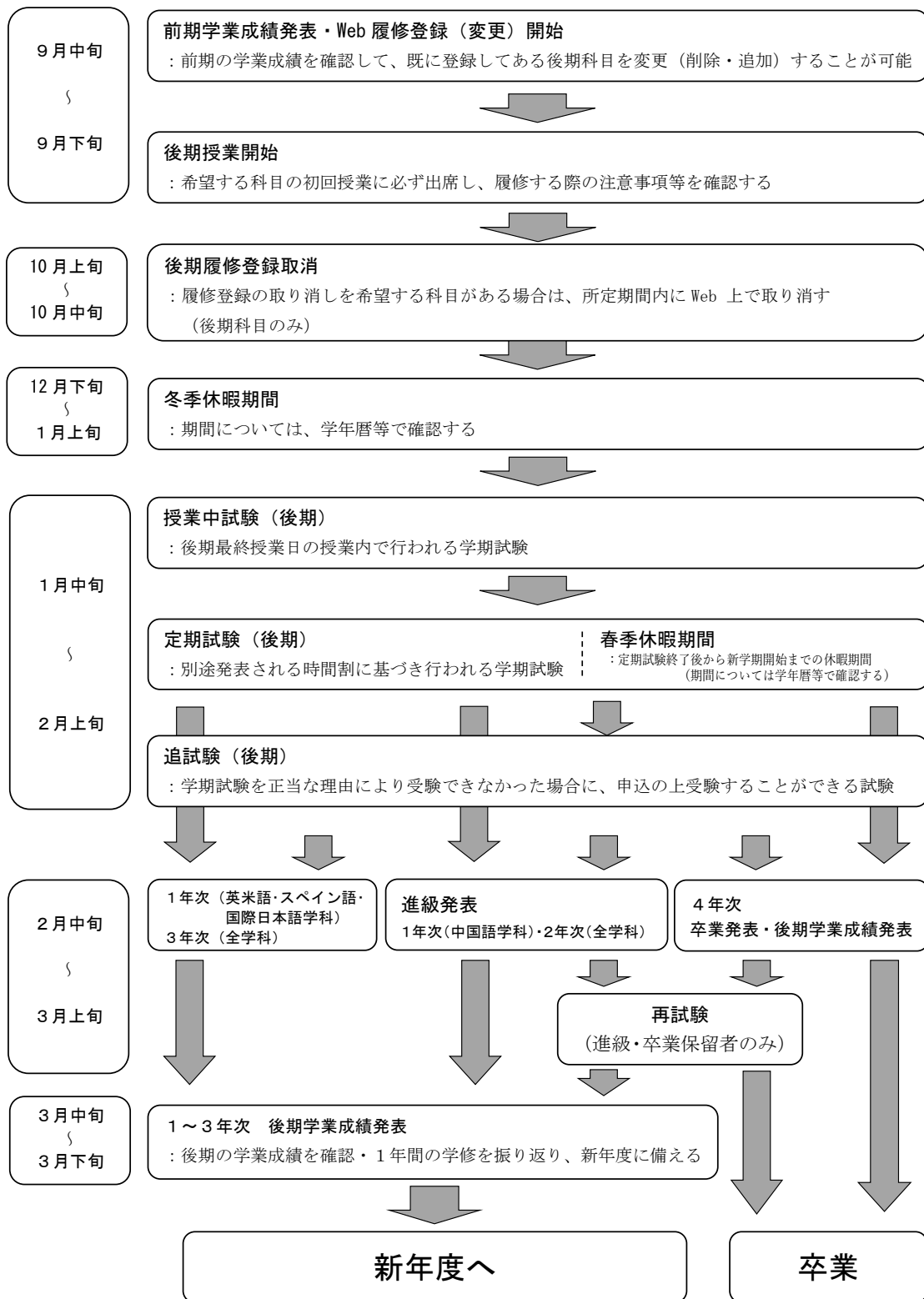
 *MEMO* 

VI. 履修⇒授業⇒試験⇒成績発表フロー

前期



後期



Ⅶ. 鉄道運行停止時の授業・学期試験の取り扱いについて

八王子国際キャンパスでは、台風・大雨・大雪等の自然災害により鉄道の運行が停止した場合や、大震法にもとづく地震警戒宣言が発令される場合、当日の授業および学期試験の実施については下記のとおり取り扱います。

1 鉄道運行停止時の授業・学期試験の取り扱い

【対象事由】

- (1) 台風・大雨・大雪その他自然災害によるもの
- (2) 鉄道機関のストライキ

八王子国際キャンパスにおける対応

【対象路線】

J R 中央線(新宿～高尾間)・京王線(新宿～高尾間)・J R 横浜線のいずれか1路線の全区間
または一部区間において運行停止となった場合は下記のとおりとする。

【時間・対応策】

条 件	授 業	試 験
①当日午前6時現在運行停止となっている場合	第1・2時限目休講	第1・2時限目延期
②当日午前10時現在運行停止となっている場合	終日休講	終日延期

【その他】 授業または試験開始後に運行停止となるような場合は、大学からの指示に従う。

※上記によらず、前日において翌日の授業・試験の実施に大きな影響があると判断した場合は、「翌日の授業の休講・試験の延期」について、本学公式ホームページおよび、ポータルサイト (Takudai Portal)にて掲載する。

2 大震法に基づく警戒宣言が発せられた場合の授業・学期試験の対応

首都圏・東海地方を中心とする大規模な地震発生が予想され、大規模地震対策特別措置法(大震法)に基づく「警戒宣言」が発せられる場合の授業・学期試験の取り扱いは以下のとおりとする。

- (1) 「警戒宣言」が発せられるのに先立ち「地震防災対策強化地域判定会」(以下「判定会」という)が招集された場合、ただちに全学休講および学期試験延期とする。
 - ア. 「判定会」が招集されたことがテレビ等で報道された時点で全学休校(授業休講、学期試験延期等)とする。
 - イ. 通学途中の場合は、ただちに帰宅するなど適切な行動をとる。
 - ウ. 大学にいる場合は、大学からの指示に従う。
- (2) 「警戒宣言」が解除されたときや「判定会」が解散されたときの対応は、交通機関運行停止時の場合に準ずる。

以上の事由により休講および試験延期となった場合、その後の措置については、別途大学よりポータルサイト (Takudai Portal) 等で連絡します。

外国語学部における履修

I. 教育課程（カリキュラム）について

1 教育課程の構成

外国語学部の教育課程（カリキュラム）は次のように構成されています。

区 分	授 業 科 目 区 分
全学共通教養科目	A系列：国際性を高める
	B系列：専門性の幅を広げる
	C系列：人間性を高める
	D系列：キャリア形成を行う
	E系列：データ活用能力を養う

専 門 科 目	必 修 科 目	
	選 択 科 目 I	
	選 択 科 目 II	
	学 科 横 断 科 目	学部基礎科目
		学部教養科目
第二外国語		

自 由 科 目	キャリア認定科目
	そ の 他

Ⅱ. 卒業・進級要件について

1 卒業要件

本学に4年間在学し、卒業に必要な単位を修得した者に対して、卒業が認定されます。

ただし、所属学科で定められた科目区分ごとの卒業所要単位数を満たさなければ、たとえ4年次終了時点で卒業所要単位数以上を修得していても、卒業資格は与えられませんので注意してください。

卒業所要単位は、卒業するにあたり最低限必要な単位数を示したものです。次に示す卒業所要単位表を確認し、単に時間割を埋めるだけでなく、この「履修要項」や「講義要項」(拓殖大学ホームページより講義要項のWebサイトを参照)等を活用し、各自の学修目標に基づき計画的に履修登録・単位修得するよう心がけてください。

卒業所要単位

(2025年度入学者適用)

科目区分		英米語 学科	中国語 学科	スペイン 語学科	国際日本語学科			
					一般学生	外国人留学生		
全 学 共 通 教 養 科 目	A 系列	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	8 単位		
	B 系列	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位			
	C 系列	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位			
	D 系列	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位			
	E 系列	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位			
	A～E 系列の任意の科目	6 単位	6 単位	6 単位	6 単位	—		
	小 計	16 単位	16 単位	16 単位	16 単位	8 単位		
専 門 科 目	必修科目	34 単位	46 単位	44 単位	26 単位	38 単位		
	選択科目Ⅰ	26 単位	26 単位	14 単位	22 単位	18 単位		
	選択科目Ⅱ	26 単位	14 単位	28 単位	34 単位	34 単位		
	学 部 基 盤 科 目	学 部 基 盤 科 目	言 語	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位
			情 報	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位
			キャリア	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位
	学 部 教 養 科 目	学 部 教 養 科 目	文 化	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位
			社 会					
	第 二 外 国 語	第 二 外 国 語	必修第二外国語	4 単位	4 単位	4 単位	4 単位	4 単位
			選択第二外国語	—	—	—	—	—
		学科横断科目の任意科目	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	2 単位	
	小 計	14 単位	14 単位	14 単位	14 単位	14 単位		
	専門科目 計	100 単位	100 単位	100 単位	96 単位	104 単位		
	自由科目	10 単位	10 単位	10 単位	14 単位	14 単位		
	卒業に必要な最低の合計単位数	126 単位	126 単位	126 単位	126 単位	126 単位		
	学 位	学 士 (英米語)	学 士 (中国語)	学 士 (ス ^ペ ィ語)	学 士 (日本語)	学 士 (日本語)		

2 進級要件

外国語学部では、上級年次に進級する際に、修得すべき単位数等の基準を設けています。進級要件のある学年末に進級所要単位等を満たしていなければ、原級にとどまること（留年）になります。

なお、下記年次以外の進級要件は設けていません。40ページの「V. 履修登録の制限について」を考慮した、計画的な履修登録・単位修得が望まれます。

【英米語学科】

2年次から3年次に進級する際に、次の進級要件（単位修得およびTOEIC® L&Rスコア）を設けています。2年次修了時に進級要件を満たしていなければ、留年になります。

（2025年度入学者適用）

科目区分			3年次進級所要単位・スコア			
全学共通教養科目			50 単位			
専門科目	必修科目	必修英語			1年次	10 単位
					2年次	4 単位以上
		ゼミナール			2 単位	
	選択科目 I					
選択科目 II						
学科横断科目						
自由科目						
TOEIC® L&R (IP 含む)			500 点以上			

※TOEIC® L&R (IP 含む) のスコアは、本学入学以降の受験に限ります。

【中国語学科】

1年次から2年次に進級する際、2年次から3年次に進級する際に、次の進級要件（単位修得）を設けています。1年次修了時、2年次修了時に各学年に設けられている進級要件を満たしていなければ、留年になります。

（2025年度入学者適用）

科目区分			2年次進級所要単位	3年次進級所要単位		
全学共通教養科目			50 単位			
専門科目	必修科目	必修中国語			14 単位	24 単位
						2 単位
		ゼミナール				
	選択科目 I				24 単位	
選択科目 II						
学科横断科目						
自由科目						

【スペイン語学科】

2年次から3年次に進級する際に、次の進級要件（単位修得）を設けています。2年次修了時に進級要件を満たしていなければ、留年になります。

(2025年度入学者適用)

科目区分			3年次進級所要単位	
全学共通教養科目			50 単位	
専門科目	必修科目	必修スペイン語		22 単位
		ゼミナール		2 単位
	選択科目Ⅰ			
	選択科目Ⅱ			
	学科横断科目			
自由科目				

【国際日本語学科】

2年次から3年次に進級する際に、次の進級要件（単位修得）を設けています。2年次修了時に進級要件を満たしていなければ、留年になります。

【一般学生】

(2025年度入学者適用)

科目区分			3年次進級所要単位	
全学共通教養科目			50 単位	
専門科目	必修科目	1年次		10 単位
		2年次		
	選択科目Ⅰ			
	選択科目Ⅱ			
学科横断科目				
自由科目				

【外国人留学生】

(2025年度入学者適用)

科目区分			3年次進級所要単位	
全学共通教養科目			50 単位	
専門科目	必修科目	1年次		※10 単位
		2年次		
	選択科目Ⅰ			
	選択科目Ⅱ			
学科横断科目				
自由科目				

※必修科目（1年次）10単位の中には、「初年次教育ゼミナール」および「アカデミックスキルズ」の単位修得が必要です。

Ⅲ. 科目の履修方法について

1 全学共通教養科目の履修方法

全学共通教養科目は、その目的・内容によって分類構成され、履修方法・必要な単位数は系列ごとに設定されています。

なお、全学共通教養科目は1～4年次にわたり履修できます。計画的に履修登録・単位修得してください。

区分	科目区分	卒業所要単位	
		英米語学科・中国語学科・ スペイン語学科・ 国際日本語学科（一般学生）	国際日本語学科 （外国人留学生）
全学 共通 教養 科目	A系列：国際性を高める	2	8
	B系列：専門性の幅を広げる	2	
	C系列：人間性を高める	2	
	D系列：キャリア形成を行う	2	
	E系列：データ活用能力を養う	2	
	A～E系列（任意）	6	—
全学共通教養科目の卒業所要単位		16	8

(1) C系列 スポーツ演習・トレーニング演習について

履修を希望する場合は、年度初めに発表される「履修登録資料」に基づき、履修登録してください。なお、「スポーツ演習」・「トレーニング演習」は、教職課程の必修科目であるため、教職課程登録者の履修を優先します。

(2) 履修者数の調整（登録制限・抽選）について

Web履修登録により履修者数が教室定員を超える程多い等、受講環境が損なわれる場合、履修者数の調整（登録制限・抽選）を行います。詳細は37ページを参照してください。

2 専門科目の履修方法

外国語学部の専門科目は、体系的に学修できるようにカリキュラムを編成しています。

(1) 科目区分について

専門科目は、必修科目・選択科目Ⅰ・選択科目Ⅱ・学科横断科目の4区分から構成され、それぞれ科目区分および各授業科目群で卒業所要単位が定められています。

(2) 配当年次と履修について

科目には履修を開始できる年次（配当年次）が指定されています。必修科目は、配当年次に必ず履修しなければなりません。選択科目Ⅰ、選択科目Ⅱおよび学科横断科目は、卒業までに定められた単位数以上を修得しなければならないので、計画的にバランスよく履修してください。

自分の学年より配当が上級年次の科目は履修できませんが、配当が下級年次の科目は履修することができます。

(3) クラス指定について

必修科目を含む若干の専門科目において、クラス編成を行います。クラス編成した結果はポータルサイト (Takudai Portal) と掲示で発表します。

(4) 履修者数の調整 (登録制限・抽選) について

Web 履修登録により履修者数が教室定員を超える程多い等、受講環境が損なわれる場合、履修者の調整 (登録制限・抽選) を行います。詳細は 37 ページを参照してください。

3 第二外国語の履修方法 (学科横断科目)

第二外国語は、所属学科の専攻言語以外に 1 か国語を選択・履修し、1 年次に配当されている初級 (外国語) の単位を修得する必要があります (必修)。

設置されている第二外国語および開講科目は、下表の通りです。選択方法は、オリエンテーションおよびポータルサイト (Takudai Portal) で説明します。

なお、英米語学科・中国語学科・スペイン語学科の留学生は、原則として日本語を選択してください。また、国際日本語学科の留学生 (外国籍学生も含む) および英米語学科・中国語学科・スペイン語学科の外国籍学生は、母語は選択できません。

設置されている 第二外国語	開 講 科 目	
	1 年次 (必修)	2 年次～4 年次 (選択)
英語 中国語 スペイン語 フランス語 ドイツ語	初級 (外国語) ① I 初級 (外国語) ① II 初級 (外国語) ② I 初級 (外国語) ② II	
韓国語 日本語※ ※英米語学科・中国語学科・ スペイン語学科の留学生 は、原則として日本語を選 択してください。		中級 (外国語) I 中級 (外国語) II English for TOEIC® 650 Practical English Presentation Practical Business English Practical English Reading

授業は週 2 回行われます。英語・中国語・スペイン語・韓国語はクラス指定されているので、必ず指定されたクラスを履修しなければなりません。

なお、所属学科の言語が初めて学修する外国語で不安がある場合は、初級 (外国語) は 2 年次に履修しても構いません。

必修の初級 (外国語) を修得した後、さらに学修したい場合は、中級 (外国語) を履修できます (選択)。授業は週 1 回行われます。

また、当初選択した第二外国語に加え、さらに異なる言語を学修したい場合は、別の初級 (外国語) を履修することも可能です。なお、外国語学部に設置されていない言語を学びたい場合は、国際学部の科目を履修することも可能です。ただし、履修には条件等がありますので、希望する場合は八王子学務課に相談してください。

注. 英語については、「中級英語」という科目は開講しません。その代わりに English for TOEIC® 650、Practical English Presentation、Practical Business English、Practical English Reading の 4 科目が開講されます。

4 自由科目の履修方法

自由科目に配当されている科目は、単位認定科目の「実務研修Ⅰ・Ⅱ」のみで、授業を行う科目はありません。その代わりに、次の科目を自由科目の代替科目として認められます。

- (1) 全学共通教養科目の卒業所要単位の超過分
- (2) 学科専門科目の卒業所要単位の超過分
- (3) 他学部・他学科の配当科目（履修が許可されている科目のみ可）
どのような科目が許可されているかについては、八王子学務課にお問い合わせください（例えば、他学科の必修科目は履修できません）。
- (4) 教職課程の各科目。ただし、各「教科教育法」と「教育実習」は卒業所要単位に含まれないため、自由科目として認定されません。
- (5) 単位互換協定に基づく単位互換科目（履修が許可されている他大学等の科目）は4単位を上限に自由科目の卒業所要単位に含むことができます。

※拓殖大学と単位互換制度の協定を結んでいる大学等の提供科目を指し、現時点では大学コンソーシアム八王子単位互換制度 (<https://gakuen-hachioji.jp/main-business/credit/>) において、他大学等から提供されている科目に限られます。詳細は八王子学務課にお問い合わせを確認してください。

5 履修者数の調整（登録制限・抽選）について

履修希望者が多く、教室定員（座席数）を超えてしまう等、授業を受講する環境が損なわれる恐れがある場合に履修者数の調整（登録制限または抽選）を行います。

履修登録は、期間中に一度停止され、その間に履修者数の調整を行います。したがって、履修を希望する科目は、Web履修登録開始後から履修登録が一旦停止される前までに登録してください。

なお、履修者数の調整に関する詳しいことは、年度初めに発表される「履修登録資料」で確認してください。

IV. 卒業研究について

1 卒業研究について

大学を卒業するには、3～4年のゼミナール活動を通して、大学4年間の学修の集大成として卒業研究に取り組み、合格（単位修得）しなければなりません。

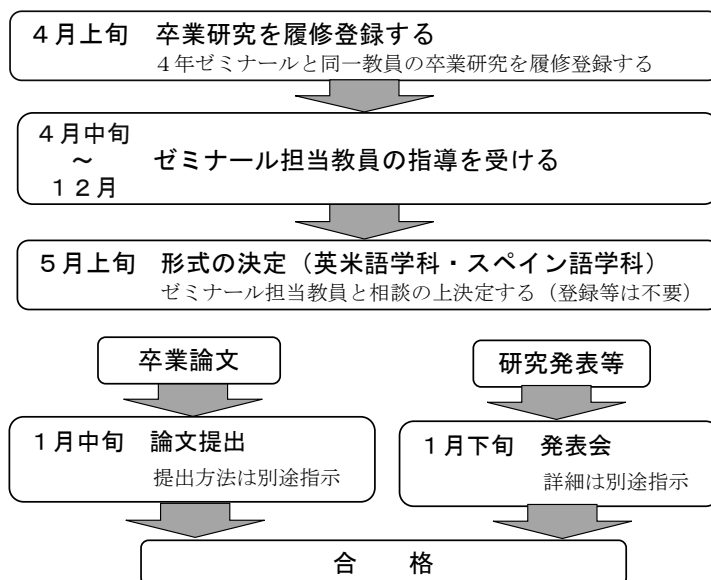
外国語学部の卒業研究は、論文形式の卒業研究（卒業論文）と論文形式をとらない卒業研究（研究発表等）があります。

学科ごとに形式が指定されています。詳しくは下表をご覧ください。

〔卒業研究の形式〕

学 科	卒業論文	研究発表等	備 考
英米語学科	○	○	どちらか片方の形式を選択
中国語学科	○	—	
スペイン語学科	○	○	どちらか片方の形式を選択
国際日本語学科	○	—	

1. 卒業研究の流れ



2. 卒業論文

(1) 卒業論文について

大学における学問・研究のまとめとして、ゼミナールでの学習を発展させ、学生各自の興味関心に基づき、動機・研究の現状（先行研究の分析）・問題点・自分の立場・研究方法（文献分析、アンケート調査、インタビュー）など、一連の論理構成を採って主張や問題解決の方法を記述する文章になります。

レポートやレビュー、感想文のように、単に内容を要約したり、分析の記録を説明したり、感じたことを述べたりする文章とは異なるので注意してください。

(2) 基本体裁

- ①使用ソフト：Wordで作成。図表等は、Excelも可
 - ②文字数：12,000字以上（表紙、目次は字数に含めない）
 - ③言語：日本語または所属学科の専攻言語
 - ④用紙サイズ：A4横書き
 - ⑤字詰め：全角40字×30行
- その他の詳細は各学科またはゼミナール担当教員から指示します。

3. 研究発表等

(1) 研究発表等について

研究発表等とは、アカデミックな論文以外の形式で、4年間の学修成果を発表することです。内容は、学生各自の興味関心に基づいてテーマを設定し、個人あるいはグループで、信頼できる情報を収集、分析し、あるいは十分な訓練を積み、結論・成果を導き出すことになります。

論文形式を取らない研究発表等の場合、学科主催の卒業研究発表会等の公開の場（学科の教員、学生出席）で発表する必要があります。発表は個人だけでなくグループで研究成果を発表することも可能です。

(2) 発表方法

論文形式を取らない研究発表等の場合、次のような方法があります。

- ①研究発表：研究成果を学内または学外で口頭発表する。
 - ②新聞制作：研究内容や取材内容をまとめ、大学のホームページ等で発表する。
 - ③動画制作：研究成果を動画にまとめ、動画サイト等で発表する。
 - ④演劇発表：学内または学外で公演会を開催し発表する。
 - ⑤学外活動報告：研究の一環としての学外活動を報告書にまとめ、発表する。
- その他、テーマや発表形式等の詳細は、ゼミナール担当教員に相談し、指示を受けてください。

4. 成績評価

成績評価は、ゼミナール担当教員が行います。グループの場合は、個人の成果に基づいて成績評価が行われます。

5. 注意事項

卒業研究として成果の発表にあたっては、著作権や肖像権等の権利を侵害しないよう、十分に注意してください。

V. 履修登録の制限について

各年次の学期ごとに履修することのできる単位数について、次のとおり制限を設けています。前期・後期ともに上限単位を超えて履修することは認められません。また、4年次には、年間で最低4単位以上履修しなければなりません。

(2025年度入学者適用)

	1年	2年	3年	4年
	前期+後期	前期+後期	前期+後期	前期+後期
履修登録 単位制限	44単位以下 ただし 各学期25単位 を超えないこと	44単位以下 ただし 各学期25単位 を超えないこと	44単位以下 ただし 各学期25単位 を超えないこと	4単位以上 44単位以下 ただし 各学期25単位 を超えないこと

【通年科目の単位計算上の注意事項】

履修登録単位制限を計算する場合に限り、通年科目は単位を2分割し、半期毎、「半分の単位数」に換算します。

(例) 通年4単位の科目 → 前期 2単位 + 後期 2単位 に換算
通年2単位の科目 → 前期 1単位 + 後期 1単位 に換算

※ ただし、次に示す科目については、履修登録単位制限の対象にはなりません。

【履修登録単位制限から除外される科目】

- ① 「海外研修Ⅰ～Ⅳ」「実務研修Ⅰ・Ⅱ」の単位認定科目（科目名に下線がある科目）
- ② 教職課程科目の各教科教育法、教育の基礎的理解に関する科目等、介護等体験（時間割表に㊦印のある科目）
- ③ 日本語教員養成講座の科目（時間割表に㊧印のある科目）

なお、教職課程等に登録し、履修登録単位制限（44単位）を超えて履修登録する場合は、学修に支障をきたさないよう注意してください。

また、メディアを利用して行う授業（遠隔授業）により修得できる単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位が限度となるので注意してください。

※遠隔授業の詳細は毎年配付される「履修登録資料」を確認してください。

Ⅵ. 単位認定科目について

単位認定科目とは、外部機関の研修等を受け、その成果に基づき評価し、単位認定される科目です。成果が思わしくない場合は単位が認定されないことがあります。

単位認定科目は、原則として申請に基づき認定の審査が行われますので、次に説明する各科目の説明を熟読し、必要な申請を行ってください。

1 「海外研修」

- (1) 次のいずれかの成果を修めた場合、その成果に基づき「海外研修」として単位認定を行います。単位認定は、研修内容・時間数により「海外研修Ⅰ～Ⅳ」(各2単位)を認定します。
- ①外国語学部各学科が実施する「短期研修プログラム」等に参加し、所定の課程(事前研修・事後研修等を含む)を修了した場合。
 - ②他学部が実施する「短期研修プログラム」等に参加し、所定の課程(事前研修・事後研修等を含む)を修了した場合。
ただし、他学部のプログラムでは単位認定できない場合があります。単位認定を希望する者は、事前に八王子学務課に問い合わせてください。
 - ③事前の申請により、専攻言語の「個人短期留学」が認められ、その課程を修了した場合。
ただし、必要な事前指導・事後指導を受けることが条件となります。
なお、事前申請の提出書類等の詳細については、八王子学務課に問い合わせてください。
- (2) 成績評価は、語学研修を伴う場合は研修先が発行する成績表に基づいて行います。語学研修を伴わない場合は、研修後に提出する報告書(レポート)に基づいて行います。
なお、語学研修を伴わない研修は、成果確認のために学部教員による面接等を課す場合があります。

2 「実務研修」

学内外(企業、自治体、法律・政治事務所、NGO等)での実務研修(インターンシップと謳っているものに限る)に参加した学生に対して、その成果を単位認定します。

本学就職部主催のほか、企業主催、日本語学校などの教育機関主催のインターンシップも対象とします。単位認定は、研修内容・時間数により「実務研修Ⅰ～Ⅱ」(各2単位)を認定します。

科目名	単位数
実務研修Ⅰ	2単位
実務研修Ⅱ	2単位

- (1) 申請方法：実務研修実施前に、八王子学務課配布の①「実務研修申請書」、②「実務研修計画書」に必要事項を記入し、③「研修先パンフレット(コピー可)」を添えて八王子学務課に提出してください。単位認定に値するか否かを学部教員が審査し、審査結果を通知します。
- (2) 報告書の提出：研修終了後1週間以内に④「修了報告書」、⑤「修了証明書(修了したことが証明できる書類)」を八王子学務課に提出してください。なお、成果確認のために学部教員による面接等を課す場合があります。
- (3) 単位認定：事前書類(①～③)申請者のみを対象とし、事後書類(④～⑤)提出内容から総合的に成績評価します。なお、成績評価方法等は「講義要項」に記載します。

Ⅶ. 単位互換制度 について

1 大学コンソーシアム八王子

「大学コンソーシアム八王子」は、地域の特性を活かし、大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、大学・学生・市民の方々にとって、よりいっそう魅力ある学園都市を目指して、2009年4月に設立されました。

大学コンソーシアム八王子の多彩な事業展開のなかに単位互換事業があり、単位互換協定を締結した大学・短期大学・高等専門学校では、相互の協力・交流・連携を推進し、教育の活性化と充実に資するとともに、学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として、所属以外の大学等で開講する授業を履修料等免除で受講し、試験等に合格すれば単位を修得することができます。

希望者は申請期間内に本学にて申請することで、単位互換協定校での履修・単位認定をすることができます。申請方法等詳細については、ポータルサイト（Takudai Portal）および掲示等でお知らせします。

なお、個々の授業については、「単位互換履修生募集ガイド」を参照してください。

URL：<https://gakuen-hachioji.jp/project/credit/>

- (1) 申請期間：ポータルサイト(Takudai Portal)および掲示等でお知らせします。
- (2) 申請方法：ポータルサイト(Takudai Portal)および掲示等でお知らせします。
※申請前に必ず、八王子学務課窓口へ申し出てください。
- (3) 成績評価：当該科目の成績は、本学八王子学務課を通じて発表します。
なお、認定単位数上限は4単位で自由科目（単位認定科目の名称は単位互換協定校における科目名）として認定され、認定された単位の評価はGPAの計算に含まれます。
- (4) 注意事項：単位互換協定校での履修単位数は、履修単位上限に含まれます。
許可を受けた履修科目の変更または取消しは、認められません。

授業科目配当表

全学共通教養科目配当表

(2025年度入学者適用)

区分	1～4年次 配当科目			卒業所要単位	
	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	※1	※2
A系列 国際性を高める	SDGs基礎 (2)	西洋文化史 (2)	防災と安全 (2)	2	16
	日本史 (2)	宗教学 (2)	文化人類学 (2)		
	東洋史 (2)	人文地理学 (2)	生態学 (2)		
	イスラム社会の歴史と文化 (2)	安全と危機管理 (2)	環境科学 (2)		
	西洋史 (2)	現代の国際関係 (2)	講座「拓く力」 (世界の中の日本) (2)		
B系列 専門性の幅を広げる	日本国憲法 (2)	近代社会の思想史 (2)	化学 (2)	2	8
	政治学 (2)	コミュニティ論 (2)	生物学 (2)		
	社会学 (2)	福祉学 (2)	健康科学 (2)		
	経済学 (2)	ジェンダー論 (2)	天文学 (2)		
	経営学 (2)	地球科学 (2)	自然認識の歴史 (2)		
	流通論 (2)	物理学 (2)	技術史・技術論 (2)		
C系列 人間性を高める	哲学 (2)	美術 (2)	トレーニング理論 (2)	2	8
	倫理学 (2)	音楽 (2)	スポーツの心理学 (2)		
	論理学 (2)	映像文化論 (2)	スポーツの歴史と社会 (2)		
	心理学 (2)	伝統芸能 (2)	講座「スポーツと人間」 (2)		
	日本文学 (2)	武道論 (2)	スポーツ演習 (1)		
	外国文学 (2)	考古学 (2)	トレーニング演習 (1)		
D系列 キャリア形成を行う	職業と人生 (2)	ビジネス文の書き方 (2)	ボランティア論 (2)	2	修得すること
	文章表現の基礎 (2)	プレゼンテーションと交渉 (2)	歴史の中の拓殖大学 (2)		
	レポートの書き方 (2)	口頭表現の技法 (2)			
E系列 能力を養活用	A I・データサイエンス基礎 (2)	情報リテラシー (2)	統計学 (2)	2	
	I Tパスポート (2)	数学 (2)			

◇卒業所要単位

※1 英米語学科・中国語学科・スペイン語学科・国際日本語学科（一般学生）

- ① A系列～E系列の各系列から2単位以上を修得すること
- ② A～E系列の任意科目を6単位以上を修得すること
- ③ ①+②の計16単位以上を修得すること

※2 国際日本語学科（外国人留学生）

- ① A～E系列の任意科目を8単位以上を修得すること

英米語学科 専門科目・自由科目配当表

(2025年度入学者適用)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位	
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)		
必修科目	必修英語	General English I ②	Academic English I ②	CLIL I ②		34	
		General English II ②	Academic English II ②	CLIL II ②			
		English Communication I ②	English Communication III ②				
English Communication II ②		English Communication IV ②					
Grammar I ①							
	Grammar II ①						
	ゼミナール	初年次教育ゼミナール ②		3年ゼミナール ④	4年ゼミナール ④		
	卒業研究				卒業研究 ②		
選択科目 I	選択英語	Project Workshop A (2)	Project Workshop C (2)	Project Workshop E (2)		26	
		Project Workshop B (2)	Project Workshop D (2)	Project Workshop F (2)			
		Vocabulary Building (1)	Discussion A (2)	Presentation A (2)			
		Practical Grammar (1)	Discussion B (2)	Presentation B (2)			
		Basic Listening Skills (1)	Debate A (2)				
		Basic Speaking Skills (1)	Debate B (2)				
		Basic Reading Skills (1)	English through Media A (2)				
	Basic Writing Skills (1)	English through Media B (2)					
		TOEIC® Test Skills (2)	TOEFL® Test Skills (2)				
選択科目 II	英語学	英語音声学 I (2)	英語学入門 (2)	英語学研究A (2)		26	
		英語音声学 II (2)		英語学研究B (2)			
	英語教育	児童英語基礎演習 (2)	小学校英語教育入門 (2)	英語教育研究A (2)	小学校英語教育実習 II (2)		
			英語教育入門 (2)	英語教育研究B (2)	小学校英語教育実習 I (2)		
	ビジネス英語		ビジネス英語入門 I (2)	ビジネス英語研究A (2)	ビジネス英語研究D (2)		
			ビジネス英語入門 II (2)	ビジネス英語研究B (2)	テクニカルコミュニケーション (2)		
	コミュニケーション		異文化間コミュニケーション入門 (2)	コミュニケーション研究A (2)	コミュニケーション研究C (2)		
			コミュニケーション研究B (2)	コミュニケーション研究D (2)			
通訳・翻訳		観光英語 (2)	デジタル翻訳 (2)	翻訳英語A (2)			
			通訳英語A (2)	翻訳英語B (2)			
地域研究・英米文学			イギリス研究入門 (2)	英語圏研究A(CLIL) (2)	英語圏研究D(CLIL) (2)		
			アメリカ研究入門 (2)	英語圏研究B(CLIL) (2)	英米文学研究A (2)		
			英語文学入門 (2)	英語圏研究C(CLIL) (2)	英米文学研究B (2)		
海外研修	海外研修 I (2)	海外研修 II (2)	海外研修 III (2)	海外研修 IV (2)			
学部基礎科目	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	言語研究 (2)	2	
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	IT概論 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)	2
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2)	グローバルビジネス論 (2)	2	
			ホスピタリティビジネス論 (2)	海外インターンシップ論 (2)			
			職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)		14	
	学部教養科目	文化		中国文化入門 (2)	イスパノアメリカ史 (2)	日本語文化 (2)	2
				日中異文化交流 (2)	日本文学概論 (2)	多言語映画論 (2)	
				スペイン史 (2)	日本語史 (2)		
	社会		中国事情 (2)	現代イスパノアメリカ社会論 (2)	世界の日本語教育事情 (2)		
			現代スペイン社会論 (2)	イスパノアメリカ経済入門 (2)	都市社会学 (2)		
第二外国語	必修第二外国語	初級(外国語)① I (1)				4	
		初級(外国語)① II (1)					
		初級(外国語)② I (1)					
		初級(外国語)② II (1)					
	選択第二外国語		中級(外国語) I (1)				
		中級(外国語) II (1)					
専門科目 卒業所要単位(合計)						100	

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
自由科目	キャリア認定科目	実務研修Ⅰ (2) 実務研修Ⅱ (2)				10
	その他	全学共通教養科目 の卒業所要単位超過修得分 学科専門科目 の卒業所要単位超過修得分 他学部、他学科の配当科目 (履修が許可されている科目のみ可) 教職課程の各科目 の修得単位 (一部科目を除く) 日本語教員養成講座の各科目 の修得単位 単位互換協定に基づく単位互換科目 (履修が許可されている他大学等の科目:4単位を上限とする)				

【履修上の注意事項】

- ①単位数が白抜きで表示されている科目は、必修科目です。
- ②科目名に下線が引かれている科目は、単位認定科目です。
- ③科目名称にローマ数字の【Ⅰ／Ⅱ】等が付いた科目は、原則として履修の順序を指定しています(科目の順次性)。
科目名称にアルファベットの【A／B】等が付いた科目は、履修の順序の指定はありません。
- ④第二外国語は、次の言語の中から1言語選択して修得してください。
【選択できる言語】中国語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、韓国語(留学生は、原則として日本語を選択してください)

小学校英語指導者資格

小学校英語教育推進協議会（略称: J-SHINE）は日本における「小学校での英語教育の普及・発展を支援する」という趣旨のもと、2003年民間主導で設立された英語教育指導者の資格認定を行うNPO法人です。

外国語学部英米語学科では、小学校英語指導者としての資格を取得可能にする為に、J-SHINEが認定する小学校英語指導者養成のための科目を選択科目Ⅱ「英語学・英語教育学」の区分の中で開講しています。

資格を取得する為には、該当科目を履修する必要があります。該当科目のGPA平均が2.5以上の学生に対して、小学校での英語活動・英語教育を行う上で、必要な知識と技能を有し、児童英語教育指導者として十分な能力を有すると担当教員が認定した後、個人申請をして取得することができます。

(1) 配当科目

科目名	単位数	配当年次
児童英語基礎演習	2単位	1年次
小学校英語教育入門	2単位	2年次
英語教育研究A	2単位	3年次
英語教育研究B	2単位	3年次
3年ゼミナール（指定する教員）	4単位	3年次
4年ゼミナール（指定する教員）	4単位	4年次
小学校英語教育実習Ⅰ	2単位	3年次
小学校英語教育実習Ⅱ	2単位	4年次

小学生に対して50時間の英語の指導、もしくは、小学校の正規の授業に於いて35時間の指導時間が満たない者は、準資格（小学校英語準認定指導者資格）を取得することができます。

(2) 申請時期

4年次の成績開示後に、担当教員に申請書を提出し、小学校英語指導者資格の申請を行います。

(3) 費用

指導者認定審査料（初回のみ） デジタル証明書 6,000 円（消費税含む）

有効期間 4年

資格更新/デジタルプラン 5,000 円、会員は 3,000 円。※消費税は別途

資格更新/カード付きプラン 8,000 円、会員は 6,000 円。※消費税は別途

※J-SHINE 小学校英語教育推進協議会についての詳細は以下を参照してください。

<https://www.j-shine.org/>

英米語学科 履修モデル

①航空、ホテル、旅行会社など、観光関連の仕事に就きたい

- ・英語コミュニケーション力を活かし、観光業界で活躍することを目指します。
- ・異文化者と交流する上での課題などについて考えを深めます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	選択英語	Project Workshop B (2)	Project Workshop C (2) Project Workshop D (2)		
		Basic Speaking Skills (1)	Discussion A (2) Discussion B (2) Debate A (2)		
選択科目 II	英語学	英語音声学 I (2)			
	ビジネス英語		ビジネス英語入門 I (2) ビジネス英語入門 II (2)		
	コミュニケーション		異文化間コミュニケーション入門 (2)		
	通訳・翻訳		観光英語 (2)	通訳英語A (2)	
	地域研究・英米文学			英語圏研究A(CLIL) (2) 英語圏研究C(CLIL) (2)	
学科横断科目	学部 基盤 科目	言語	社会言語学 (2)		
		情報	デジタルプレゼンテーション (2)		
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2) 海外インターンシップ論 (2)	グローバルビジネス論 (2)
	学部教 養科目	文化	日中異文化交流 (2)		

②小学校の教師(全科)、小学校の教師(英語専科)、民間の語学学校の英語講師等になりたい

- ・「小学校英語指導者資格」の取得を目指します。
- ・明星大学通信教育課程のプログラムで「小学校教諭2種免許状」の取得を目指します。
- ・異文化コミュニケーションの理解を深めます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	選択英語	Basic Listening Skills (1)	Discussion A (2)	Presentation A (2)	
		Basic Speaking Skills (1)	Discussion B (2)	Presentation B (2)	
		Basic Reading Skills (1)			
		Basic Writing Skills (1)			
選択科目 II	英語学	英語音声学 I (2)			
	英語教育	児童英語基礎演習 (2)	小学校英語教育入門 (2) 英語教育入門 (2)	英語教育研究A (2) 英語教育研究B (2) 小学校英語教育実習 I (2)	小学校英語教育実習 II (2)
	コミュニケーション		異文化間コミュニケーション入門 (2)	コミュニケーション研究A (2) コミュニケーション研究B (2)	
学科横断	学部 基盤 科目	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)
		情報		デジタルプレゼンテーション (2)	
	学部教 養科目	文化		日本文学概論 (2)	日本語文化 (2)

③教職免許(英語)を取得し、中学・高校の教員になりたい

・「中学校教諭一種免許状」、または、「高等学校教諭一種免許状」の取得を目指します。

・教職課程の科目選択については、「教職課程履修要項」(101ページ以降)も必ず確認してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目		2年次 配当科目		3年次 配当科目		4年次 配当科目		
		科目名	(単位数)	科目名	(単位数)	科目名	(単位数)	科目名	(単位数)	
選択科目 I	選択英語	Project Workshop B	(2)	Project Workshop C	(2)	Project Workshop D	(2)			
		Basic Speaking Skills	(1)	Discussion A	(2)					
		Basic Reading Skills	(1)	Discussion B	(2)	Debate A	(2)			
選択科目 II	英語学	英語音声学 I	(2)	英語学入門	(2)					
		英語音声学 II	(2)							
選択科目 II	地域研究・英米文学			イギリス研究入門	(2)	英語圏研究C(CLIL)	(2)			
				アメリカ研究入門	(2)					
				英語文学入門	(2)					
学科横断科目	学部基盤科目	言語	言語学	(2)	社会言語学	(2)	言語習得論	(2)	言語研究	(2)
		情報			デジタルプレゼンテーション	(2)				
	学部教養科目	文化			日本語史	(2)				
		社会				世界の日本語教育事情	(2)			
教職課程基礎資格科目	全学共通教養科目(基礎資格)		日本国憲法	(2)	トレーニング演習	(1)				
			スポーツ演習	(1)	情報リテラシー	(2)				
教職課程科目	教科教育法				英語科教育法 I	(2)	英語科教育法Ⅲ	(2)		
					英語科教育法 II	(2)	英語科教育法Ⅳ	(2)		
	教育の基礎理解	教育原理	(2)	教育社会学	(2)	教育課程論	(2)			
		教職論	(2)	教育・発達心理学	(2)	特別支援教育論	(2)			
	道徳、総合的学習指導、生徒指導、教育相談	総合的な学習の指導論	(1)	道徳教育指導論	(2)	教育とICT活用	(2)	進路指導論	(2)	
			特別活動論	(2)	生徒指導論	(2)				
			教育方法	(2)	教育相談(カウンセリングを含む)	(2)				
教育実践					教育実習(事前・事後指導)	(1)	教育実習 I	(2)		
							教育実習 II	(2)		
							教育実践演習(中・高)	(2)		
介護等体験					介護等体験	(2)				

④通訳・翻訳(社内も含める)の仕事に就きたい

・通訳・翻訳家など、日本語と外国語の双方に関わる仕事を目指します。

・ことばの使い方への意識を高めます。

・時事問題や世界情勢などの知識、異文化コミュニケーションの理解も深めます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目		2年次 配当科目		3年次 配当科目		4年次 配当科目	
		科目名	(単位数)	科目名	(単位数)	科目名	(単位数)	科目名	(単位数)
選択科目 I	選択英語	Project Workshop A	(2)						
		Basic Speaking Skills	(1)	English through Media A	(2)	Presentation A	(2)		
				English through Media B	(2)	Presentation B	(2)		
選択科目 II	英語学	英語音声学 I	(2)						
	ビジネス英語			ビジネス英語入門 I	(2)				
				ビジネス英語入門 II	(2)				
選択科目 II	通訳・翻訳			観光英語	(2)	デジタル翻訳	(2)	翻訳英語A	(2)
						通訳英語A	(2)	翻訳英語B	(2)
						通訳英語B	(2)		
学科横断	学部基盤科目	言語	言語学	(2)	言語研究	(2)			
		情報	文系プログラミング入門	(2)	デジタルプレゼンテーション	(2)			
		キャリア			グローバルビジネス論	(2)			

⑤マスコミ、出版、テレビ番組制作等の仕事に就きたい

出版、ライター、テレビ番組制作、映画関連職等、情報アウトプットに関する仕事に就きたい。

・出版、ライター、テレビ番組制作、映画関連職等、情報アウトプットに関する仕事を目指します。

・外国語は初級を2か国語履修することを勧めます。※第二外国語については、36ページを参照ください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	選択英語	Project Workshop A (2)	Project Workshop C (2)	Project Workshop E (2)	
		Project Workshop B (2)	Project Workshop D (2)	Project Workshop F (2)	
選択科目 II	コミュニケーション		異文化間コミュニケーション入門 (2)		
	通訳・翻訳			デジタル翻訳 (2)	
	地域研究・英米文学		イギリス研究入門 (2) アメリカ研究入門 (2)	英語圏研究A(CLIL) (2) 英語圏研究B(CLIL) (2) 英語圏研究C(CLIL) (2)	英語圏研究D(CLIL) (2)
学科横断科目	言語	言語学 (2)			
	学部基盤科目 情報	文系プログラミング入門 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)		
	キャリア		ホスピタリティビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2)	
	学部教養科目 文化		多言語映画論 (2)		
	社会		都市社会学 (2)		

⑥グローバル・ビジネスに関わる仕事に就きたい

・外資系を含むメーカー、商社、国際物流企業などで、国際業務に就くことを目指します。

・ビジネス英語、および、国際取引実務の基本を学びます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	選択英語	Project Workshop A (2)			
		Basic Writing Skills (1)	Discussion A (2) Discussion B (2) Debate A (2) Debate B (2)	Presentation A (2) Presentation B (2)	
選択科目 II	英語学	英語音声学 I (2)			
	ビジネス英語		ビジネス英語入門 I (2) ビジネス英語入門 II (2)	ビジネス英語研究A (2) ビジネス英語研究B (2) ビジネス英語研究C (2)	ビジネス英語研究D (2) テクニカルコミュニケーション (2)
	コミュニケーション		異文化間コミュニケーション入門 (2)	コミュニケーション研究A (2) コミュニケーション研究B (2)	
学科横断科目	言語		社会言語学 (2)		
	学部基盤科目 情報	文系プログラミング入門 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)		
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	グローバルビジネス論 (2)		
	学部教養科目 文化		中国文化入門 (2)		
社会		中国事情 (2)			

⑦IT関連企業での仕事に就きたい

- ・英語運用能力を活かし、ソフトウェア・情報処理・情報サービスの分野で活躍することを目指します。
- ・次世代のデジタル社会で役立つ知識とスキルを習得します。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	選択英語	Project Workshop B (2)	Project Workshop C (2) Project Workshop D (2)		
		Basic Speaking Skills (1)	Debate A (2)	Presentation A (2) Presentation B (2)	
選択科目 II	英語学	英語音声学 I (2)			
	ビジネス英語		ビジネス英語入門 I (2) ビジネス英語入門 II (2)	テクニカルコミュニケーション (2)	
	通訳・翻訳		観光英語 (2)	デジタル翻訳 (2)	
	地域研究・英米文学			英語圏研究C(CLIL) (2)	
学科横断科目	学部基盤科目	言語	言語研究 (2)		
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	デジタルプレゼンテーション (2)
	キャリア		ホスピタリティビジネス論 (2)	グローバルビジネス論 (2)	
	学部教養科目	社会		中国事情 (2)	

 *MEMO* 

中国語学科 専門科目・自由科目配当表

(2025年度入学者適用)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位	
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)		
必修科目	必修 中国語	総合中国語① I ④	読解 I ①	講読演習 I ①	表現演習② I ①	46	
		総合中国語① II ④	読解 II ①	講読演習 II ①	表現演習② II ①		
		総合中国語② I ①	文法作文 I ①	作文演習 I ①	表現演習③ I ①		
総合中国語② II ①		文法作文 II ①	作文演習 II ①	表現演習③ II ①			
総合中国語③ I ②		聴解 I ①	表現演習① I ①				
	総合中国語③ II ②	聴解 II ①	表現演習① II ①				
	ゼミナール	初年次教育ゼミナール ②		3年ゼミナール ④	4年ゼミナール ④		
	卒業研究				卒業研究 ②		
選択科目 I	中国学	中国史概論 ②	中国語学概論 ②			6	
		中国学入門 ②					
			中国語学研究 (2)	中国文化研究 (2)			
		中国文化概論 (2)	中国文学研究 (2)				
		中国文学概論 (2)	中国社会研究 (2)				
		中国社会概論 (2)					
		中国経済概論 (2)					
		中国経済研究 (2)					
		台湾語 I (2)					
		台湾語 II (2)					
	広東語 I (2)						
	広東語 II (2)						
	時事中国語 I (2)						
	時事中国語 II (2)						
	日中対照言語研究 I (2)						
	日中対照言語研究 II (2)						
		資格中国語演習A (2)	資格中国語演習B (2)				
選択科目 II	言語文化研究		中国文化入門 (2)	翻訳法 I (2)	通訳法 II (2)	14	
			日中異文化交流 (2)	翻訳法 II (2)	スピーチ演習 I (2)		
	社会ビジネス研究		中国ビジネス概論 (2)	ビジネス会話 I (2)	商業文書 II (2)		
		中国事情 (2)	ビジネス会話 II (2)	観光中国語 I (2)			
			商業文書 I (2)	観光中国語 II (2)			
	海外研修	海外研修 I (2)	海外研修 II (2)	海外研修 III (2)	海外研修 IV (2)		
学部基盤科目	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	言語研究 (2)	2	
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	IT概論 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)	2
		キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2)	グローバルビジネス論 (2)	2
				ホスピタリティビジネス論 (2)	海外インターンシップ論 (2)		
			職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)		14	
	学部教養科目	文化		英語音声学 I (2)	スペイン史 (2)	日本語文化 (2)	2
				英語音声学 II (2)	イスパノアメリカ史 (2)	多言語映画論 (2)	
				異文化間コミュニケーション入門 (2)	日本文学概論 (2)		
				英語文学入門 (2)	日本語史 (2)		
	第二外国語	社会		イギリス研究入門 (2)	スペイン・EU経済入門 (2)	世界の日本語教育事情 (2)	4
			アメリカ研究入門 (2)	現代イスパノアメリカ社会論 (2)	都市社会学 (2)		
			現代スペイン社会論 (2)	イスパノアメリカ経済入門 (2)			
	必修第二外国語	初級(外国語)① I (1)				4	
	初級(外国語)① II (1)						
	初級(外国語)② I (1)						
	初級(外国語)② II (1)						
	選択第二外国語		中級(外国語) I (1)	English for TOEIC®650 (1)	Practical Business English (1)		
			中級(外国語) II (1)	Practical English Presentation (1)	Practical English Reading (1)		
			※次ページ【履修上の注意事項】⑤を参照				
専門科目 卒業所要単位(合計)						100	

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所 要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
自由科目	キャリア 認定科目	実務研修Ⅰ (2) 実務研修Ⅱ (2)				10
	その他	全学共通教養科目 の卒業所要単位超過修得分 学科専門科目 の卒業所要単位超過修得分 他学部、他学科の配当科目 (履修が許可されている科目のみ可) 教職課程の各科目 の修得単位 (一部科目を除く) 日本語教員養成講座の各科目 の修得単位 単位互換協定に基づく単位互換科目 (履修が許可されている他大学等の科目:4単位を上限とする)				

【履修上の注意事項】

- ①単位数が白抜きで表示されている科目は、必修科目です。
- ②科目名に下線が引かれている科目は、単位認定科目です。
- ③科目名称にローマ数字の【Ⅰ / Ⅱ】等が付いた科目は、原則として履修の順序を指定しています(科目の順次性)。
科目名称にアルファベットの【A / B】等が付いた科目は、履修の順序の指定はありません。
- ④第二外国語は、次の言語の中から1言語選択して修得してください。

【選択できる言語】英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、韓国語(留学生は、原則として日本語を選択してください)

- ⑤第二外国語(選択)の上級英語として、英米語学科配当科目を履修することも可能です(英語選択者)。

●Project Workshop E/F ●デジタル翻訳 ●翻訳英語A/B ●通訳英語A/B ●Presentation A/B 各2単位

※単位修得した場合は、自由科目の単位になります。

中国語学科 履修モデル

①通訳・翻訳(日本語と中国語・外国語の双方に関わる仕事)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	中国学		中国文化概論 (2) 中国社会概論 (2) 時事中国語Ⅰ (2) 時事中国語Ⅱ (2) 日中対照言語研究Ⅰ (2) 日中対照言語研究Ⅱ (2)		
選択科目Ⅱ	言語文化研究			翻訳法Ⅰ (2) 通訳法Ⅰ (2) 翻訳法Ⅱ (2) 通訳法Ⅱ (2)	

②出版・マスコミ(中国語に関わる仕事)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	中国学		中国文学概論 (2) 中国社会概論 (2) 時事中国語Ⅰ (2) 時事中国語Ⅱ (2)		
選択科目Ⅱ	言語文化研究			翻訳法Ⅰ (2) スピーチ演習Ⅰ (2) 翻訳法Ⅱ (2) スピーチ演習Ⅱ (2)	

③旅行会社・ホテル(観光に関わる仕事)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	中国学		中国社会概論 (2) 中国経済概論 (2)		
選択科目Ⅱ	社会ビジネス研究		中国事情 (2)	ビジネス会話Ⅰ (2) 観光中国語Ⅰ (2) ビジネス会話Ⅱ (2) 観光中国語Ⅱ (2)	

④貿易・商社・流通など(一般企業に関わる仕事)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	中国学		中国社会概論 (2) 中国経済概論 (2)		
選択科目Ⅱ	社会ビジネス研究		中国事情 (2)	ビジネス会話Ⅰ (2) 商業文書Ⅰ (2) ビジネス会話Ⅱ (2) 商業文書Ⅱ (2)	

 *MEMO* 

スペイン語学科 専門科目・自由科目配当表

(2025年度入学者適用)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位	
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)		
必修科目	必修 スペイン語	基礎スペイン語Ⅰ ②	応用スペイン語Ⅰ ①	作文②Ⅰ ①	表現演習②Ⅰ ①	44	
		基礎スペイン語Ⅱ ②	応用スペイン語Ⅱ ①	作文②Ⅱ ①	表現演習②Ⅱ ①		
	基礎会話Ⅰ ②	作文①Ⅰ ①	講読②Ⅰ ①				
基礎会話Ⅱ ②	作文①Ⅱ ①	講読②Ⅱ ①					
基礎語彙Ⅰ ②	講読①Ⅰ ①	表現演習①Ⅰ ②					
基礎語彙Ⅱ ②	講読①Ⅱ ①	表現演習①Ⅱ ②					
	ゼミナール	初年次教育ゼミナール ②		3年ゼミナール ④	4年ゼミナール ④		
	卒業研究				卒業研究 ②		
選択科目Ⅰ	選択 スペイン語	スペイン語相互学習Ⅰ (1) スペイン語相互学習Ⅱ (1)	スペイン語相互学習Ⅲ (1) スペイン語相互学習Ⅳ (1) 総合演習Ⅰ (2) 総合演習Ⅱ (2) プレゼンテーション基礎Ⅰ (2) プレゼンテーション基礎Ⅱ (2)	スペイン語相互学習Ⅴ (1) スペイン語相互学習Ⅵ (1) プレゼンテーション演習Ⅰ (2) プレゼンテーション演習Ⅱ (2)	時事スペイン語Ⅰ (2) 時事スペイン語Ⅱ (2) 機械翻訳スペイン語 (2)	14	
選択科目Ⅱ	言語・文学		スペイン語学概論Ⅰ (2) スペイン語学概論Ⅱ (2) スペイン語音声学・音韻論Ⅰ (2) スペイン語音声学・音韻論Ⅱ (2) スペイン語圏文学Ⅰ (2) スペイン語圏文学Ⅱ (2)	スペイン語史 (2) スペイン語学特講Ⅰ (2) スペイン語学特講Ⅱ (2)	スペイン語通訳法Ⅰ (2) スペイン語通訳法Ⅱ (2)	28	
		地域・文化	日本紹介スペイン語A (2)	日本紹介スペイン語B (2) 現代スペイン社会論 (2) スペイン・EU経済入門 (2) 現代イスマノアムリカ社会論 (2) イスマノアムリカ経済入門 (2) スペイン史 (2) イスマノアムリカ史 (2)	スペイン特殊研究A (2) スペイン特殊研究B (2)		イスマノアムリカ特殊研究Ⅰ (2) イスマノアムリカ特殊研究Ⅱ (2)
	ビジネス		ビジネススペイン語概論 (2) スペイン語圏ビジネス研究A (2) スペイン語圏ビジネス研究B (2) 観光ビジネススペイン語Ⅰ (2) 観光ビジネススペイン語Ⅱ (2)	ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ (2) ビジネススペイン語特殊研究Ⅱ (2)			
	海外研修	海外研修Ⅰ (2)	海外研修Ⅱ (2)	海外研修Ⅲ (2)	海外研修Ⅳ (2)		
学 部 基 盤 科 目	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	言語研究 (2)	2	
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	IT概論 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)	2
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2) 海外インターンシップ論 (2)	グローバルビジネス論 (2)		2
			職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)			14
横 断 科 目	文化		英語音声学Ⅰ (2) 英語音声学Ⅱ (2) 異文化間コミュニケーション入門 (2) 英語文学入門 (2)	中国文化入門 (2) 日中異文化交流 (2) 日本文学概論 (2) 日本語史 (2)	日本語文化 (2) 多言語映画論 (2)	2	
	社会		イギリス研究入門 (2) アメリカ研究入門 (2)	中国事情 (2) 世界の日本語教育事情 (2)	都市社会学 (2)		
科 目	第二外国語	初級(外国語)①Ⅰ (1) 初級(外国語)①Ⅱ (1) 初級(外国語)②Ⅰ (1) 初級(外国語)②Ⅱ (1)				4	
	選択第二外国語		中級(外国語)Ⅰ (1) 中級(外国語)Ⅱ (1)	English for TOEIC®650 (1) Practical English Presentation (1)	Practical Business English (1) Practical English Reading (1)		
※次ページ【履修上の注意事項】⑤を参照							
専門科目 卒業所要単位(合計)						100	

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
自由科目	キャリア認定科目	実務研修Ⅰ (2) 実務研修Ⅱ (2)				10
	その他	全学共通教養科目 の卒業所要単位超過修得分 学科専門科目 の卒業所要単位超過修得分 他学部、他学科の配当科目 (履修が許可されている科目のみ可) 教職課程の各科目 の修得単位 (一部科目を除く) 日本語教員養成講座の各科目 の修得単位 単位互換協定に基づく単位互換科目 (履修が許可されている他大学等の科目:4単位を上限とする)				

【履修上の注意事項】

- ①単位数が白抜きで表示されている科目は、必修科目です。
- ②科目名に下線が引かれている科目は、単位認定科目です。
- ③科目名称にローマ数字の【Ⅰ／Ⅱ】等が付いた科目は、原則として履修の順序を指定しています(科目の順次性)。
科目名称にアルファベットの【A／B】等が付いた科目は、履修の順序の指定はありません。
- ④第二外国語は、次の言語の中から1言語選択して修得してください。

【選択できる言語】英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語(留学生は、原則として日本語を選択してください)

- ⑤第二外国語(選択)の上級英語として、英米語学科配当科目を履修することも可能です(英語選択者)。

●Project Workshop E/F ●デジタル翻訳 ●翻訳英語A/B ●通訳英語A/B ●Presentation A/B 各2単位

※単位修得した場合は、自由科目の単位になります。

スペイン語学科 履修モデル

①公務員・通訳・翻訳関係の仕事に就きたい

スペイン語を主に用いるような、外交官などの国家公務員、大使館職員、また通訳職としての公務員に就くために必要なレベルのスペイン語を習得するために必要だと考えられる履修モデルです。また、通訳や翻訳のようなスペイン語を用いる専門職に就くことを想定する場合にもこちらのモデルをもとに履修を考えてみてください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	選択 スペイン語		総合演習Ⅰ (1) 総合演習Ⅱ (1)	時事スペイン語Ⅰ (2) 時事スペイン語Ⅱ (2)	
選択科目Ⅱ	言語・文学		スペイン語学概論Ⅰ (2) スペイン語学概論Ⅱ (2) スペイン語音声学・音韻論Ⅰ (2) スペイン語音声学・音韻論Ⅱ (2) スペイン語圏文学Ⅰ (2) スペイン語圏文学Ⅱ (2)	スペイン語通訳法Ⅰ (2) スペイン語通訳法Ⅱ (2)	
	地域・文化	日本紹介スペイン語A (2)	日本紹介スペイン語B (2)		
学科横断科目	盤学 科目基	言語		社会言語学 (2)	
		情報	文系プログラミング入門 (2)		
		キャリア		グローバルビジネス論 (2)	
	養学 科目教	文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)	
		社会		都市社会学 (2)	

②海外ビジネス、インバウンドビジネスなど、外国人とのビジネスに関わる仕事に就きたい

・スペイン語でのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上に加え、スペイン語圏の文化・社会・経済・ビジネスマナーに精通し、自国の文化や社会についてスペイン語でわかりやすく説明できる人材となることを目指す履修モデルです。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	選択 スペイン語		プレゼンテーション基礎Ⅰ (1) プレゼンテーション基礎Ⅱ (1)	機械翻訳スペイン語 (2)	時事スペイン語Ⅰ (2) 時事スペイン語Ⅱ (2)
選択科目Ⅱ	言語・文学			スペイン語通訳法Ⅰ (2) スペイン語通訳法Ⅱ (2)	
	地域・文化	日本紹介スペイン語A (2)	日本紹介スペイン語B (2)	スペイン・EU経済入門 (2)	イスマノアメリカ経済入門 (2)
	ビジネス		ビジネススペイン語概論 (2) スペイン語圏ビジネス研究A (2) スペイン語圏ビジネス研究B (2) 観光ビジネススペイン語Ⅰ (2) 観光ビジネススペイン語Ⅱ (2)	ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ (2) ビジネススペイン語特殊研究Ⅱ (2)	
学科横断科目	盤学 科目基	言語		社会言語学 (2)	
		情報		デジタルプレゼンテーション (2)	
		キャリア		観光ビジネス論 (2)	
	養学 科目教	文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)	
		社会		都市社会学 (2)	

③情報通信・IT関係の仕事に就きたい

・言語を活かし、ソフトウェア・情報処理・情報サービスの分野で貢献したいと考える人の履修モデルです。次世代のデジタル社会で役立つ知識とスキル、考え方を身につけます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	選択 スペイン語		プレゼンテーション基礎Ⅰ (1) プレゼンテーション基礎Ⅱ (1)	機械翻訳スペイン語 (2)	時事スペイン語Ⅰ (2) 時事スペイン語Ⅱ (2)
選択科目Ⅱ	地域・文化	日本紹介スペイン語A (2)	現代スペイン社会論 (2) スペイン・EU経済入門 (2)	現代イスパノアメリカ社会論 (2) イスパノアメリカ経済入門 (2)	
	ビジネス		ビジネススペイン語概論 (2) スペイン語圏ビジネス研究A (2) スペイン語圏ビジネス研究B (2)	ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ (2)	
学科横断科目	盤学 科目基 目 基 養学 科目教 目教	言語		社会言語学 (2)	
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	
		キャリア		グローバルビジネス論 (2)	
		文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)	
	社会		都市社会学 (2)		

④教職免許(スペイン語)を取得し、中学・高校でスペイン語を教えたい

・○の科目は中高ともに必修です。●は中学校一種免許状に必修です。
 ・語学学校でスペイン語を教えたいと考える方にも役立つ内容となっています。
 ・教職課程の科目選択については、「教職課程 履修要項」(101ページ以降)も必ず確認してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	選択 スペイン語	スペイン語相互学習Ⅰ (1) スペイン語相互学習Ⅱ (1)	スペイン語相互学習Ⅲ (1) スペイン語相互学習Ⅳ (1)		
選択科目Ⅱ	言語・文学		スペイン語学概論Ⅰ (2) スペイン語学概論Ⅱ (2) スペイン語圏文学Ⅰ (2) スペイン語圏文学Ⅱ (2)	スペイン語史 (2)	
	地域・文化		現代スペイン社会論 (2) 現代イスパノアメリカ社会論 (2)		
学科横断科目	盤学 科目基 目 基 養学 科目教 目教	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	
		情報	文系プログラミング入門 (2)		
		キャリア	キャリアガイダンス (2)		
		文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)	
	社会		都市社会学 (2)		
教職課程 基礎資格 科目	全学共通 教養科目 (基礎資格)	日本国憲法 (2) スポーツ演習 (1)	トレーニング演習 (1) 情報リテラシー (2)		
	第二 外国 語	必修第 二外国 語	初級(外国語)②Ⅰ (1) 初級(外国語)②Ⅱ (1)		
教職 課程 科目	全学共通 教養科目 (基礎資格)	日本国憲法 (2) スポーツ演習 (1)	トレーニング演習 (1) 情報リテラシー (2)		
	教科教育法		●イスパニア語科教育法Ⅰ (2) ●イスパニア語科教育法Ⅱ (2)	○イスパニア語科教育法Ⅲ (2) ○イスパニア語科教育法Ⅳ (2)	
	教育の基礎 理解	○教育原理 (2) ○教職論 (2)	○教育社会学 (2) ○教育・発達心理学 (2)	○教育課程論 (2) ○特別支援教育論 (2)	
	道徳、総合的 学習指導、生 徒指導、教育 相談	○総合的な学習の指導論 (1)	●道徳教育指導論 (2) ○特別活動論 (2) ○教育方法 (2)	○教育とICT活用 (2) ○生徒指導論 (2) ○教育相談(カウンセリングを含む) (2)	○進路指導論 (2)
	教育実践			○教育実習(事前・事後指導) (1)	○教育実習Ⅰ (2) ●教育実習Ⅱ (2) ○教育実践演習(中・高) (2)
介護等体験			●介護等体験 (2)		

国際日本語学科 専門科目・自由科目配当表
(一般学生用)

(2025年度入学者適用)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位	
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)		
必修科目	専門基礎	日本語学概論Ⅰ ②	国際日本語論 ②			26	
		日本語学概論Ⅱ ②					
		日本語教育概論 ②					
	ゼミナール等	初年次教育ゼミナール ② アカデミックスキルズ ②	日本語相互学習Ⅰ ② 日本語相互学習Ⅱ ②	3年ゼミナール ④	4年ゼミナール ④		
卒業研究				卒業研究 ②			
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ (2) 日本語教育文法Ⅱ (2) 日本語文法Ⅰ (2) 日本語文法Ⅱ (2) 日本古典文法Ⅰ (2) 日本古典文法Ⅱ (2)				22	
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2) 日本語表現Ⅱ (2) 日本語文章表現Ⅰ (2) 日本語文章表現Ⅱ (2)	日本語プレゼンテーションⅠ (2) 日本語プレゼンテーションⅡ (2) 国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合Ⅰ (2)	ビジネス日本語総合Ⅱ (2) 専門日本語(観光) (2) 専門日本語(メディア) (2)			
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ (2) 日本語教授法Ⅱ (2) 日本語音声学 (2) 日本語表記論 (2) 日本語教育教材論 (2) 日本語語彙論 (2)	世界の日本語教育事情 (2) 教育日本語総合A (2) 教育日本語総合B (2) 教育日本語総合C (2) 日本語教育評価法 (2) 日本語の談話 (2)	日本語意味論 (2) 日本事情教育 (2) 日本語教育実践演習 (2) 日本語教育実習 (1)		34	
	日本語・日本文化	日本語・日本人論 (2) クールジャパン論 (2) 現代日本語事情 (2) 異文化間理解 (2) 日本近代文学 (2) ポップカルチャー論 (2) 日本の民俗と思想 (2)	日本文学概論 (2) 日本語史 (2) 日本古典文学Ⅰ (2) 日本古典文学Ⅱ (2) 日本語文化 (2) 日本の生活と芸能 (2)	翻訳・通訳概論(日英) (2) 翻訳・通訳概論(日中) (2) 漢文学概論Ⅰ (2) 漢文学概論Ⅱ (2) 書道 (2)			
	海外研修	海外研修Ⅰ (2)	海外研修Ⅱ (2)	海外研修Ⅲ (2)	海外研修Ⅳ (2)		
学部基礎科目	言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	言語研究 (2)	2	
		情報	文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	IT概論 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)	2
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2) 海外インターンシップ論 (2)	グローバルビジネス論 (2)		2
			職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)			14
学部教養科目	文化		英語音声学Ⅰ (2) 英語音声学Ⅱ (2) 異文化間コミュニケーション入門 (2)	英語文学入門 (2) 中国文化入門 (2) 日中異文化交流 (2)	スペイン史 (2) イスパノアメリカ史 (2) 多言語映画論 (2)	2	
	社会		イギリス研究入門 (2) アメリカ研究入門 (2) 中国事情 (2)	現代スペイン社会論 (2) スペイン・EU経済入門 (2) 現代イスパノアメリカ社会論 (2)	イスパノアメリカ経済入門 (2) 都市社会学 (2)		
	第二外国語	初級(外国語)①Ⅰ (1) 初級(外国語)①Ⅱ (1) 初級(外国語)②Ⅰ (1) 初級(外国語)②Ⅱ (1)					4
国語	選択第二外国語		中級(外国語)Ⅰ (1) 中級(外国語)Ⅱ (1)	English for TOEIC®650 (1) Practical English Presentation (1)	Practical Business English (1) Practical English Reading (1)		
※次ページ【履修上の注意事項】⑤を参照							
専門科目 卒業所要単位(合計)						96	

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
自由科目	キャリア認定科目	実務研修Ⅰ (2) 実務研修Ⅱ (2)				14
	その他	全学共通教養科目 の卒業所要単位超過修得分 学科専門科目 の卒業所要単位超過修得分 他学部、他学科の配当科目 (履修が許可されている科目のみ可) 教職課程の各科目 の修得単位 (一部科目を除く) 単位互換協定に基づく単位互換科目 (履修が許可されている他大学等の科目:4単位を上限とする)				

【履修上の注意事項】

- ①単位数が白抜きで表示されている科目は、必修科目です。
- ②科目名に下線が引かれている科目は、単位認定科目です。
- ③科目名称にローマ数字の【Ⅰ／Ⅱ】等が付いた科目は、原則として履修の順序を指定しています(科目の順次性)。科目名称にアルファベットの【A／B】等が付いた科目は、履修の順序の指定はありません。

- ④第二外国語は、次の言語の中から1言語選択して修得してください。

【選択できる言語】英語、中国語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、韓国語

- ⑤第二外国語(選択)の上級英語として、英米語学科配当科目を履修することも可能です(英語選択者)。

●Project Workshop E/F ●デジタル翻訳 ●翻訳英語A/B ●通訳英語A/B ●Presentation A/B 各2単位

※単位修得した場合は、自由科目の単位になります。

国際日本語学科(外国人留学生用) 専門科目・自由科目配当表

(2025年度入学者適用)

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
必修科目	専門基礎	日本語学概論Ⅰ ②	日本語学概論Ⅱ ② 日本語教育概論 ② 国際日本語論 ②			38
	日本語(留学生)	日本語リテラシーⅠA ①	日本語リテラシーⅢ ①	3年ゼミナール ④	4年ゼミナール ④	
		日本語リテラシーⅠB ①	日本語リテラシーⅣ ①			
		日本語リテラシーⅡA ①	日本語コミュニケーションⅢ ①			
		日本語リテラシーⅡB ①	日本語コミュニケーションⅣ ①			
日本語コミュニケーションⅠA ①						
日本語コミュニケーションⅠB ①						
日本語コミュニケーションⅡA ①						
日本語コミュニケーションⅡB ①						
ゼミナール等	初年次教育ゼミナール ② アカデミックスキルズ ②	日本語相互学習Ⅰ ② 日本語相互学習Ⅱ ②				
卒業研究				卒業研究 ②		
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ (2) 日本語教育文法Ⅱ (2) 日本語文法Ⅰ (2) 日本語文法Ⅱ (2) 日本古典文法Ⅰ (2) 日本古典文法Ⅱ (2)				18
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2) 日本語表現Ⅱ (2) 日本語文章表現Ⅰ (2) 日本語文章表現Ⅱ (2)	日本語プレゼンテーションⅠ (2) 日本語プレゼンテーションⅡ (2) 国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合Ⅰ (2)	ビジネス日本語総合Ⅱ (2) 専門日本語(観光) (2) 専門日本語(メディア) (2)		
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ (2) 日本語教授法Ⅱ (2) 日本語音声学 (2) 日本語表記論 (2) 日本語教育教材論 (2) 日本語語彙論 (2)	世界の日本語教育事情 (2) 教育日本語総合A (2) 教育日本語総合B (2) 教育日本語総合C (2) 日本語教育評価法 (2) 日本語の談話 (2)	日本語意味論 (2) 日本事情教育 (2) 日本語教育実践演習 (2) 日本語教育実習 (1)		34
	日本語・日本文化	日本語・日本人論 (2) クールジャパン論 (2) 現代日本語事情 (2) 異文化間理解 (2) 日本近代文学 (2) ポップカルチャー論 (2) 日本の民俗と思想 (2)	日本文学概論 (2) 日本語史 (2) 日本古典文学Ⅰ (2) 日本古典文学Ⅱ (2) 日本語文化 (2) 日本の生活と芸能 (2)	翻訳・通訳概論(日英) (2) 翻訳・通訳概論(日中) (2) 漢文学概論Ⅰ (2) 漢文学概論Ⅱ (2) 書道 (2)		
	海外研修	海外研修Ⅰ (2)	海外研修Ⅱ (2)	海外研修Ⅲ (2)	海外研修Ⅳ (2)	
学部横断科目	言語情報	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	言語研究 (2)	2
		文系プログラミング入門 (2)	文系プログラミング (2)	IT概論 (2)	デジタルプレゼンテーション (2)	2
	キャリア	キャリアガイダンス (2)	観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)	エアラインビジネス論 (2) 海外インターンシップ論 (2)	グローバルビジネス論 (2)	2
			職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)		14
文化		英語音声学Ⅰ (2) 英語音声学Ⅱ (2) 異文化間コミュニケーション入門 (2)	英語文学入門 (2) 中国文化入門 (2) 日中異文化交流 (2)	スペイン史 (2) イスパノアメリカ史 (2) 多言語映画論 (2)	2	
	社会		イギリス研究入門 (2) アメリカ研究入門 (2) 中国事情 (2)	現代スペイン社会論 (2) スペイン・EU経済入門 (2) 現代イスパノアメリカ社会論 (2)	イスパノアメリカ経済入門 (2) 都市社会学 (2)	
第二外国語	必修第二外国語	初級(外国語)①Ⅰ (1) 初級(外国語)①Ⅱ (1) 初級(外国語)②Ⅰ (1) 初級(外国語)②Ⅱ (1)				4
	選択第二外国語		中級(外国語)Ⅰ (1) 中級(外国語)Ⅱ (1)	English for TOEIC®650 (1) Practical English Presentation (1)	Practical Business English (1) Practical English Reading (1)	
※次ページ【履修上の注意事項】⑤を参照						
専門科目 卒業所要単位(合計)						104

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目	卒業所要単位
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	
自由科目	キャリア認定科目	実務研修Ⅰ (2) 実務研修Ⅱ (2)				14
	その他	全学共通教養科目 の卒業所要単位超過修得分 学科専門科目 の卒業所要単位超過修得分 他学部、他学科の配当科目 (履修が許可されている科目のみ可) 教職課程の各科目 の修得単位 (一部科目を除く) 単位互換協定に基づく単位互換科目 (履修が許可されている他大学等の科目:4単位を上限とする)				

【履修上の注意事項】

- ①単位数が白抜きで表示されている科目は、必修科目です。
- ②科目名に下線が引かれている科目は、単位認定科目です。
- ③科目名称にローマ数字の【Ⅰ／Ⅱ】等が付いた科目は、原則として履修の順序を指定しています(科目の順次性)。科目名称にアルファベットの【A／B】等が付いた科目は、履修の順序の指定はありません。

- ④第二外国語は、次の言語の中から1言語選択して修得してください。

【選択できる言語】英語、中国語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、韓国語

- ⑤第二外国語(選択)の上級英語として、英米語学科配当科目を履修することも可能です(英語選択者)。

●Project Workshop E/F ●デジタル翻訳 ●翻訳英語A/B ●通訳英語A/B ●Presentation A/B 各2単位

※単位修得した場合は、自由科目の単位になります。

「日本語教員試験」対応プログラム

今後、日本国内の正規の日本語学校（認定日本語教育機関）で日本語教員として活躍するためには、2024年4月より国家資格となった「登録日本語教員」の資格を有する必要があります。

資格を取得するには、日本語教員試験（基礎試験および応用試験）に合格し、実践研修を修了しなければいけません。

本プログラムの14科目27単位を修得することにより、資格取得に必要な日本語教員試験（基礎試験）および実践研修が免除されます。

したがって、本プログラムを修了し、日本語教員試験（応用試験）に合格すると「登録日本語教員」の資格を得ることができます

（2025年度入学者適用）

科 目 名	単 位 数	配 当 年 次	文化庁で示す3領域5区分16下位区分による 必須の教育内容(50項目)
日本語学概論Ⅰ	(2)	1年	(11) 待遇・敬意表現 (37) 一般言語学 (38) 対照言語学 (39) 日本語教育のための日本語分析 (40) 日本語教育のための音韻・音声体系 (41) 日本語教育のための文字と表記 (42) 日本語教育のための形態・語彙体系 (43) 日本語教育のための文法体系 (44) 日本語教育のための意味体系
日本語学概論Ⅱ	(2)	1年 (*)	(8) 社会言語学 (10) コミュニケーションストラテジー (11) 待遇・敬意表現 (14) 談話理解 (15) 言語学習 (37) 一般言語学 (38) 対照言語学 (45) 日本語教育のための語用論的規範
日本語教育概論	(2)	1年	(3) 多文化共生 (4) 日本語教育史 (7) 世界と日本の日本語教育事情 (13) 多言語・多文化主義 (16) 習得過程（第一言語・第二言語） (19) 日本語学習・教育の情動的側面 (24) 教授法 (34) コミュニケーション教育 (41) 日本語教育のための文字と表記 (43) 日本語教育のための文法体系
日本語教育文法Ⅰ	(2)	1年	(43) 日本語教育のための文法体系
日本語教育文法Ⅱ	(2)	1年	(43) 日本語教育のための文法体系
教育日本語総合A	(2)	2年	(1) 世界と日本の社会と文化 (2) 日本の在留外国人施策 (3) 多文化共生 (4) 日本語教育史 (5) 言語政策 (6) 日本語の試験 (7) 世界と日本の日本語教育事情
教育日本語総合B	(2)	2年	(9) 言語政策とことば (12) 言語・非言語行動 (39) 日本語教育のための日本語分析 (44) 日本語教育のための意味体系 (45) 日本語教育のための語用論的規範
教育日本語総合C	(2)	2年	(15) 言語学習 (16) 習得過程（第一言語・第二言語） (17) 学習ストラテジー (18) 異文化受容・適応 (26) 評価法 (29) 中間言語分析 (30) 授業分析・自己点検能力 (32) 異文化間教育 (33) 異文化間コミュニケーション (34) コミュニケーション教育
日本語教授法Ⅰ	(2)	1年	(20) 日本語教師の資質・能力 (21) 日本語教育プログラムの理解と実践 (22) 教室・言語環境の設定 (24) 教授法 (35) 日本語教育とICT
日本語教授法Ⅱ	(2)	1年	(23) コースデザイン (25) 教材分析・作成・開発 (27) 授業計画 (31) 目的別・対象別教授法
日本語教育教材論	(2)	1年	(7) 世界と日本の日本語教育事情 (23) コースデザイン (25) 教材分析・作成・開発 (31) 目的別・対象別教授法 (35) 日本語教育とICT (36) 著作権
日本語教育実践演習 (※)	(2)	3年	(25) 教材分析・作成・開発 (27) 授業計画 (28) 教育実習 (46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力
日本語教育実習 (※)	(1)	3年	(28) 教育実習 (46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力
異文化間理解	(2)	1年	(3) 多文化共生 (18) 異文化受容・適応 (19) 日本語学習・教育の情動的側面 (32) 異文化間教育 (33) 異文化間コミュニケーション
必要な科目(単位)の合計 : 14科目 (27単位)			カッコ書き数字は、文化庁で示す3領域5区分 16下位区分による必須の教育内容(50項目)の番号

※「日本語教育実践演習」および「日本語教育実習」の履修には条件があります。

詳細は67ページを確認してください。

履修上の注意事項

1 4科目 2 7単位修得する必要があるため、計画的に履修してください。3年次からの2年間、あるいは4年次の1年間では、時間割の関係ですべての科目を履修できない場合がありますので、遅くとも2年次から計画的に履修することを推奨します。

(1) 「日本語教育実践演習」および「日本語教育実習」の履修について

この2科目を履修するには、日本語教育についての一定の知識が必要になるため、履修登録時までに①に示す7科目 1 4単位を修得している必要があります。

また、履修するにあたって、②に示されているとおりに履修してください。

①履修登録する時までに以下の7科目 1 4単位を修得していること。

科目名	科目名
日本語学概論Ⅰ	日本語教授法Ⅰ
日本語教育概論	日本語教授法Ⅱ
日本語教育文法Ⅰ	日本語教育教材論
日本語教育文法Ⅱ	

- ②「日本語教育実践演習」と「日本語教育実習」は同時に履修すること。または先に「日本語教育実践演習」を履修し、次年度に「日本語教育実習」を履修すること。「日本語教育実習」のみ先に履修することはできない。

5 修了証および単位修得証明書の申請

修了証の発行および単位修得証明書の交付を希望する学生は、修了に必要な単位を全て修得したうえで（修得予定可）、卒業年次に以下の手続きをおこなってください。申請方法等詳細については、ポータルサイト（Takudai Portal）でお知らせします。

(1) 修了証の申請

- ① 申請期間 1 2月上旬を予定
- ② 提出書類等 修了証申請書（所定用紙に必要事項を記入）、学業成績表（写）
- ③ 修了証の交付 卒業式当日

(2) 単位修得証明書の申請

- ① 申請期間 別途指定する期間（卒業確定者発表以降、指定期日まで）
- ② 費用 1 通 4 0 0 円（証明書自動発行機で申請書を購入してください）
- ③ 証明書の交付 卒業式当日

(3) 取得科目の授業内容等（シラバス）の提出を求められたとき

単位修得年度の「講義要項」を拓殖大学ホームページ上で検索し、印刷してください。

- 本講座は、文化庁が定める日本語教師養成課程の新カリキュラムにも対応済みで、3領域5区分16下位区分による必須の教育内容（50項目）が、各科目のシラバスに反映されています。

国際日本語学科 履修モデル

●この履修モデルは、卒業後の進路を考えて履修科目を選択する際の参考となるものです。

※ 時間割編成によってはこの表とおりの学年時に履修できない可能性もあります。時間割とも見比べながら履修計画を立ててください。

①日本語教師として、外国人に日本語を教えたい（「登録日本語教員」資格を目指す）

・国家資格「登録日本語教員」の資格を取得し、国内外で日本語教師として活躍するための知識と技能を身につけます。

※ ★印の14科目は「日本語教員試験」対応プログラムを修了するための必須科目です。「日本語教員試験」対応プログラムの詳細は、66・67ページを参照してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
必修科目	専門基礎	日本語学概論Ⅰ ★ ②			
		日本語学概論Ⅱ ★ ②			
		日本語教育概論 ★ ②			
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ ★ (2)			
		日本語教育文法Ⅱ ★ (2)			
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ ★ (2)	世界の日本語教育事情 (2)	日本語意味論 (2)	
		日本語教授法Ⅱ ★ (2)	教育日本語総合A ★ (2)	日本事情教育 (2)	
		日本語音声学 (2)	教育日本語総合B ★ (2)	日本語教育実践演習★ (2)	
日本語表記論 (2)		教育日本語総合C ★ (2)	日本語教育実習 ★ (1)		
日本語教育教材論 ★ (2)		日本語教育評価法 (2)			
日本語語彙論 (2)		日本語の談話 (2)			
	日本語・日本文化	異文化間理解 ★ (2)			
学科横断科目	学部基礎科目 言語	言語学 (2)	社会言語学 (2)	言語習得論 (2)	

②旅行会社やホテルなど、観光に関わる仕事に就きたい

・新旧の日本の様子を学ぶとともに、異文化者との交流やビジネス上の課題などについても考えを深めます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2)	日本語プレゼンテーションⅠ (2)	専門日本語(観光) (2)	
		日本語表現Ⅱ (2)	日本語プレゼンテーションⅡ (2)		
			国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合Ⅰ (2)		
選択科目Ⅱ	日本語・日本文化	クールジャパン論 (2)	日本の生活と芸能 (2)	翻訳・通訳概論(日中) (2)	
		異文化間理解 (2)			
		ポップカルチャー論 (2)			
		日本の民俗と思想 (2)			
学科横断科目	学部基礎科目 キャリア		観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)		
	学部教養科目 文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)		

③出版、マスコミなど、日本語文化に関わる仕事に就きたい

・日本語の表現力を高めるとともに、ことばの使い方、新旧の日本語文化についても深く学べます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本古典文法Ⅰ (2) 日本古典文法Ⅱ (2)			
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2) 日本語表現Ⅱ (2) 日本語文章表現Ⅰ (2) 日本語文章表現Ⅱ (2)	ビジネス日本語総合Ⅰ (2)	ビジネス日本語総合Ⅱ (2) 専門日本語(メディア) (2)	
選択科目Ⅱ		日本語表記論 (2) 日本語語彙論 (2)	日本語の談話 (2)	日本語意味論 (2)	
	日本語・日本文化	日本語・日本人論 (2) クールジャパン論 (2) 現代日本語事情 (2) ポップカルチャー論 (2)	日本文学概論 (2) 日本古典文学Ⅰ (2) 日本古典文学Ⅱ (2) 日本語文化 (2)	書道 (2)	
学科横断科目	学部基盤科目 言語		社会言語学 (2)		
	学部教養科目 文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)		

④一般企業就職を考えているが、外国人に日本語を教えることにも興味がある（「登録日本語教員」資格も目指す）

・一般企業への就職を考えているが、日本語を教えるボランティア活動などにも関心がある人向けです。

※ ★印の14科目は「日本語教員試験」対応プログラムを修了するための必須科目です。「日本語教員試験」対応プログラムの詳細は、66・67ページを参照してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
科必修	専門基礎	日本語学概論Ⅰ ★ ② 日本語学概論Ⅱ ★ ② 日本語教育概論 ★ ②			
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ ★ (2) 日本語教育文法Ⅱ ★ (2)			
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2) 日本語表現Ⅱ (2) 日本語文章表現Ⅰ (2) 日本語文章表現Ⅱ (2)	国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合Ⅰ (2)	ビジネス日本語総合Ⅱ (2)	
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ ★ (2) 日本語教授法Ⅱ ★ (2) 日本語教育教材論 ★ (2)	教育日本語総合A ★ (2) 教育日本語総合B ★ (2) 教育日本語総合C ★ (2)	日本語教育実践演習★ (2) 日本語教育実習 ★ (1)	
	日本語・日本文化	日本語・日本人論 (2) 異文化間理解 ★ (2)			
学科横断科目	学部基盤科目 言語	言語学 (2)			
	キャリア		グローバルビジネス論 (2)	職業能力基礎(SPI)言語 (2)	職業能力基礎(SPI)非言語 (2)

⑤ 教職免許（国語）を取得し、中学・高校の教員になりたい

・中学校・高校で国語を教える先生を目指します。あわせて日本語教育についても学ぶことで「日本語指導も可能な国語教師」にもなれます。
 ※ ★印の14科目は「日本語教員試験」対応プログラムを修了するための必須科目です。「日本語教員試験」対応プログラムの詳細は、66・67ページを参照してください。
 ※教職課程の科目選択については、「教職課程 履修要項」(101ページ以降)も必ず確認してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
必修科目	専門基礎	日本語学概論Ⅰ ★ ②			
		日本語学概論Ⅱ ★ ②			
		日本語教育概論 ★ ②			
選択科目Ⅰ	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ ★ (2)			
		日本語教育文法Ⅱ ★ (2)			
		日本語文法Ⅰ (2)			
		日本語文法Ⅱ (2)			
		日本古典文法Ⅰ (2)			
		日本古典文法Ⅱ (2)			
日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ (2)				
	日本語表現Ⅱ (2)				
	日本語文章表現Ⅰ (2)				
	日本語文章表現Ⅱ (2)				
選択科目Ⅱ	日本語教育	日本語教授法Ⅰ ★ (2)	教育日本語総合A ★ (2)	日本語教育実践演習★ (2)	日本語教育実習 ★ (1)
		日本語教授法Ⅱ ★ (2)	教育日本語総合B ★ (2)		
		日本語教育教材論 ★ (2)	教育日本語総合C ★ (2)		
			漢文学概論Ⅰ (2)		
		漢文学概論Ⅱ (2)			
		書道 (2)			
日本語・日本文化	異文化間理解 ★ (2)	日本文学概論 (2)			
	日本近代文学 (2)	日本語史 (2)			
教職課程	全学共通 教養科目 (基礎資格)	日本国憲法 (2)	トレーニング演習 (1)		
		スポーツ演習 (1)	情報リテラシー (2)		
基礎資格科目	第二外国語 必修第二外国語	初級(外国語)②Ⅰ (1)			
		初級(外国語)②Ⅱ (1)			
教職課程科目	教科教育法		●国語科教育法Ⅰ (2)	○国語科教育法Ⅲ (2)	
			●国語科教育法Ⅱ (2)	○国語科教育法Ⅳ (2)	
	教育の基礎理解	○教育原理 (2)	○教育社会学 (2)	○教育課程論 (2)	
		○教職論 (2)	○教育・発達心理学 (2)	○特別支援教育論 (2)	
	道徳、総合的学習指導、生徒指導、教育相談	○総合的な学習の指導論 (1)	●道徳教育指導論 (2)	○教育とICT活用 (2)	○進路指導論 (2)
		○特別活動論 (2)	○生徒指導論 (2)		
		○教育方法 (2)	○教育相談(カウンセリングを含む) (2)		
教育実践			○教育実習(事前・事後指導) (1)	○教育実習Ⅰ (2)	
				●教育実習Ⅱ (2)	
				○教育実践演習(中・高) (2)	
介護等体験			●介護等体験 (2)		

【留学生】① 旅行会社やホテルなど、観光に関わる仕事に就きたい

- ・日本についての理解を深めたうえで、観光にかかわる知識も学びます。
- ・必修科目「日本語(留学生)」は指定されたクラスで履修してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	日本語 II		国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合 I (2)	ビジネス日本語総合 II (2) 専門日本語(観光) (2)	
II 科 選 目 扱	日本語・日本文化	クールジャパン論 (2) 現代日本語事情 (2) 異文化間理解 (2) ポップカルチャー論 (2) 日本の民俗と思想 (2)	日本語文化 (2) 日本の生活と芸能 (2)	翻訳・通訳概論(日英) (2) 翻訳・通訳概論(日中) (2)	
学科横断科目	学部基盤科目 キャリア		観光ビジネス論 (2) ホスピタリティビジネス論 (2)	グローバルビジネス論 (2)	
	学部教養科目 文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)		

【留学生】② 日本語教師になって、母国の人たちに日本語を教えたい

- ・日本語だけでなく、新旧の日本文化をよく知る日本語教師として母国で活躍するための知識と技能を身につけます。
- ※ ★印の14科目は「日本語教員試験」対応プログラムを修了するための必須科目です。「日本語教員試験」対応プログラムの詳細は、66・67ページを参照してください。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
必修科目	専門基礎	日本語学概論 I ★ ②	日本語学概論 II ★ ② 日本語教育概論 ★ ②		
選択科目 I	日本語 I	日本語教育文法 I ★ (2) 日本語教育文法 II ★ (2)			
選 科 目 II	日本語教育	日本語教授法 I ★ (2) 日本語教授法 II ★ (2) 日本語音声学 (2) 日本語表記論 (2) 日本語教育教材論 ★ (2) 日本語語彙論 (2)	教育日本語総合 A ★ (2) 教育日本語総合 B ★ (2) 教育日本語総合 C ★ (2) 日本語教育評価法 (2) 日本語の談話 (2)	日本語意味論 (2) 日本事情教育 (2) 日本語教育実践演習 ★ (2) 日本語教育実習 ★ (1)	
	日本語・日本文化	クールジャパン論 (2) 異文化間理解 ★ (2) ポップカルチャー論 (2) 日本の民俗と思想 (2)	日本語文化 (2) 日本の生活と芸能 (2)		
学科横断科目	学部基盤科目 言語		言語習得論 (2)		

【留学生】③ 通訳・翻訳家など、日本語と母国語の双方に関わる仕事がしたい

- ・日本語について深く学び、ことばの使い方への意識を高めます。

科目区分	授業科目群	1年次 配当科目	2年次 配当科目	3年次 配当科目	4年次 配当科目
		科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)	科目名 (単位数)
選択科目 I	日本語 II	日本語表現 I (2) 日本語表現 II (2) 日本語文章表現 I (2) 日本語文章表現 II (2)	日本語プレゼンテーション I (2) 日本語プレゼンテーション II (2) 国際コミュニケーション論 (2) ビジネス日本語総合 I (2)	ビジネス日本語総合 II (2) 専門日本語(観光) (2) 専門日本語(メディア) (2)	
選択科目 II	日本語教育	日本語語彙論 (2)	日本語の談話 (2)		
	日本語・日本文化	現代日本語事情 (2) 異文化間理解 (2) 日本近代文学 (2)	日本文学概論 (2) 日本語文化 (2)	翻訳・通訳概論(日英) (2) 翻訳・通訳概論(日中) (2)	
学科横断科目	学部教養科目 文化		異文化間コミュニケーション入門 (2)	多言語映画論 (2)	

 *MEMO* 

「カリキュラム・マップ」「科目ナンバリング」
及び「カリキュラム・ツリー」

「カリキュラム・マップ」「科目ナンバリング」及び「カリキュラム・ツリー」

「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」（以下「DP」という。）における教育研究上の到達目標を達成するためには、卒業までに身につけるべき知識・能力と授業科目との間の対応関係を理解し、順次性のある体系的な履修計画を立てることが重要となります。

この履修計画を立てる際に役立ててもらうため「カリキュラム・マップ」「科目ナンバリング」及び「カリキュラム・ツリー（履修系統図）」を次のとおり作成しました。

これらは、到達目標がより明確となり学修への動機付けが高まるとともに、将来の進路を考慮して学修計画に役立てられることが期待できるものです。

1 カリキュラム・マップ

カリキュラム・マップは、DPの到達目標と授業との関係性を明確したもので、卒業までに身につけるべき知識・能力と授業科目との間の対応関係を表すものです。

1. 外国語学部 DP到達目標のキーワード

区分	到達目標のキーワード
DP 1	専門的知識の修得
DP 2	言語運用能力の修得
DP 3	汎用的知識・技能・能力の修得
DP 4	社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得
DP 5	課題発見・解決能力の修得

2. 外国語学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

ア. 専門的知識の修得（DP 1）

専攻言語や専攻言語圏の文化に関する専門的知識を体系的に身につけている。

イ. 言語運用能力の修得（DP 2）

時代の変化と社会の課題に答える専攻言語の実践的な運用能力を身につけている。

ウ. 汎用的知識・技能・能力の修得（DP 3）

社会生活に広く、深く浸透しつつある ICT やデータサイエンス等の新技術に対応していくための基本的な知識・技能を有し、社会人としてふさわしい対人対応に求められるコミュニケーション・スキルを身につけている。

エ. 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得（DP 4）

多様化し変化し続ける社会の一員として、異なる文化背景を持つ人々に共感し交流しようとする意欲とともに、時代の変化に柔軟に向き合うアクティブラーナーの力を身につけている。

オ. 課題発見・解決能力の修得（DP 5）

地域社会から国際社会まで、所属するコミュニティや組織の一員として、相互理解に努めるとともに、コミュニティや組織の直面する課題を見つけ解決に向けて率先して協働していく能力を身につけている。

※各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）詳細は、3 ページに掲載してあります。

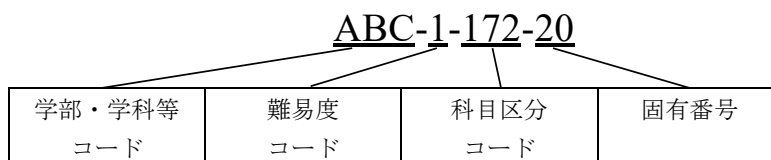
2 科目ナンバリングとカリキュラム・ツリー（履修系統図）

科目ナンバリングは、授業科目に番号を付し分類することで、教育課程の体系的や学修の段階・順序等を表すものです。これにより学問分野や難易度に応じて授業科目を選びやすくなります。

カリキュラム・ツリーは、以上のカリキュラム・マップの「授業科目とDP（到達目標）との対応関係」に基づき、授業科目間のつながりや履修の段階・順序を表すものです。

1. 科目ナンバリングの体系

(1) コードの構成



(2) 学部学科等コード

外国語学部	Faculty of Foreign Languages	FFL
英米語学科	Department of English Language	DEL
中国語学科	Department of Chinese Language	DCL
スペイン語学科	Department of Spanish Language	DSL
国際日本語学科	Department of Global Japanese Language	DJL
全学共通教養科目	University General Education	UGE
教職課程科目	University Teaching License Program	UTL
日本語教員養成講座	University Japanese Language Education Progra	UJE

(3) 難易度コード

難易度コード	目 安
1	基礎的な科目
2	応用的な科目
3	発展的な科目
4	卒業研究 等

(4) 科目区分コード

学部等別に科目区分ごとのコードを付しています。

〔全学共通教養科目〕

A系列（国際性を高める）	100
B系列（専門性の幅を広げる）	110
C系列（人間性を高める）	120
D系列（キャリア形成を行う）	130
E系列（データ活用能力を養う）	140

【英米語学科】

〔専門科目〕

必修科目		必修英語	201
		ゼミナール	202
		卒業研究	203
選択科目Ⅰ		選択英語A	211
選択科目Ⅱ		英語学	221
		英語教育	222
		ビジネス英語	223
		コミュニケーション	224
		通訳・翻訳	225
		地域研究・英米文学	226
		海外研修等	227
学科横断科目	学部基盤科目	言語	231
		情報	232
		キャリア	233
	学部教養科目	文化	241
		社会	242
	第二外国語 (必修第二外国語、 選択第二外国語)	中国語	252
		スペイン語	253
		フランス語	254
		ドイツ語	255
		韓国語	256
		日本語	257

〔自由科目〕

キャリア認定科目	301
----------	-----

【中国語学科】

〔専門科目〕

必修科目		必修中国語	201
		ゼミナール	202
		卒業研究	203
選択科目Ⅰ		中国学	211
選択科目Ⅱ		言語・文化研究	221
		社会・ビジネス研究	222
		海外研修等	223
学科横断科目	学部基盤科目	言語	231
		情報	232
		キャリア	233
	学部教養科目	文化	241
		社会	242
	第二外国語 (必修第二外国語、 選択第二外国語)	英語	251
		スペイン語	253
		フランス語	254
		ドイツ語	255

		韓国語	256
		日本語	257

〔自由科目〕

キャリア認定科目			301
----------	--	--	-----

【スペイン語学科】

〔専門科目〕

必修科目		必修スペイン語	201
		ゼミナール	202
		卒業研究	203
選択科目Ⅰ		選択スペイン語	211
選択科目Ⅱ		言語・文学	221
		地域・文化	222
		ビジネス	223
		海外研修等	224
学科横断科目	学部基盤科目	言語	231
		情報	232
		キャリア	233
	学部教養科目	文化	241
		社会	242
	第二外国語 (必修第二外国語、 選択第二外国語)	英語	251
		中国語	252
		フランス語	254
		ドイツ語	255
		韓国語	256
		日本語	257

〔自由科目〕

キャリア認定科目			301
----------	--	--	-----

【国際日本語学科】

〔専門科目〕

必修科目		専門基礎	201
		日本語（留学生）	202
		ゼミナール等	203
		卒業研究	204
選択科目Ⅰ		日本語Ⅰ	211
		日本語Ⅱ	212
選択科目Ⅱ		日本語教育	221
		日本語・日本文化	222
		海外研修等	223
学科横断科目	学部基盤科目	言語	231
		情報	232
		キャリア	233
	学部教養科目	文化	241

	第二外国語 (必修第二外国語、 選択第二外国語)	社会	242
		英語	251
		中国語	252
		スペイン語	253
		フランス語	254
		ドイツ語	255
		韓国語	256

〔自由科目〕

キャリア認定科目	301
----------	-----

〔教職課程科目〕（全学科共通）

教科及び教科の指導法に関する科目（教科に関する専門的事項）	101
教科及び教科の指導法に関する科目（各教科の指導法）	201
教育の基礎的理解に関する科目	301
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	311
教育実践に関する科目	321
大学が独自に設定する科目	401

〔日本語教員養成講座〕（英米語学科・中国語学科・スペイン語学科共通）

日本語教員養成講座	201
-----------	-----

(5) 固有番号

科目区分ごとの履修順序を極力考慮して、科目を識別する「固有番号」を付しています。

 *MEMO* 

カリキュラムマップ及び科目ナンバリング、カリキュラムツリー

1. 全学共通教養科目 カリキュラムマップ及び科目ナンバリング

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要授業科目	DP1 専門的知識の修得	DP2 言語運用能力の修得	DP3 汎用的知識・技能・能力の修得	DP4 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得	DP5 課題発見・解決能力の修得	
全学共通教養科目	A系列 国際性を高める	SDGs基礎	1・2・3・4	UGE-1-100-01	2			◎	○		
		日本史	1・2・3・4	UGE-1-100-02	2			◎			
		東洋史	1・2・3・4	UGE-1-100-03	2			◎			
		イスラム社会の歴史と文化	1・2・3・4	UGE-1-100-04	2			◎	○		
		西洋史	1・2・3・4	UGE-1-100-05	2			◎			
		西洋文化史	1・2・3・4	UGE-1-100-06	2			◎			
		宗教学	1・2・3・4	UGE-1-100-07	2			◎	○		
		人文地理学	1・2・3・4	UGE-1-100-08	2			◎			
		安全と危機管理	1・2・3・4	UGE-1-100-09	2			◎	○		
		現代の国際関係	1・2・3・4	UGE-1-100-10	2			◎	○		
		防災と安全	1・2・3・4	UGE-1-100-11	2			◎	○		
		文化人類学	1・2・3・4	UGE-1-100-12	2			◎			
		生態学	1・2・3・4	UGE-1-100-13	2			◎			
		環境科学	1・2・3・4	UGE-1-100-14	2			◎	○		
		講座「拓く力」(世界の中の日本)	1・2・3・4	UGE-1-100-15	2			◎			
	B系列 専門性の幅を広げる	日本国憲法	1・2・3・4	UGE-1-110-01	2				◎	○	
		政治学	1・2・3・4	UGE-1-110-02	2				◎	○	
		社会学	1・2・3・4	UGE-1-110-03	2				◎	○	
		経済学	1・2・3・4	UGE-1-110-04	2				◎	○	
		経営学	1・2・3・4	UGE-1-110-05	2				◎		
		流通論	1・2・3・4	UGE-1-110-06	2				◎	○	
		近代社会の思想史	1・2・3・4	UGE-1-110-07	2				◎	○	
		コミュニティ論	1・2・3・4	UGE-1-110-08	2				◎	○	
		福祉学	1・2・3・4	UGE-1-110-09	2				◎	○	
		ジェンダー論	1・2・3・4	UGE-1-110-10	2				◎	○	
		地球科学	1・2・3・4	UGE-1-110-11	2				◎	○	
		物理学	1・2・3・4	UGE-1-110-12	2				◎		
		化学	1・2・3・4	UGE-1-110-13	2				◎		
		生物学	1・2・3・4	UGE-1-110-14	2				◎		
		健康科学	1・2・3・4	UGE-1-110-15	2				◎		
天文学	1・2・3・4	UGE-1-110-16	2				◎				
自然認識の歴史	1・2・3・4	UGE-1-110-17	2				◎	○			
技術史・技術論	1・2・3・4	UGE-1-110-18	2				◎				

区分		授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要授業科目	DP1 専門的知識の修得	DP2 言語運用能力の修得	DP3 汎用的知識・技能・能力の修得	DP4 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得	DP5 課題発見・解決能力の修得
全学共通教養科目	C系列 人間性を高める	哲学	1・2・3・4	UGE-1-120-01	2				◎		○
		倫理学	1・2・3・4	UGE-1-120-02	2				◎		○
		論理学	1・2・3・4	UGE-1-120-03	2				◎		○
		心理学	1・2・3・4	UGE-1-120-04	2				◎	○	
		日本文学	1・2・3・4	UGE-1-120-05	2				◎		
		外国文学	1・2・3・4	UGE-1-120-06	2				◎		
		美術	1・2・3・4	UGE-1-120-07	2				◎		
		音楽	1・2・3・4	UGE-1-120-08	2				◎		
		映像文化論	1・2・3・4	UGE-1-120-09	2				◎		
		伝統芸能	1・2・3・4	UGE-1-120-10	2				◎		
		武道論	1・2・3・4	UGE-1-120-11	2				◎		
		考古学	1・2・3・4	UGE-1-120-12	2				◎		
		トレーニング理論	1・2・3・4	UGE-1-120-13	2				◎		
		スポーツの心理学	1・2・3・4	UGE-1-120-14	2				◎		
		スポーツの歴史と社会	1・2・3・4	UGE-1-120-15	2				◎		
		講座「スポーツと人間」	1・2・3・4	UGE-1-120-16	2				◎		
		スポーツ演習	1・2・3・4	UGE-1-120-17	1				◎		
		トレーニング演習	1・2・3・4	UGE-1-120-18	1				◎		
D系列 キャリア形成を行う	職業と人生	1・2・3・4	UGE-1-130-01	2				◎		○	
	文章表現の基礎	1・2・3・4	UGE-1-130-02	2				◎		○	
	レポートの書き方	1・2・3・4	UGE-1-130-03	2				◎		○	
	ビジネス文の書き方	1・2・3・4	UGE-1-130-04	2				◎		○	
	プレゼンテーションと交渉	1・2・3・4	UGE-1-130-05	2				◎		○	
	口頭表現の技法	1・2・3・4	UGE-1-130-06	2				◎		○	
	ボランティア論	1・2・3・4	UGE-1-130-07	2				◎	○		
	歴史の中の拓殖大学	1・2・3・4	UGE-1-130-08	2				◎			
E系列 データ活用能力を養う	AI・データサイエンス基礎	1・2・3・4	UGE-1-140-01	2				◎		○	
	ITパスポート	1・2・3・4	UGE-1-140-02	2				◎			
	情報リテラシー	1・2・3・4	UGE-1-140-03	2				◎	○		
	数学	1・2・3・4	UGE-1-140-04	2				◎			
	統計学	1・2・3・4	UGE-1-140-05	2				◎		○	
開講科目数 小計①(◎の科目のみカウント)							0	0	64	0	0

◎印:ディプロマ・ポリシーにおける到達目標に直結する科目

○印:ディプロマ・ポリシーにおける到達目標に関連する科目

☆:主要授業科目(学部が教育課程上主要と認める授業科目)

2-(1) 英米語学科(専門科目・自由科目)カリキュラムマップ及び科目ナンバリング

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・ 技能・能力の 修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解 決能力の修得	
必修科目	General English I	1	DEL-1-201-01	2	☆	◎	○			○	
	General English II	1	DEL-1-201-02	2	☆	◎	○			○	
	English Communication I	1	DEL-1-201-03	2	☆	◎	○			○	
	English Communication II	1	DEL-1-201-04	2	☆	◎	○			○	
	Grammar I	1	DEL-1-201-05	1	☆	◎	○			○	
	Grammar II	1	DEL-1-201-06	1	☆	◎	○			○	
	Academic English I	2	DEL-2-201-07	2	☆	◎	○			○	
	Academic English II	2	DEL-2-201-08	2	☆	◎	○			○	
	English Communication III	2	DEL-2-201-09	2	☆	◎	○			○	
	English Communication IV	2	DEL-2-201-10	2	☆	◎	○			○	
	CLIL I	3	DEL-3-201-11	2	☆	◎	○			○	
	CLIL II	3	DEL-3-201-12	2	☆	◎	○			○	
ゼミナール	初年次教育ゼミナール	1	DEL-1-202-01	2	☆	○		◎		○	
	3年ゼミナール	3	DEL-3-202-02	4	☆	○		○		◎	
	4年ゼミナール	4	DEL-4-202-03	4	☆	○		○		◎	
卒業研究	卒業研究	4	DEL-4-203-01	2		○		○		◎	
専門科目	選択英語	Project Workshop A	1	DEL-1-211-01	2		○			◎	
		Project Workshop B	1	DEL-1-211-02	2		○			◎	
		Project Workshop C	2	DEL-2-211-03	2		○	○		◎	
		Project Workshop D	2	DEL-2-211-04	2		○	○		◎	
		Project Workshop E	3・4	DEL-3-211-05	2		○	○		◎	
		Project Workshop F	3・4	DEL-3-211-06	2		○	○		◎	
		Vocabulary Building	1	DEL-1-211-07	1		○	◎			
		Practical Grammar	1	DEL-1-211-08	1		○	◎			
		Basic Listening Skills	1	DEL-1-211-09	1		○	◎			
		Basic Speaking Skills	1	DEL-1-211-10	1		○	◎			
		Basic Reading Skills	1	DEL-1-211-11	1		○	◎			
		Basic Writing Skills	1	DEL-1-211-12	1		○	◎			
		Discussion A	2	DEL-2-211-13	2			○			◎
		Discussion B	2	DEL-2-211-14	2			○			◎
		Debate A	2	DEL-2-211-15	2			○			◎
		Debate B	2	DEL-2-211-16	2			○			◎
		English through Media A	2	DEL-2-211-17	2		○	◎			
		English through Media B	2	DEL-2-211-18	2		○	◎			
		Presentation A	3・4	DEL-3-211-19	2			○			◎
		Presentation B	3・4	DEL-3-211-20	2			○			◎
		TOEIC® Test Skills	1・2・3・4	DEL-1-211-21	2			◎			
		TOEFL® Test Skills	1・2・3・4	DEL-1-211-22	2			◎			

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・ 技能・能力の 修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解 決能力の修得
専 門 科 目	英語学	英語音声学Ⅰ	1	DEL-1-221-01	2	◎	○			○
		英語音声学Ⅱ	1	DEL-1-221-02	2	◎	○			○
		英語学入門	2	DEL-2-221-03	2	◎	○			○
		英語学研究A	3・4	DEL-3-221-04	2	◎	○			○
		英語学研究B	3・4	DEL-3-221-05	2	◎	○			○
	英語教育	児童英語基礎演習	1	DEL-1-222-01	2	◎	○			○
		小学校英語教育入門	2	DEL-2-222-02	2	◎	○			○
		英語教育入門	2	DEL-2-222-03	2	◎	○			○
		英語教育研究A	3	DEL-3-222-04	2	◎	○			○
		英語教育研究B	3	DEL-3-222-05	2	◎	○			○
		小学校英語教育実習Ⅰ	3	DEL-3-222-06	2	◎	○			○
		小学校英語教育実習Ⅱ	4	DEL-4-222-07	2	◎	○			○
	ビジネス英語	ビジネス英語入門Ⅰ	2	DEL-2-223-01	2	◎	○			○
		ビジネス英語入門Ⅱ	2	DEL-2-223-02	2	◎	○			○
		ビジネス英語研究A	3・4	DEL-3-223-03	2	◎	○			○
		ビジネス英語研究B	3・4	DEL-3-223-04	2	◎	○			○
		ビジネス英語研究C	3・4	DEL-3-223-05	2	◎	○			○
		ビジネス英語研究D	3・4	DEL-3-223-06	2	◎	○			○
		テクニカルコミュニケーション	3・4	DEL-3-223-07	2	◎	○			○
	コミュニケーション	異文化間コミュニケーション入門	2	DEL-2-224-01	2	◎	○			○
		コミュニケーション研究A	3・4	DEL-3-224-02	2	◎	○			○
		コミュニケーション研究B	3・4	DEL-3-224-03	2	◎	○			○
		コミュニケーション研究C	3・4	DEL-3-224-04	2	◎	○			○
		コミュニケーション研究D	3・4	DEL-3-224-05	2	◎	○			○
	通訳・翻訳	観光英語	2	DEL-2-225-01	2	◎			○	○
		デジタル翻訳	3・4	DEL-3-225-02	2	◎		○		○
		通訳英語A	3・4	DEL-3-225-03	2	◎	○			○
		通訳英語B	3・4	DEL-3-225-04	2	◎	○			○
		翻訳英語A	3・4	DEL-3-225-05	2	◎	○			○
		翻訳英語B	3・4	DEL-3-225-06	2	◎	○			○
	地域研究・英米 文学	イギリス研究入門	2	DEL-2-226-01	2	◎				
		アメリカ研究入門	2	DEL-2-226-02	2	◎				
		英語文学入門	2	DEL-2-226-03	2	◎				
		英語圏研究A(CLIL)	3・4	DEL-3-226-04	2	◎	○			○
		英語圏研究B(CLIL)	3・4	DEL-3-226-05	2	◎	○			○
		英語圏研究C(CLIL)	3・4	DEL-3-226-06	2	◎	○			○
		英語圏研究D(CLIL)	3・4	DEL-3-226-07	2	◎	○			○
		英米文学研究A	3・4	DEL-3-226-08	2	◎				
		英米文学研究B	3・4	DEL-3-226-09	2	◎				
	海外研修等	海外研修Ⅰ	1・2・3・4	DEL-1-227-01	2				◎	
		海外研修Ⅱ	1・2・3・4	DEL-1-227-02	2				◎	
		海外研修Ⅲ	1・2・3・4	DEL-1-227-03	2				◎	
		海外研修Ⅳ	1・2・3・4	DEL-1-227-04	2				◎	

区分		授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要授業科目	DP1 専門的知識の修得	DP2 言語運用能力の修得	DP3 汎用的知識・技能・能力の修得	DP4 社会の一員として生きる意欲・姿勢の修得	DP5 課題発見・解決能力の修得	
専門科目	学部 基盤科目	言語	言語学	1	DEL-1-231-01	2		◎			○	
			社会言語学	2・3・4	DEL-2-231-02	2		◎			○	
			言語習得論	2・3・4	DEL-2-231-03	2		◎			○	
			言語研究	2・3・4	DEL-2-231-04	2		◎			○	
		情報	文系プログラミング入門	1	DEL-1-232-01	2				◎		
			文系プログラミング	2・3・4	DEL-2-232-02	2				◎		
			IT概論	2・3・4	DEL-2-232-03	2				◎		
			デジタルプレゼンテーション	2・3・4	DEL-2-232-04	2				◎		
		キャリア	キャリアガイダンス	1	DEL-1-233-01	2					◎	
			観光ビジネス論	2・3・4	DEL-2-233-02	2					◎	
			ホスピタリティビジネス論	2・3・4	DEL-2-233-03	2					◎	
			エアラインビジネス論	2・3・4	DEL-2-233-04	2					◎	
	海外インターンシップ論		2・3・4	DEL-2-233-05	2					◎		
	グローバルビジネス論		2・3・4	DEL-2-233-06	2					◎		
	職業能力基礎(SPI)言語		2・3・4	DEL-2-233-07	2				◎			
	学部 教養科目	文化	中国文化入門	2・3・4	DEL-2-241-01	2				◎		
			日中異文化交流	2・3・4	DEL-2-241-02	2				◎		
			スペイン史	2・3・4	DEL-2-241-03	2				◎		
			イスパノアメリカ史	2・3・4	DEL-2-241-04	2				◎		
			日本文学概論	2・3・4	DEL-2-241-05	2				◎		
			日本語史	2・3・4	DEL-2-241-06	2				◎		
			日本語文化	2・3・4	DEL-2-241-07	2				◎		
			多言語映画論	2・3・4	DEL-2-241-08	2				◎		
		社会	中国事情	2・3・4	DEL-2-242-01	2				◎		
			現代スペイン社会論	2・3・4	DEL-2-242-02	2				◎		
			スペイン・EU経済入門	2・3・4	DEL-2-242-03	2				◎		
			現代イスパノアメリカ社会論	2・3・4	DEL-2-242-04	2				◎		
			イスパノアメリカ経済入門	2・3・4	DEL-2-242-05	2				◎		
世界の日本語教育事情			2・3・4	DEL-2-242-06	2				◎			
都市社会学			2・3・4	DEL-2-242-07	2				◎			
第二 外国語			必修第二 外国語	初級中国語① I	1・2・3・4	DEL-1-252-01	1			◎		
	初級中国語① II	1・2・3・4		DEL-1-252-02	1			◎				
	初級中国語② I	1・2・3・4		DEL-1-252-03	1				◎			
	初級中国語② II	1・2・3・4		DEL-1-252-04	1				◎			
	初級スペイン語① I	1・2・3・4		DEL-1-253-01	1				◎			
	初級スペイン① II	1・2・3・4		DEL-1-253-02	1				◎			
	初級スペイン語② I	1・2・3・4		DEL-1-253-03	1				◎			
	初級スペイン語② II	1・2・3・4		DEL-1-253-04	1				◎			
	初級フランス語① I	1・2・3・4		DEL-1-254-01	1				◎			
	初級フランス語① II	1・2・3・4		DEL-1-254-02	1				◎			
	初級フランス語② I	1・2・3・4		DEL-1-254-03	1				◎			
	初級フランス語② II	1・2・3・4		DEL-1-254-04	1				◎			
	初級ドイツ語① I	1・2・3・4		DEL-1-255-01	1				◎			
	初級ドイツ語① II	1・2・3・4		DEL-1-255-02	1				◎			
	初級ドイツ語② I	1・2・3・4		DEL-1-255-03	1				◎			
	初級ドイツ語② II	1・2・3・4		DEL-1-255-04	1				◎			
	初級韓国語① I	1・2・3・4		DEL-1-256-01	1				◎			
	初級韓国語① II	1・2・3・4		DEL-1-256-02	1				◎			
	初級韓国語② I	1・2・3・4		DEL-1-256-03	1				◎			
	初級韓国語② II	1・2・3・4		DEL-1-256-04	1				◎			
初級日本語① I	1・2・3・4	DEL-1-257-01	1				◎					
初級日本語① II	1・2・3・4	DEL-1-257-02	1				◎					
初級日本語② I	1・2・3・4	DEL-1-257-03	1				◎					
初級日本語② II	1・2・3・4	DEL-1-257-04	1				◎					

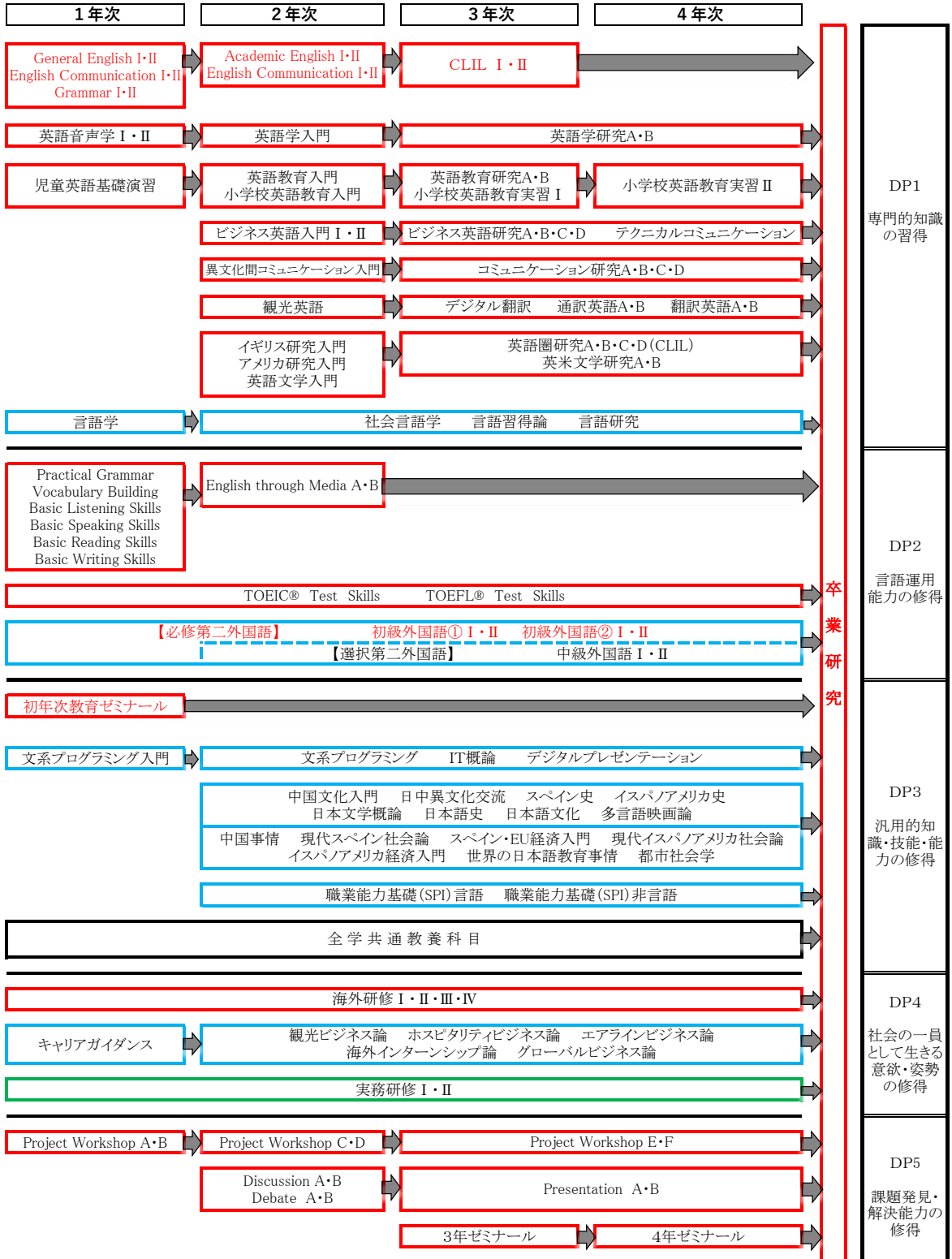
区分			授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・ 技能・能力の 修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解 決能力の修得
専門科目	学科 横断 科目	第二 外国語	選択第二 外国語	中級中国語 I	2・3・4	DEL-2-252-01	1		◎			
				中級中国語 II	2・3・4	DEL-2-252-02	1		◎			
				中級スペイン語 I	2・3・4	DEL-2-253-01	1		◎			
				中級スペイン語 II	2・3・4	DEL-2-253-02	1		◎			
				中級フランス語 I	2・3・4	DEL-2-254-01	1		◎			
				中級フランス語 II	2・3・4	DEL-2-254-02	1		◎			
				中級ドイツ語 I	2・3・4	DEL-2-255-01	1		◎			
				中級ドイツ語 II	2・3・4	DEL-2-255-02	1		◎			
				中級韓国語 I	2・3・4	DEL-2-256-01	1		◎			
				中級韓国語 II	2・3・4	DEL-2-256-02	1		◎			
				中級日本語 I	2・3・4	DEL-2-257-01	1		◎			
中級日本語 II	2・3・4	DEL-2-257-02	1		◎							
自由科目	キャリア 認定科目	実務研修 I	1・2・3・4	DEL-1-301-01	2					◎	○	
		実務研修 II	1・2・3・4	DEL-1-301-02	2					◎	○	
開講科目数 小計②(◎の科目のみカウント)								55	46	22	12	15

◎: 科目の到達目標が該当のDPに直結する科目

○: 科目の到達目標が該当のDPに関連する科目

☆: 主要授業科目(学部が教育課程上主要と認める授業科目)

2-(2) 英米語学科 カリキュラムツリー



※凡例

全学共通教養科目 専門科目 学科横断科目 自由科目

朱書き: 必修

3- (1) 中国語学科 (専門科目・自由科目)カリキュラムマップ及び科目ナンバリング

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・姿 勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
必修科目	総合中国語① I	1	DCL-1-201-01	4	☆	○	◎			
	総合中国語① II	1	DCL-1-201-02	4	☆	○	◎			
	総合中国語② I	1	DCL-1-201-03	1	☆	○	◎			
	総合中国語② II	1	DCL-1-201-04	1	☆	○	◎			
	総合中国語③ I	1	DCL-1-201-05	2	☆	○	◎			
	総合中国語③ II	1	DCL-1-201-06	2	☆	○	◎			
	読解 I	2	DCL-2-201-07	1	☆	○	◎			
	読解 II	2	DCL-2-201-08	1	☆	○	◎			
	文法作文 I	2	DCL-2-201-09	1	☆	○	◎			
	文法作文 II	2	DCL-2-201-10	1	☆	○	◎			
	聴解 I	2	DCL-2-201-11	1	☆	○	◎			
	聴解 II	2	DCL-2-201-12	1	☆	○	◎			
	会話 I	2	DCL-2-201-13	2	☆	○	◎			
	会話 II	2	DCL-2-201-14	2	☆	○	◎			
	講読演習 I	3	DCL-3-201-15	1	☆	○	◎			
	講読演習 II	3	DCL-3-201-16	1	☆	○	◎			
	作文演習 I	3	DCL-3-201-17	1	☆	○	◎			
	作文演習 II	3	DCL-3-201-18	1	☆	○	◎			
	表現演習① I	3	DCL-3-201-19	1	☆	○	◎			
	表現演習① II	3	DCL-3-201-20	1	☆	○	◎			
	表現演習② I	4	DCL-4-201-21	1	☆	○	◎			
	表現演習② II	4	DCL-4-201-22	1	☆	○	◎			
	表現演習③ I	4	DCL-4-201-23	1	☆	○	◎			
	表現演習③ II	4	DCL-4-201-24	1	☆	○	◎			
ゼミナール	初年次教育ゼミナール	1	DCL-1-202-01	2	☆	○		◎		○
	3年ゼミナール	3	DCL-3-202-02	4	☆	○			○	◎
	4年ゼミナール	4	DCL-4-202-03	4	☆	○			○	◎
卒業研究	卒業研究	4	DCL-4-203-01	2	☆	○			○	◎
専門科目 選択科目 I	中国史概論	1	DCL-1-211-01	2		◎				○
	中国学入門	1	DCL-1-211-02	2		◎				○
	中国語学概論	2	DCL-2-211-03	2		◎				○
	中国語学研究	2	DCL-2-211-04	2		◎				○
	中国文化概論	2	DCL-2-211-05	2		◎				○
	中国文学概論	2	DCL-2-211-06	2		◎				○
	中国社会概論	2	DCL-2-211-07	2		◎				○
	中国経済概論	2	DCL-2-211-08	2		◎				○
	中国経済研究	2	DCL-2-211-09	2		◎				○
	台湾語 I	2	DCL-2-211-10	2		◎	○			
	台湾語 II	2	DCL-2-211-11	2		◎	○			
	広東語 I	2	DCL-2-211-12	2		◎	○			
	広東語 II	2	DCL-2-211-13	2		◎	○			
	時事中国語 I	2	DCL-2-211-14	2		◎	○			
	時事中国語 II	2	DCL-2-211-15	2		◎	○			
	日中対照言語研究 I	2	DCL-2-211-16	2		◎	○			
	日中対照言語研究 II	2	DCL-2-211-17	2		◎	○			
	中国文化研究	3・4	DCL-3-211-18	2		◎				○
	中国文学研究	3・4	DCL-3-211-19	2		◎				○
	中国社会研究	3・4	DCL-3-211-20	2		◎				○
資格中国語演習A	1・2・3・4	DCL-1-211-21	2			◎	○			
資格中国語演習B	1・2・3・4	DCL-1-211-22	2			◎	○			

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要授業科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・姿 勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得	
選択科目Ⅱ	言語・文化研究	中国文化入門	2	DCL-2-221-01	2	◎				○	
		日中異文化交流	2	DCL-2-221-02	2	◎			○	○	
		翻訳法Ⅰ	3・4	DCL-3-221-03	2	◎	○	○			
		翻訳法Ⅱ	3・4	DCL-3-221-04	2	◎	○	○			
		通訳法Ⅰ	3・4	DCL-3-221-05	2	◎	○	○			
		通訳法Ⅱ	3・4	DCL-3-221-06	2	◎	○	○			
		スピーチ演習Ⅰ	3・4	DCL-3-221-07	2	◎	○	○			
		スピーチ演習Ⅱ	3・4	DCL-3-221-08	2	◎	○	○			
	社会・ビジネス 研究	中国ビジネス概論	2	DCL-2-222-01	2	◎					○
		中国事情	2	DCL-2-222-02	2	◎					○
		ビジネス会話Ⅰ	3・4	DCL-3-222-03	2	◎	○	○			
		ビジネス会話Ⅱ	3・4	DCL-3-222-04	2	◎	○	○			
		商業文書Ⅰ	3・4	DCL-3-222-05	2	◎	○	○			
		商業文書Ⅱ	3・4	DCL-3-222-06	2	◎	○	○			
		観光中国語Ⅰ	3・4	DCL-3-222-07	2	◎	○	○			
		観光中国語Ⅱ	3・4	DCL-3-222-08	2	◎	○	○			
海外研修等	海外研修Ⅰ	1・2・3・4	DCL-1-223-01	2				◎			
	海外研修Ⅱ	1・2・3・4	DCL-1-223-02	2				◎			
	海外研修Ⅲ	1・2・3・4	DCL-1-223-03	2				◎			
	海外研修Ⅳ	1・2・3・4	DCL-1-223-04	2				◎			
専門科目 学部基盤科目 学科横断科目	言語	言語学	1	DCL-1-231-01	2	◎				○	
		社会言語学	2・3・4	DCL-2-231-02	2	◎				○	
		言語習得論	2・3・4	DCL-2-231-03	2	◎				○	
		言語研究	2・3・4	DCL-2-231-04	2	◎				○	
	情報	文系プログラミング入門	1	DCL-1-232-01	2			◎			
		文系プログラミング	2・3・4	DCL-2-232-02	2			◎			
		IT概論	2・3・4	DCL-2-232-03	2			◎			
		デジタルプレゼンテーション	2・3・4	DCL-2-232-04	2			◎			
	キャリア	キャリアガイダンス	1	DCL-1-233-01	2				◎		
		観光ビジネス論	2・3・4	DCL-2-233-02	2				◎		
		ホスピタリティビジネス論	2・3・4	DCL-2-233-03	2				◎		
		エアラインビジネス論	2・3・4	DCL-2-233-04	2				◎		
		海外インターンシップ論	2・3・4	DCL-2-233-05	2				◎		
		グローバルビジネス論	2・3・4	DCL-2-233-06	2				◎		
		職業能力基礎(SPI)言語	2・3・4	DCL-2-233-07	2				◎		
		職業能力基礎(SPI)非言語	2・3・4	DCL-2-233-08	2				◎		
	文化	英語音声学Ⅰ	2・3・4	DCL-2-241-01	2			◎			
		英語音声学Ⅱ	2・3・4	DCL-2-241-02	2			◎			
		異文化間コミュニケーション入門	2・3・4	DCL-2-241-03	2			◎			
		英語文学入門	2・3・4	DCL-2-241-04	2			◎			
		スペイン史	2・3・4	DCL-2-241-05	2			◎			
		イスパノアメリカ史	2・3・4	DCL-2-241-06	2			◎			
		日本文学概論	2・3・4	DCL-2-241-07	2			◎			
		日本語史	2・3・4	DCL-2-241-08	2			◎			
		日本語文化	2・3・4	DCL-2-241-09	2			◎			
		多言語映画論	2・3・4	DCL-2-241-10	2			◎			
	社会	イギリス研究入門	2・3・4	DCL-2-242-01	2			◎			
		アメリカ研究入門	2・3・4	DCL-2-242-02	2			◎			
現代スペイン社会論		2・3・4	DCL-2-242-03	2			◎				
スペイン・EU経済入門		2・3・4	DCL-2-242-04	2			◎				
現代イスパノアメリカ社会論		2・3・4	DCL-2-242-05	2			◎				
イスパノアメリカ経済入門		2・3・4	DCL-2-242-06	2			◎				
世界の日本語教育事情		2・3・4	DCL-2-242-07	2			◎				
都市社会学		2・3・4	DCL-2-242-08	2			◎				

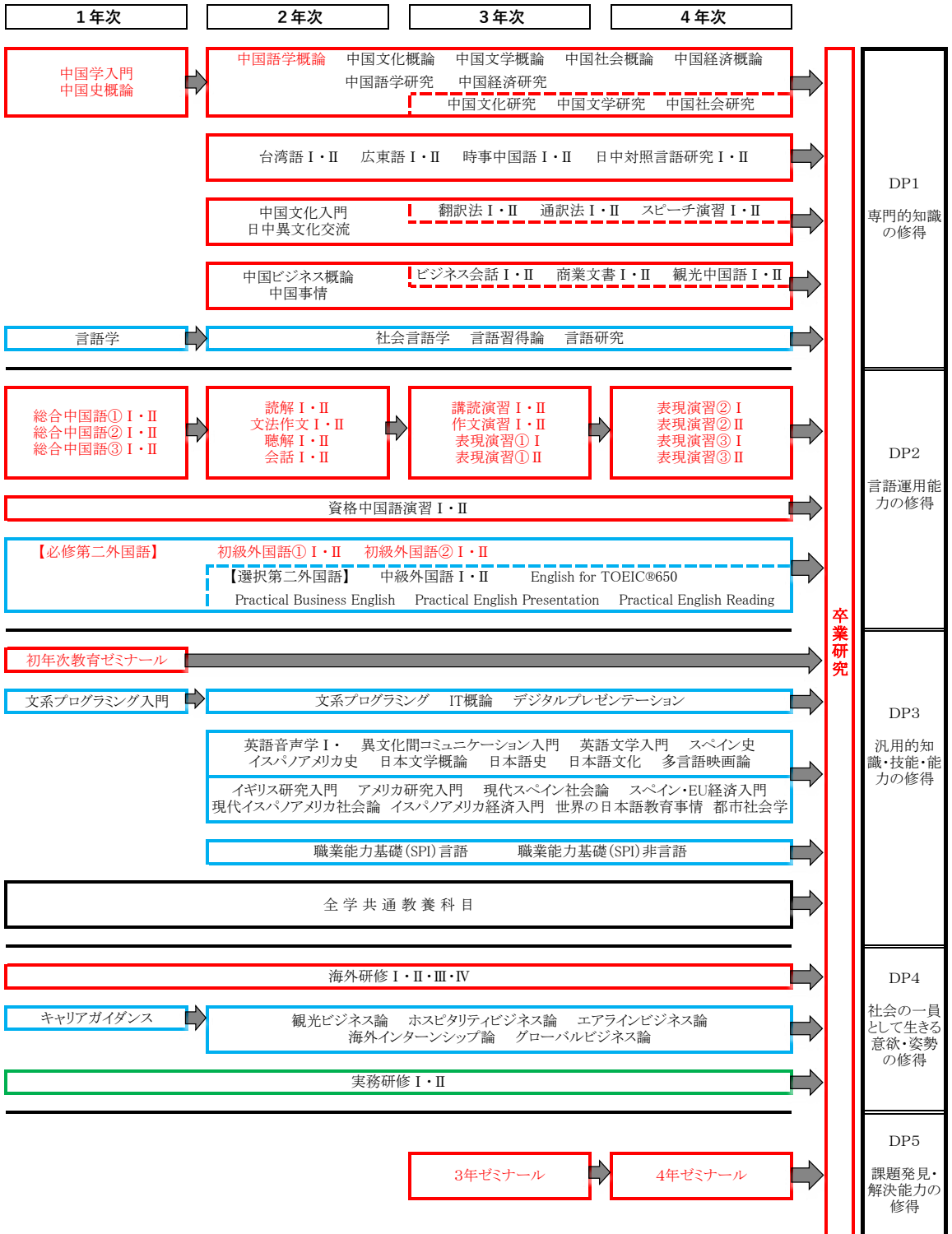
区分		授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要授業科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・姿 勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
専門科目	学科横断科目	第二外国語	初級英語① I	1・2・3・4	DCL-1-251-01	1		◎			
			初級英語① II	1・2・3・4	DCL-1-251-02	1		◎			
			初級英語② I	1・2・3・4	DCL-1-251-03	1		◎			
			初級英語② II	1・2・3・4	DCL-1-251-04	1		◎			
			初級スペイン語① I	1・2・3・4	DCL-1-253-01	1		◎			
			初級スペイン語① II	1・2・3・4	DCL-1-253-02	1		◎			
			初級スペイン語② I	1・2・3・4	DCL-1-253-03	1		◎			
			初級スペイン語② II	1・2・3・4	DCL-1-253-04	1		◎			
			初級フランス語① I	1・2・3・4	DCL-1-254-01	1		◎			
			初級フランス語① II	1・2・3・4	DCL-1-254-02	1		◎			
			初級フランス語② I	1・2・3・4	DCL-1-254-03	1		◎			
			初級フランス語② II	1・2・3・4	DCL-1-254-04	1		◎			
			初級ドイツ語① I	1・2・3・4	DCL-1-255-01	1		◎			
			初級ドイツ語① II	1・2・3・4	DCL-1-255-02	1		◎			
			初級ドイツ語② I	1・2・3・4	DCL-1-255-03	1		◎			
			初級ドイツ語② II	1・2・3・4	DCL-1-255-04	1		◎			
			初級韓国語① I	1・2・3・4	DCL-1-256-01	1		◎			
			初級韓国語① II	1・2・3・4	DCL-1-256-02	1		◎			
			初級韓国語② I	1・2・3・4	DCL-1-256-03	1		◎			
			初級韓国語② II	1・2・3・4	DCL-1-256-04	1		◎			
			初級日本語① I	1・2・3・4	DCL-1-257-01	1		◎			
	初級日本語① II	1・2・3・4	DCL-1-257-02	1		◎					
	初級日本語② I	1・2・3・4	DCL-1-257-03	1		◎					
	初級日本語② II	1・2・3・4	DCL-1-257-04	1		◎					
	選択第二外国語	中級スペイン語 I	2・3・4	DCL-2-253-01	1		◎				
		中級スペイン語 II	2・3・4	DCL-2-253-02	1		◎				
		中級フランス語 I	2・3・4	DCL-2-254-01	1		◎				
		中級フランス語 II	2・3・4	DCL-2-254-02	1		◎				
		中級ドイツ語 I	2・3・4	DCL-2-255-01	1		◎				
		中級ドイツ語 II	2・3・4	DCL-2-255-02	1		◎				
		中級韓国語 I	2・3・4	DCL-2-256-01	1		◎				
		中級韓国語 II	2・3・4	DCL-2-256-02	1		◎				
		中級日本語 I	2・3・4	DCL-2-257-01	1		◎				
中級日本語 II		2・3・4	DCL-2-257-02	1		◎					
English for TOEIC®650		2・3・4	DCL-2-251-01	1		◎			○		
Practical Business English		2・3・4	DCL-2-251-02	1		◎			○		
Practical English Presentation	2・3・4	DCL-2-251-03	1		◎			○			
Practical English Reading	2・3・4	DCL-2-251-04	1		◎			○			
自由科目	キャリア認定科目	実務研修 I	1・2・3・4	DCL-1-301-01	2				◎	○	
		実務研修 II	1・2・3・4	DCL-1-301-02	2				◎	○	
開講科目数 小計②(◎の科目のみカウント)							40	64	23	14	3

◎: 科目の到達目標が該当のDPIに直結する科目

○: 科目の到達目標が該当のDPIに関連する科目

☆: 主要授業科目(学部が教育課程上主要と認める授業科目)

3-(2) 中国語学科 カリキュラムツリー



※凡例

全学共通教養科目	専門科目	学科横断科目	自由科目
----------	------	--------	------

朱書き:必修

4- (1) スペイン語学科(専門科目・自由科目)カリキュラムマップ及び科目ナンバリング

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
専 門 科 目	必 修 ス ペ イ ン 語	基礎スペイン語 I	1	DSL-1-201-01	2	☆	◎	○		○
		基礎スペイン語 II	1	DSL-1-201-02	2	☆	◎	○		○
		基礎会話 I	1	DSL-1-201-03	2	☆	○	◎		○
		基礎会話 II	1	DSL-1-201-04	2	☆	○	◎		○
		基礎語彙 I	1	DSL-1-201-05	2	☆	◎	○		○
		基礎語彙 II	1	DSL-1-201-06	2	☆	◎	○		○
		応用スペイン語 I	2	DSL-2-201-07	1	☆	○	◎		○
		応用スペイン語 II	2	DSL-2-201-08	1	☆	○	◎		○
		作文① I	2	DSL-2-201-09	1	☆	○	◎		○
		作文① II	2	DSL-2-201-10	1	☆	○	◎		○
		講読① I	2	DSL-2-201-11	1	☆	○	◎		○
		講読① II	2	DSL-2-201-12	1	☆	○	◎		○
		応用会話 I	2	DSL-2-201-13	2	☆	○	◎		○
		応用会話 II	2	DSL-2-201-14	2	☆	○	◎		○
		作文② I	3	DSL-3-201-15	1	☆	○	◎		
		作文② II	3	DSL-3-201-16	1	☆	○	◎		
		講読② I	3	DSL-3-201-17	1	☆	○	◎		
		講読② II	3	DSL-3-201-18	1	☆	○	◎		
	表現演習① I	3	DSL-3-201-19	2	☆	○	◎			
	表現演習① II	3	DSL-3-201-20	2	☆	○	◎			
	表現演習② I	4	DSL-4-201-21	1	☆	○	◎			
	表現演習② II	4	DSL-4-201-22	1	☆	○	◎			
ゼミナール	初年次教育ゼミナール	1	DSL-1-202-01	2	☆			◎		○
	3年ゼミナール	3	DSL-3-202-02	4	☆	○		○		◎
	4年ゼミナール	4	DSL-4-202-03	4	☆	○		○		◎
卒業研究	卒業研究	4	DSL-4-203-01	2		○	○			◎
専 門 科 目	選 択 ス ペ イ ン 語	スペイン語相互学習 I	1	DSL-1-211-01	1			◎	○	
		スペイン語相互学習 II	1	DSL-1-211-02	1			◎	○	○
		スペイン語相互学習 III	2・3・4	DSL-2-211-03	1			○	◎	○
		スペイン語相互学習 IV	2・3・4	DSL-2-211-04	1			○	◎	○
		総合演習 I	2・3・4	DSL-2-211-05	2			◎		
		総合演習 II	2・3・4	DSL-2-211-06	2			◎		
		プレゼンテーション基礎 I	2・3・4	DSL-2-211-07	1			◎	○	
		プレゼンテーション基礎 II	2・3・4	DSL-2-211-08	1			◎	○	
		スペイン語相互学習 V	3・4	DSL-3-211-09	1			○	◎	○
		スペイン語相互学習 VI	3・4	DSL-3-211-10	1			○	◎	○
		プレゼンテーション演習 I	3・4	DSL-3-211-11	2			◎	○	
		プレゼンテーション演習 II	3・4	DSL-3-211-12	2			◎	○	
		時事スペイン語 I	3・4	DSL-3-211-13	2		○	◎		
		時事スペイン語 II	3・4	DSL-3-211-14	2		○	◎		
		機械翻訳スペイン語	3・4	DSL-3-211-15	2		○	◎	○	
専 門 科 目	選 択 科 目 II 言 語 ・ 文 学	スペイン語学概論 I	2・3・4	DSL-2-221-01	2		◎	○		○
		スペイン語学概論 II	2・3・4	DSL-2-221-02	2		◎	○		○
		スペイン語音声学・音韻論 I	2・3・4	DSL-2-221-03	2		◎	○		
		スペイン語音声学・音韻論 II	2・3・4	DSL-2-221-04	2		◎	○		
		スペイン語圏文学 I	2・3・4	DSL-2-221-05	2		◎	○		
		スペイン語圏文学 II	2・3・4	DSL-2-221-06	2		◎	○		
		スペイン語史	3・4	DSL-3-221-07	2		◎	○		
		スペイン語学特講 I	3・4	DSL-3-221-08	2		◎	○		
		スペイン語学特講 II	3・4	DSL-3-221-09	2		◎	○		
		スペイン語通訳法 I	3・4	DSL-3-221-10	2		◎	◎	○	
スペイン語通訳法 II	3・4	DSL-3-221-11	2		◎	◎	○			

区 分		授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
選択科目Ⅱ	地域・文化	日本紹介スペイン語A	1・2・3・4	DSL-1-222-01	2			◎		○	
		日本紹介スペイン語B	2・3・4	DSL-2-222-02	2			◎		○	
		現代スペイン社会論	2・3・4	DSL-2-222-03	2		◎			○	○
		スペイン・EU経済入門	2・3・4	DSL-2-222-04	2		◎			○	○
		現代イスパノアメリカ社会論	2・3・4	DSL-2-222-05	2		◎			○	○
		イスパノアメリカ経済入門	2・3・4	DSL-2-222-06	2		◎			○	○
		スペイン史	2・3・4	DSL-2-222-07	2		◎	○			
		イスパノアメリカ史	2・3・4	DSL-2-222-08	2		◎	○			
		スペイン特殊研究A	3・4	DSL-3-222-09	2		◎			○	○
		スペイン特殊研究B	3・4	DSL-3-222-10	2		◎			○	○
	イスパノアメリカ特殊研究Ⅰ	3・4	DSL-3-222-11	2		◎			○	○	
	イスパノアメリカ特殊研究Ⅱ	3・4	DSL-3-222-12	2		◎			○	○	
	ビジネス	ビジネススペイン語概論	2・3・4	DSL-2-223-01	2			◎	○		
		スペイン語圏ビジネス研究A	2・3・4	DSL-2-223-02	2		◎		○	○	
		スペイン語圏ビジネス研究B	2・3・4	DSL-2-223-03	2		◎		○	○	
		観光ビジネススペイン語Ⅰ	2・3・4	DSL-2-223-04	2			◎	○	○	
		観光ビジネススペイン語Ⅱ	2・3・4	DSL-2-223-05	2			◎	○	○	
	海外研修等	ビジネススペイン語特殊研究Ⅰ	3・4	DSL-3-223-06	2			◎	○		
		ビジネススペイン語特殊研究Ⅱ	3・4	DSL-3-223-07	2			◎	○		
海外研修Ⅰ		1・2・3・4	DSL-1-224-01	2					◎		
海外研修Ⅱ		1・2・3・4	DSL-1-224-02	2					◎		
専門科目	言語	海外研修Ⅲ	1・2・3・4	DSL-1-224-03	2					◎	
		海外研修Ⅳ	1・2・3・4	DSL-1-224-04	2					◎	
		言語学	1	DSL-1-231-01	2		◎				○
		社会言語学	2・3・4	DSL-2-231-02	2		◎				○
	情報	言語習得論	2・3・4	DSL-2-231-03	2		◎				○
		言語研究	2・3・4	DSL-2-231-04	2		◎				○
		文系プログラミング入門	1	DSL-1-232-01	2				◎		
		文系プログラミング	2・3・4	DSL-2-232-02	2				◎		
	キャリア	IT概論	2・3・4	DSL-2-232-03	2				◎		
		デジタルプレゼンテーション	2・3・4	DSL-2-232-04	2				◎		
		キャリアガイダンス	1	DSL-1-233-01	2					◎	
		観光ビジネス論	2・3・4	DSL-2-233-02	2					◎	
		ホスピタリティビジネス論	2・3・4	DSL-2-233-03	2					◎	
		エアラインビジネス論	2・3・4	DSL-2-233-04	2					◎	
		海外インターンシップ論	2・3・4	DSL-2-233-05	2					◎	
		グローバルビジネス論	2・3・4	DSL-2-233-06	2					◎	
	文化	職業能力基礎(SPI)言語	2・3・4	DSL-2-233-07	2				◎		
		職業能力基礎(SPI)非言語	2・3・4	DSL-2-233-08	2				◎		
		英語音声学Ⅰ	2・3・4	DSL-2-241-01	2				◎		
英語音声学Ⅱ		2・3・4	DSL-2-241-02	2				◎			
異文化間コミュニケーション入門		2・3・4	DSL-2-241-03	2				◎			
英語文学入門		2・3・4	DSL-2-241-04	2				◎			
中国文化入門		2・3・4	DSL-2-241-05	2				◎			
日中異文化交流		2・3・4	DSL-2-241-06	2				◎			
日本文学概論		2・3・4	DSL-2-241-07	2				◎			
日本語史		2・3・4	DSL-2-241-08	2				◎			
社会	日本語文化	2・3・4	DSL-2-241-09	2				◎			
	多言語映画論	2・3・4	DSL-2-241-10	2				◎			
	イギリス研究入門	2・3・4	DSL-2-242-01	2				◎			
	アメリカ研究入門	2・3・4	DSL-2-242-02	2				◎			
	中国事情	2・3・4	DSL-2-242-03	2				◎			
学 科 横 断 科 目	世界の日本語教育事情	2・3・4	DSL-2-242-04	2				◎			
	都市社会学	2・3・4	DSL-2-242-05	2				◎			

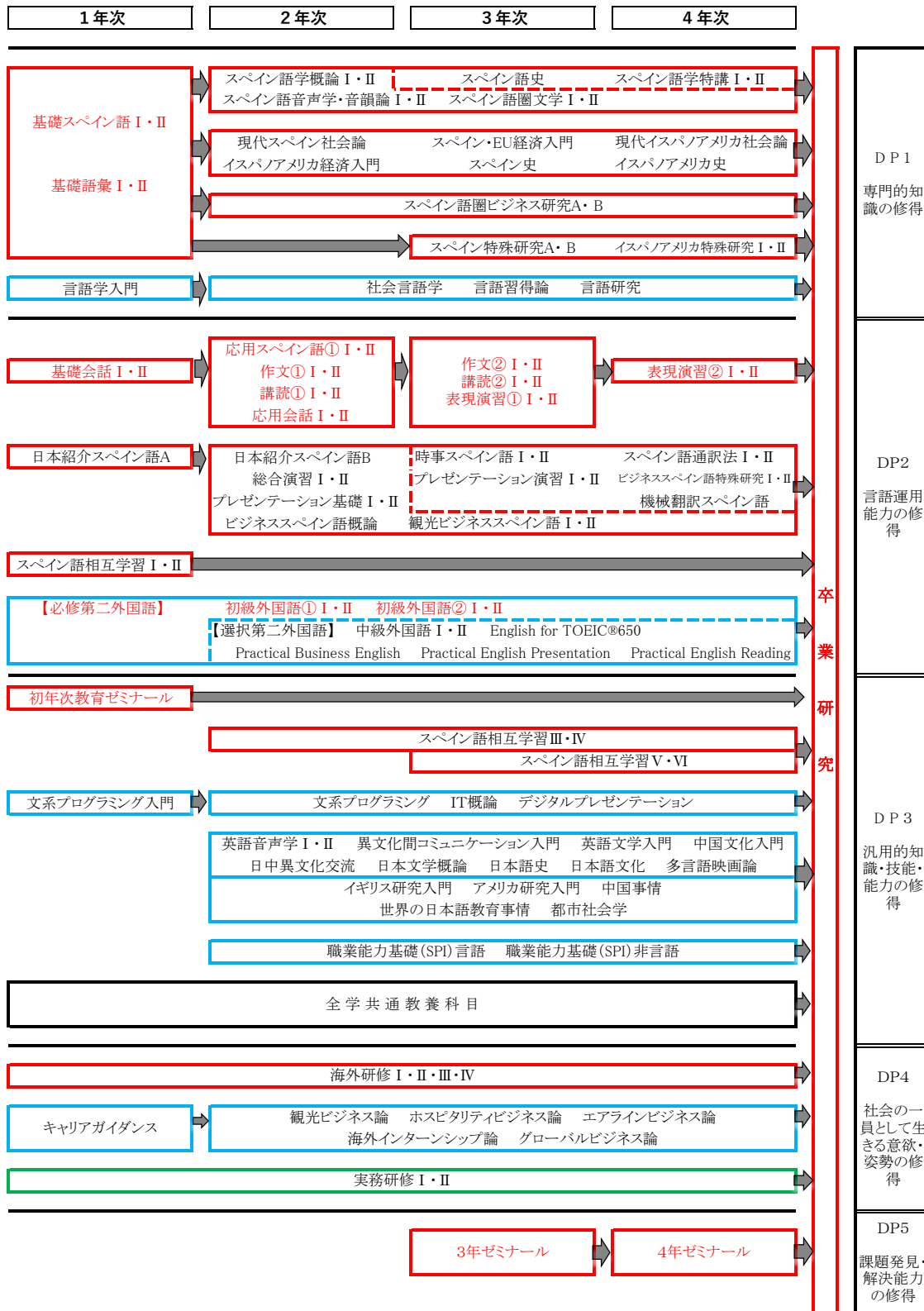
区 分		授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数	主要 授業 科目	DP1 専門的知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
専 門 科 目	学 科 横 断 科 目	必 修 第 二 外 国 語	初級英語① I	1・2・3・4	DSL-1-251-01	1		◎			
			初級英語① II	1・2・3・4	DSL-1-251-02	1		◎			
			初級英語② I	1・2・3・4	DSL-1-251-03	1		◎			
			初級英語② II	1・2・3・4	DSL-1-251-04	1		◎			
			初級中国語① I	1・2・3・4	DSL-1-252-01	1		◎			
			初級中国語① II	1・2・3・4	DSL-1-252-02	1		◎			
			初級中国語② I	1・2・3・4	DSL-1-252-03	1		◎			
			初級中国語② II	1・2・3・4	DSL-1-252-04	1		◎			
			初級フランス語① I	1・2・3・4	DSL-1-254-01	1		◎			
			初級フランス語① II	1・2・3・4	DSL-1-254-02	1		◎			
			初級フランス語② I	1・2・3・4	DSL-1-254-03	1		◎			
			初級フランス語② II	1・2・3・4	DSL-1-254-04	1		◎			
			初級ドイツ語① I	1・2・3・4	DSL-1-255-01	1		◎			
			初級ドイツ語① II	1・2・3・4	DSL-1-255-02	1		◎			
			初級ドイツ語② I	1・2・3・4	DSL-1-255-03	1		◎			
			初級ドイツ語② II	1・2・3・4	DSL-1-255-04	1		◎			
			初級韓国語① I	1・2・3・4	DSL-1-256-01	1		◎			
			初級韓国語① II	1・2・3・4	DSL-1-256-02	1		◎			
			初級韓国語② I	1・2・3・4	DSL-1-256-03	1		◎			
			初級韓国語② II	1・2・3・4	DSL-1-256-04	1		◎			
		初級日本語① I	1・2・3・4	DSL-1-257-01	1		◎				
		初級日本語① II	1・2・3・4	DSL-1-257-02	1		◎				
		初級日本語② I	1・2・3・4	DSL-1-257-03	1		◎				
		初級日本語② II	1・2・3・4	DSL-1-257-04	1		◎				
		選 択 第 二 外 国 語	中級中国語 I	2・3・4	DSL-2-252-01	1		◎			
			中級中国語 II	2・3・4	DSL-2-252-02	1		◎			
			中級フランス語 I	2・3・4	DSL-2-254-01	1		◎			
			中級フランス語 II	2・3・4	DSL-2-254-02	1		◎			
			中級ドイツ語 I	2・3・4	DSL-2-255-01	1		◎			
			中級ドイツ語 II	2・3・4	DSL-2-255-02	1		◎			
中級韓国語 I	2・3・4		DSL-2-256-01	1		◎					
中級韓国語 II	2・3・4		DSL-2-256-02	1		◎					
中級日本語 I	2・3・4		DSL-2-257-01	1		◎					
中級日本語 II	2・3・4		DSL-2-257-02	1		◎					
English for TOEIC®650	2・3・4		DSL-2-251-01	1			◎		○		
Practical Business English	2・3・4		DSL-2-251-02	1			◎		○		
Practical English Presentation	2・3・4	DSL-2-251-03	1			◎		○			
Practical English Reading	2・3・4	DSL-2-251-04	1			◎		○			
自由科目	キャリア 認定科目	実務研修 I	1・2・3・4	DSL-1-301-01	2				◎	○	
		実務研修 II	1・2・3・4	DSL-1-301-02	2				◎	○	
開講科目数 小計◎(◎の科目のみカウント)							29	76	26	12	3

◎: 科目の到達目標が該当のDPに直結する科目

○: 科目の到達目標が該当のDPに関連する科目

☆: 主要授業科目(学部が教育課程上主要と認める授業科目)

4-(2) スペイン語学科 カリキュラムツリー



※凡例

全学共通教養科目

専門科目

学科横断科目

自由科目

朱書き：必修

5-1) 国際日本語学科(専門科目) カリキュラムマップ及び科目ナンバリング

区分	授業科目名	配当 年次	単 位 数	ナンバリング	主要 授業 科目	DP1 専門知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得	
必 修 科 目	基礎専門	日本語学概論Ⅰ	1	2	DJL-1-201-01	☆	◎				
		日本語学概論Ⅱ	2	2	DJL-2-201-02	☆	◎				
		日本語教育概論	2	2	DJL-2-201-03	☆	◎		○		
		国際日本語論	2	2	DJL-2-201-04	☆	◎		○		
	日本語 (留学生)	日本語リテラシーⅠA	1	1	DJL-1-202-01			◎			
		日本語リテラシーⅠB	1	1	DJL-1-202-02			◎			
		日本語リテラシーⅡA	1	1	DJL-1-202-03			◎			
		日本語リテラシーⅡB	1	1	DJL-1-202-04			◎			
		日本語コミュニケーションⅠA	1	1	DJL-1-202-05			◎			
		日本語コミュニケーションⅠB	1	1	DJL-1-202-06			◎			
		日本語コミュニケーションⅡA	1	1	DJL-1-202-07			◎			
		日本語コミュニケーションⅡB	1	1	DJL-1-202-08			◎			
		日本語リテラシーⅢ	2	1	DJL-2-202-09			◎			
		日本語リテラシーⅣ	2	1	DJL-2-202-10			◎			
		日本語コミュニケーションⅢ	2	1	DJL-2-202-11			◎			
		日本語コミュニケーションⅣ	2	1	DJL-2-202-12			◎			
	ゼミナール等	初年次教育ゼミナール	1	2	DJL-1-203-01	☆			◎	○	
		アカデミックスキルズ	1	2	DJL-1-203-02	☆			○	◎	
		日本語相互学習Ⅰ	2	2	DJL-2-203-03	☆				○ ◎	
		日本語相互学習Ⅱ	2	2	DJL-2-203-04	☆				○ ◎	
3年ゼミナール		3	4	DJL-3-203-05	☆	○		○	◎		
4年ゼミナール	4	4	DJL-4-203-06	☆	○		○	◎			
卒業研究	卒業研究	4	2	DJL-4-204-01		○		○	◎		
専 門 科 目	日本語Ⅰ	日本語教育文法Ⅰ	1	2	DJL-1-211-01		◎				
		日本語教育文法Ⅱ	1	2	DJL-1-211-02		◎				
		日本語文法Ⅰ	1	2	DJL-1-211-03		◎				
		日本語文法Ⅱ	1	2	DJL-1-211-04		◎				
		日本語古典文法Ⅰ	1	2	DJL-1-211-05		◎				
		日本語古典文法Ⅱ	1	2	DJL-1-211-06		◎				
	日本語Ⅱ	日本語表現Ⅰ	1	2	DJL-1-212-01			◎	○		
		日本語表現Ⅱ	1	2	DJL-1-212-02			◎	○		
		日本語文章表現Ⅰ	1	2	DJL-1-212-03			◎	○		
		日本語文章表現Ⅱ	1	2	DJL-1-212-04			◎	○		
		日本語プレゼンテーションⅠ	2	2	DJL-2-212-05			◎	◎		
		日本語プレゼンテーションⅡ	2	2	DJL-2-212-06			○	◎		
		国際コミュニケーション論	2	2	DJL-2-212-07			○	○	◎	
		ビジネス日本語総合Ⅰ	2	2	DJL-2-212-08			○	◎		
		ビジネス日本語総合Ⅱ	3・4	2	DJL-3-212-09			○	◎		
		専門日本語(観光)	3・4	2	DJL-3-212-10			◎	○		
		専門日本語(メディア)	3・4	2	DJL-3-212-11			◎	○		
		日本語教育	日本語教授法Ⅰ	1	2	DJL-1-221-01		◎			○
			日本語教授法Ⅱ	1	2	DJL-1-221-02		◎			
			日本語音声学	1	2	DJL-1-221-03		◎			
日本語表記論	1		2	DJL-1-221-04		◎					
日本語教育教材論	1		2	DJL-1-221-05		◎					
日本語彙論	1		2	DJL-1-221-06		◎					
世界の日本語教育事情	2		2	DJL-2-221-07					○		
教育日本語総合A	2		2	DJL-2-221-08		◎					
教育日本語総合B	2		2	DJL-2-221-09		◎					
教育日本語総合C	2		2	DJL-2-221-10		◎					
日本語教育評価法	2		2	DJL-2-221-11		◎		○			
日本語の談話	2		2	DJL-2-221-12		◎		○			
日本語意味論	3・4		2	DJL-3-221-13		◎					
日本事情教育	3・4		2	DJL-3-221-14		◎			○		
日本語教育実践演習	3・4	2	DJL-3-221-15		◎			○			
日本語教育実習	3・4	1	DJL-3-221-16				○	◎			

区 分		授業科目名	配当 年次	単位 数	ナンバリング	主要 授業 科目	DP1 専門知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得
選択科目Ⅱ	日本語 ・日本文化	日本語・日本人論	1	2	DJL-1-222-01		◎			○	
		クールジャパン論	1	2	DJL-1-222-02		◎				
		現代日本語事情	1	2	DJL-1-222-03		◎				
		異文化間理解	1	2	DJL-1-222-04		○			◎	
		日本近代文学	1	2	DJL-1-222-05		◎				
		ポップカルチャー論	1	2	DJL-1-222-06		◎				
		日本の民俗と思想	1	2	DJL-1-222-07		◎				
		日本文学概論	2	2	DJL-2-222-08		◎				
		日本語史	2	2	DJL-2-222-09		◎				
		日本古典文学Ⅰ	2	2	DJL-2-222-10		◎				
		日本古典文学Ⅱ	2	2	DJL-2-222-11		◎				
		日本語文化	2	2	DJL-2-222-12		◎				
		日本の生活と芸能	2	2	DJL-2-222-13		◎				
		翻訳・通訳概論(日英)	3・4	2	DJL-3-222-14		○	◎			○
		翻訳・通訳概論(日中)	3・4	2	DJL-3-222-15		○	◎			○
	漢文学概論Ⅰ	3・4	2	DJL-3-222-16		◎					
	漢文学概論Ⅱ	3・4	2	DJL-3-222-17		◎					
	書道	3・4	2	DJL-3-222-18		◎					
	海外研修等	海外研修Ⅰ	1・2・3・4	2	DJL-1-223-01						◎
		海外研修Ⅱ	1・2・3・4	2	DJL-1-223-02						◎
海外研修Ⅲ		1・2・3・4	2	DJL-1-223-03						◎	
海外研修Ⅳ		1・2・3・4	2	DJL-1-223-04						◎	
専門科目	言語	言語学	1	2	DJL-1-231-01		◎				○
		社会言語学	2・3・4	2	DJL-2-231-02		◎				○
		言語習得論	2・3・4	2	DJL-2-231-03		◎				○
		言語研究	2・3・4	2	DJL-2-231-04		◎				○
	情報	文系プログラミング入門	1	2	DJL-1-232-01				◎		
		文系プログラミング	2・3・4	2	DJL-2-232-02				◎		
		IT概論	2・3・4	2	DJL-2-232-03				◎		
		デジタルプレゼンテーション	2・3・4	2	DJL-2-232-04				◎		
	キャリア	キャリアガイダンス	1	2	DJL-1-233-01						◎
		観光ビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-02						◎
		ホスピタリティビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-03						◎
		エアラインビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-04						◎
		海外インターンシップ論	2・3・4	2	DJL-2-233-05						◎
		グローバルビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-06						◎
		職業能力基礎(SPI)言語	2・3・4	2	DJL-2-233-07				◎		
	職業能力基礎(SPI)非言語	2・3・4	2	DJL-2-233-08				◎			
	文化	英語音声学Ⅰ	2・3・4	2	DJL-2-241-01				◎		
		英語音声学Ⅱ	2・3・4	2	DJL-2-241-02				◎		
		異文化間コミュニケーション入門	2・3・4	2	DJL-2-241-03				◎		
		英語文学入門	2・3・4	2	DJL-2-241-04				◎		
中国文化入門		2・3・4	2	DJL-2-241-05				◎			
日中異文化交流		2・3・4	2	DJL-2-241-06				◎			
スペイン特殊研究A		2・3・4	2	DJL-2-241-07				◎			
スペイン特殊研究B		2・3・4	2	DJL-2-241-08				◎			
多言語映画論		2・3・4	2	DJL-2-241-09				◎			
社会	イギリス研究入門	2・3・4	2	DJL-2-242-01				◎			
	アメリカ研究入門	2・3・4	2	DJL-2-242-02				◎			
	中国事情	2・3・4	2	DJL-2-242-03				◎			
	現代スペイン社会論	2・3・4	2	DJL-2-242-04				◎			
	スペイン・EU経済入門	2・3・4	2	DJL-2-242-05				◎			
	現代イスマノアメリカ社会論	2・3・4	2	DJL-2-242-06				◎			
	イスマノアメリカ経済入門	2・3・4	2	DJL-2-242-07				◎			
	都市社会学	2・3・4	2	DJL-2-242-08				◎			
学科横断科目	学部 基盤 科目	言語学	1	2	DJL-1-231-01		◎				○
		社会言語学	2・3・4	2	DJL-2-231-02		◎				○
		言語習得論	2・3・4	2	DJL-2-231-03		◎				○
		言語研究	2・3・4	2	DJL-2-231-04		◎				○
		文系プログラミング入門	1	2	DJL-1-232-01				◎		
		文系プログラミング	2・3・4	2	DJL-2-232-02				◎		
		IT概論	2・3・4	2	DJL-2-232-03				◎		
		デジタルプレゼンテーション	2・3・4	2	DJL-2-232-04				◎		
		キャリアガイダンス	1	2	DJL-1-233-01						◎
		観光ビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-02						◎
ホスピタリティビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-03						◎		
エアラインビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-04						◎		
海外インターンシップ論	2・3・4	2	DJL-2-233-05						◎		
グローバルビジネス論	2・3・4	2	DJL-2-233-06						◎		
職業能力基礎(SPI)言語	2・3・4	2	DJL-2-233-07				◎				
職業能力基礎(SPI)非言語	2・3・4	2	DJL-2-233-08				◎				
英語音声学Ⅰ	2・3・4	2	DJL-2-241-01				◎				
英語音声学Ⅱ	2・3・4	2	DJL-2-241-02				◎				
異文化間コミュニケーション入門	2・3・4	2	DJL-2-241-03				◎				
英語文学入門	2・3・4	2	DJL-2-241-04				◎				
中国文化入門	2・3・4	2	DJL-2-241-05				◎				
日中異文化交流	2・3・4	2	DJL-2-241-06				◎				
スペイン特殊研究A	2・3・4	2	DJL-2-241-07				◎				
スペイン特殊研究B	2・3・4	2	DJL-2-241-08				◎				
多言語映画論	2・3・4	2	DJL-2-241-09				◎				
イギリス研究入門	2・3・4	2	DJL-2-242-01				◎				
アメリカ研究入門	2・3・4	2	DJL-2-242-02				◎				
中国事情	2・3・4	2	DJL-2-242-03				◎				
現代スペイン社会論	2・3・4	2	DJL-2-242-04				◎				
スペイン・EU経済入門	2・3・4	2	DJL-2-242-05				◎				
現代イスマノアメリカ社会論	2・3・4	2	DJL-2-242-06				◎				
イスマノアメリカ経済入門	2・3・4	2	DJL-2-242-07				◎				
都市社会学	2・3・4	2	DJL-2-242-08				◎				

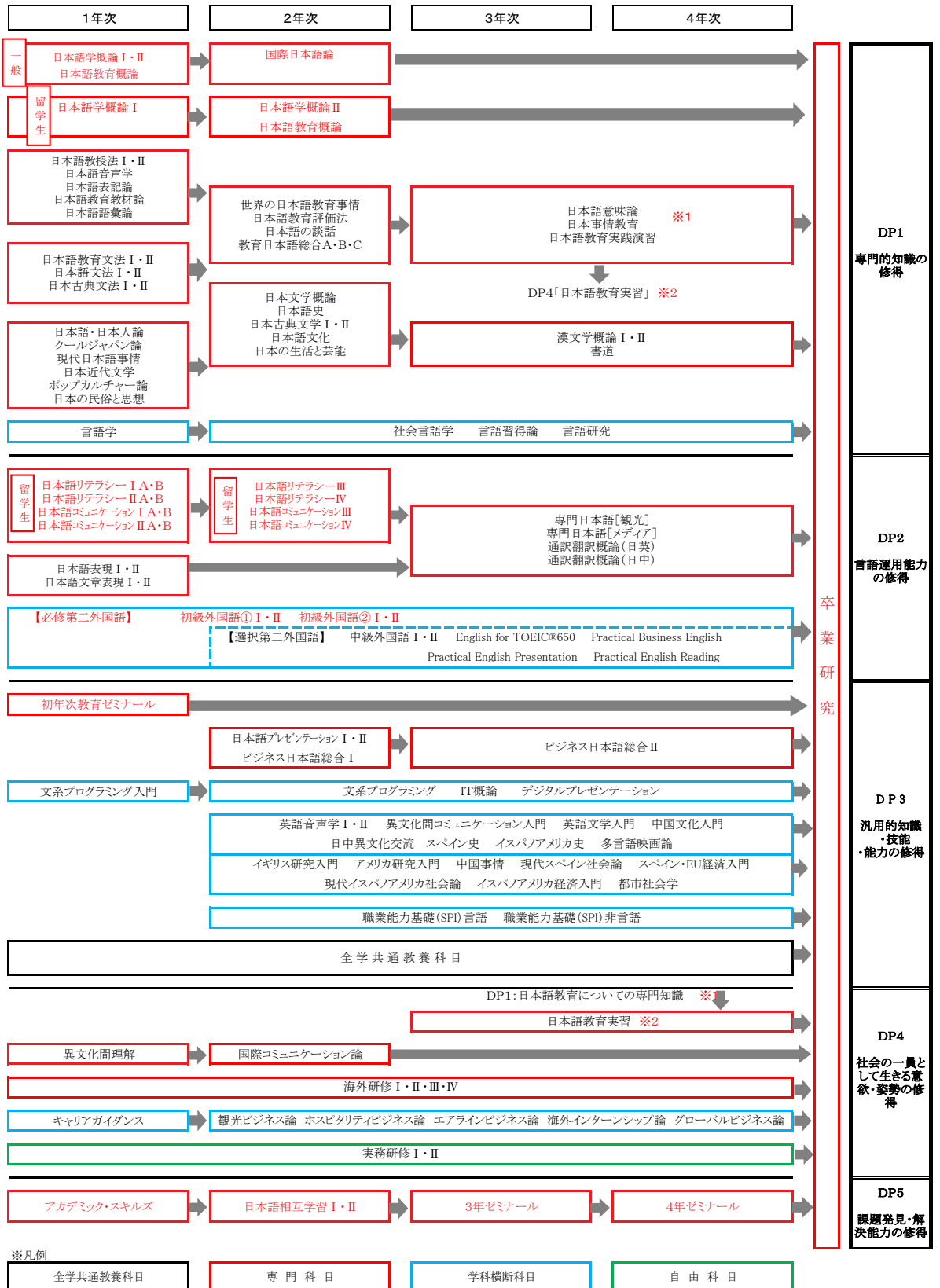
区 分		授業科目名	配当 年次	単位 数	ナンバリング	主要 授業 科目	DP1 専門知識の 修得	DP2 言語運用能力 の修得	DP3 汎用的知識・技 能・能力の修得	DP4 社会の一員とし て生きる意欲・ 姿勢の修得	DP5 課題発見・解決 能力の修得	
専 門 科 目	学 科 横 断 科 目	第 二 外 国 語	必修第二 外国語	初級英語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-251-01		◎			
				初級英語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-251-02		◎			
				初級英語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-251-03		◎			
				初級英語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-251-04		◎			
				初級中国語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-252-01		◎			
				初級中国語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-252-02		◎			
				初級中国語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-252-03		◎			
				初級中国語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-252-04		◎			
				初級スペイン語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-253-01		◎			
				初級スペイン語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-253-02		◎			
				初級スペイン語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-253-03		◎			
				初級スペイン語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-253-04		◎			
				初級フランス語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-254-01		◎			
				初級フランス語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-254-02		◎			
				初級フランス語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-254-03		◎			
				初級フランス語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-254-04		◎			
				初級ドイツ語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-255-01		◎			
				初級ドイツ語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-255-02		◎			
				初級ドイツ語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-255-03		◎			
				初級ドイツ語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-255-04		◎			
		初級韓国語① I	1・2・3・4	1	DJL-1-256-01		◎					
		初級韓国語① II	1・2・3・4	1	DJL-1-256-02		◎					
		初級韓国語② I	1・2・3・4	1	DJL-1-256-03		◎					
		初級韓国語② II	1・2・3・4	1	DJL-1-256-04		◎					
		選 択 第 二 外 国 語	必修第二 外国語	中級中国語 I	2・3・4	1	DJL-2-252-01			◎		
				中級中国語 II	2・3・4	1	DJL-2-252-02			◎		
				中級スペイン語 I	2・3・4	1	DJL-2-253-01			◎		
				中級スペイン語 II	2・3・4	1	DJL-2-253-02			◎		
				中級フランス語 I	2・3・4	1	DJL-2-254-01			◎		
				中級フランス語 II	2・3・4	1	DJL-2-254-02			◎		
				中級ドイツ語 I	2・3・4	1	DJL-2-255-01			◎		
				中級ドイツ語 II	2・3・4	1	DJL-2-255-02			◎		
				中級韓国語 I	2・3・4	1	DJL-2-256-01			◎		
				中級韓国語 II	2・3・4	1	DJL-2-256-02			◎		
自 由 科 目	キャリア 認定科目	English for TOEIC®650	2・3・4	1	DJL-2-251-01			◎		○		
		Practical English Presentation	2・3・4	1	DJL-2-251-02			◎		○		
		Practical Business English	2・3・4	1	DJL-2-251-03			◎		○		
		Practical English Reading	2・3・4	1	DJL-2-251-04			◎		○		
		実務研修 I	1・2・3・4	2	DJL-1-301-01					◎	○	
実務研修 II	1・2・3・4	2	DJL-1-301-02					◎	○			
開講科目数 小計②(◎の科目のみカウント)							44	58	28	15	6	

◎: 科目の到達目標が該当のDPIに直結する科目

○: 科目の到達目標が該当のDPIに関連する科目

☆: 主要授業科目(学部が教育課程上主要と認める授業科目)

5 - (2) 国際日本語学科 カリキュラムツリー



※凡例

全学共通教養科目	専門科目	学科横断科目	自由科目
----------	------	--------	------

朱書き:必修

 *MEMO* 

教職課程 履修要項

日本の国公立、私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員となるためには、教員の免許状を持っていなければなりません。そして、この免許状は教育職員免許法という法律にしたがって設けられた教職課程を履修し、定められた単位を修得した者に与えられます。

1 拓殖大学の教職課程における教員養成の理念と目標

拓殖大学は「積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成」という建学の理念を掲げて、教育目標である、国際性、専門性、人間性を備えた人材の育成に努めてきました。現在、これを具現化して、「学生一人ひとりが国際的な視野を持ち、国内外の人々と協働して積極的に問題の発見と解決にチャレンジしていくタフな人間力を身につけたグローバル人材（『拓殖人材』）」の育成に取り組んでいます。

本学の教職課程における教員養成の理念は、建学の理念と軌を一にしており、国際社会に生きる一人の国民として主体的に行動し、持続可能な社会の創り手として貢献することができる人材の育成にあります。そのうえで、専門的な知識を身に付け、多様な人々と協働して課題の発見と解決ができ、生徒・保護者・地域社会から信頼され尊敬される教員を養成することこそが、本学の教員養成の目標であり、使命であると考えます。

そこで、目標を次の3つに柱立てして、全学的な協力・指導体制の下、次代を担う生徒たちのため、学校教育が求める教員の養成に全力にあたります。

(1) 世界を視野に入れ、多様な他者と協働して問題発見・解決ができる教員の育成

本学の第2代学監で「太平洋の橋とならん」の言で知られる新渡戸稲造が、国際理解と世界平和に尽力してきたことはよく知られています。グローバル化、高度情報化など社会の急速な進展のなかで、本学の教員養成においても国際社会に貢献しうる人材を育成します。地域社会、自国を含めた世界の多様な他者と主体的に関わり、協働して問題に取り組むことのできる教員の養成を目指します。

(2) 教育に熱意と使命感を抱き、心豊かな人間性をそなえた教員の養成

生徒の人格形成を目指す学校教育では、生徒に対する深い愛情や責任感を持ち、教員としての高い倫理観と社会常識を身に付け、温かい心で思いやる包容力を持つ教員が求められます。本学では、これらに加えて、豊かな教養や、「チーム学校」の一員として他者と連携・協働できるコミュニケーション能力をもつ心豊かな教員の養成を目指します。

(3) 高い専門性と実践的な指導力に支えられた、学び続ける教員の養成

生徒のよさや潜在能力を引き出し伸ばしながら、持続可能な社会を切り拓く資質・能力を育成するためには、学習指導、生活指導や学級指導などの場面で具体的かつ効果的な高い指導力が求められます。本学では、そのために必要な専門的知識・技能やそれらを活用した問題発見・解決能力、情報活用能力、「主体的・対話的で深い学び」を実践できる指導力を育成し、「理論と実践の往還」を通して学び続ける教員の養成を目指します。

2 教育職員免許状の種類及び教科

外国語学部生が取得できる免許状の種類及び教科は、次のとおりです。

(2025年度入学者適用)

学 科	取得できる免許状の種類及び教科	
	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
英 米 語 学 科	英 語	英 語
中 国 語 学 科	中 国 語	中 国 語
ス ペ イ ン 語 学 科	イ ス パ ニ ア 語	イ ス パ ニ ア 語
国 際 日 本 語 学 科	国 語	国 語

※ 【他学科の免許状取得について】

他学科の免許状取得を希望する場合は、必ず自学科の免許状と併せて取得することが必要です。他学科の免許状のみ取得することは出来ません。また、教職課程担当教員及び八王子学務課に事前に届け出てください。

他学科の「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修について、「教科の指導法に関する科目」を履修する場合は履修登録単位制限から除外されますが、「教科に関する科目」を履修する場合は履修登録単位制限の単位数に含まれます。

したがって、他学科の免許状を取得する場合、履修登録単位数や自学科の必修科目等との時間割の関係で、卒業までに必要単位をすべて取得できない場合があります。

なお、中国語学科、スペイン語学科、国際日本語学科の学生が、英語の免許状を取得するには、**2年次終了までに、実用英語技能検定2級以上合格または、TOEIC® L&R 500点以上のスコアが必要です。**

※ 【小学校教諭二種免許状の取得について】

小学校教諭二種免許状の取得も可能です。取得希望者は、1年次に行われる説明会に必ず出席をして、別途行われる選考を通過した場合のみ2年次に受講を開始出来ます。

なお、説明会の詳細は、ポータルサイト (Takudai Portal) にてお知らせいたします。

3 外国語学部が目指す教師像

外国語学部では、「拓殖大学の教職課程における教員養成の理念と目的」(前掲)に重点を置きつつ、学部独自の教育理念に基づき、次のような教師の養成を目指します。

(1) 高い語学力を備えた国際性豊かな教師

外国語学部では、高い語学力と言語および教育に関する専門的知識とスキルを有する教師を育成します。さらに、異文化についての幅広い理解に基づいた国際性を身につけて、中学生・高校生をはじめとする青少年の国際交流の進展に寄与できる能力を持った教師の養成を目指します。

(2) 語学力、指導力、人間性などのバランスに優れた教師

外国語学部では、語学力、指導力、人間性などのバランスに優れた教師を育成します。総合大学である拓殖大学の環境の中で、他学部の学生や様々な国からの留学生と学び合うことによって高い語学力、実践的な指導力、豊かな人間性を備えた、コミュニケーション能力の高い教師の養成を目指します。

(3) 常に研究・研鑽し続ける教師

グローバル化とデジタル化がますます進むこれからの日本社会において、学校教育もまた新しい局面を迎えつつあります。学校現場での様々な課題に対処するために、教師になってからも学び続ける姿勢が必要です。外国語学部では、常に研究・研鑽を続け、教育界のリーダー的な存在になりうる教師の養成を目指します。

4 教職課程の登録

(1) 登録方法

教職課程に登録し、科目を履修するには、次の手続きが必要です。なお、登録手続きは初年度のみで、翌年度以降は自動継続されます。

①登録料の納付	登録初年度の指定時期（4月）に、教職課程登録料を納付する
②登録の申請	Web履修登録の『資格申請』で「教職課程」を申請してください

※ 登録料の納付時期・方法については、教職課程ガイダンスにて指示します。

(2) 登録料

教職課程の登録料は10,000円です。

なお、英米語学科・中国語学科・スペイン語学科の学生が、拓殖大学日本語教員養成講座と併せて登録する場合には、15,000円となります。

5 教職課程の科目分類

教職課程の科目は、「基礎資格科目」・「教科及び教科の指導法に関する科目」・「教育の基礎的理解に関する科目等」・「大学が独自に設定する科目」の4つに分類されます。

6 免許状の取得に必要な科目及び単位数

免許状を取得するためには、免許状の種類及び教科別に定める各科目の必要単位数を、4年間にわたり計画的に修得しなければなりません。

(2025年度入学者適用)

科目の区分	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
	英語	中国語・ イスパニア語・国語	英語	中国語・ イスパニア語・国語
基礎資格科目	8以上	8以上	8以上	8以上
教科及び教科の指導法に関する科目	30以上	28以上	30以上	24以上
教育の基礎的理解に関する科目等	34以上	34以上	30以上	30以上
大学が独自に設定する科目	2	2	—	5以上
合計	74以上	72以上	68以上	67以上

7 基礎資格科目

免許状を取得するための基礎資格として、教育職員免許法施行規則第66条の6で定める「日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の各区分に属する次の開設科目の中から所定の単位を修得しなければなりません。

(2025年度入学者適用)

免許法の科目区分		本学の開設科目名 (単位数)	配当年次	必要単位数
日本国憲法		日本国憲法 (2)	1年	2単位
体育		スポーツ演習 (1)	1年	2単位
		トレーニング演習 (1)	1年	
外国語コミュニケーション	英米語学科	English Communication I (2)	1年	2単位
	中国語学科	総合中国語③ I (2)	1年	
	スペイン語学科	基礎会話 I (2)	1年	
	国際日本語学科	初級英語② I (1)	1年	
		初級英語② II (1)	1年	
		初級中国語② I (1)	1年	
		初級中国語② II (1)	1年	
		初級スペイン語② I (1)	1年	
		初級スペイン語② II (1)	1年	
		初級フランス語② I (1)	1年	
		初級フランス語② II (1)	1年	
		初級ドイツ語② I (1)	1年	
		初級ドイツ語② II (1)	1年	
		初級韓国語② I (1)	1年	
初級韓国語② II (1)		1年		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		情報リテラシー (2)	1年	2単位
基礎資格科目の合計				8単位

8 教科及び教科の指導法に関する科目

教科及び教科の指導法に関する科目は、免許状の種類及び教科によって、修得しなければならない科目・単位数が異なります。各免許法の科目区分ごとに必修科目を修得、必要単位数を充足した上で、合計単位以上を修得してください。

なお、次の各学科の表で、○印が付いた科目は必修科目、●印が付いた科目は中学校一種免許状の必修科目です。

(1) 英米語学科：中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）

(2025年度入学者適用)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	本学の開設科目名（単位数）	必要単位数
教科に関する専門的事項	英語学	○ Grammar I (1) ○ Grammar II (1) ○ 英語学入門 (2) ○ 英語音声学 I (2) 英語音声学 II (2)	6 単位以上
	英語文学	○ 英語文学入門 (2) 英米文学研究 A (2) 英米文学研究 B (2)	2 単位以上
	英語コミュニケーション	○ English Communication II (2) ○ English Communication III (2) English Communication IV (2) ○ General English II (2) ○ Academic English I (2) Academic English II (2)	10 単位以上
	異文化理解	○ イギリス研究入門 (2) ○ アメリカ研究入門 (2) コミュニケーション研究 A (2) コミュニケーション研究 B (2)	4 単位以上
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 英語科教育法 I (2) ○ 英語科教育法 II (2) ○ 英語科教育法 III (2) ○ 英語科教育法 IV (2)	8 単位	
教科及び教科の指導法に関する科目の合計			30 単位以上

※ 英語科教育法は、I/II/III/IVの順に履修・単位修得することが望ましい。

(2) 中国語学科：中学校教諭一種免許状（中国語）、高等学校教諭一種免許状（中国語）

(2025年度入学者適用)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	本学の開設科目名（単位数）	必要単位数
教科に関する専門的事項	中国語学	○ 中国語学概論 (2) ○ 文法作文 I (1) ○ 文法作文 II (1) 日中対照言語研究 I (2) 日中対照言語研究 II (2) 中国語学研究 (2)	4 単位以上
	中国文学	○ 中国文学概論 (2) ○ 中国文学研究 (2)	4 単位
	中国語コミュニケーション	読解 I (1) 読解 I (1) 聴解 I (1) 聴解 II (1) 会話 I (2) 会話 II (2) ○ 講読演習 I (1) ○ 講読演習 II (1) 作文演習 I (1) 作文演習 II (1) ○ 表現演習① I (1) ○ 表現演習① II (1)	6 単位以上
	異文化理解	○ 中国史概説 (2) ○ 中国文化概論 (2) ○ 中国文化研究 (2) 中国社会概論 (2) 中国社会研究 (2) 中国事情 (2) 日中異文化交流 (2)	6 単位以上
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	● 中国語科教育法 I (2) ● 中国語科教育法 II (2) ○ 中国語科教育法 III (2) ○ 中国語科教育法 IV (2)	中学：8 単位 高校：4 単位以上	
教科及び教科の指導法に関する科目の合計			中学：28 単位以上 高校：24 単位以上

(3) スペイン語学科：中学校教諭一種免許状（スペイン語）、高等学校教諭一種免許状（スペイン語）

(2025年度入学者適用)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	本学の開設科目名（単位数）	必要単位数
教科に関する専門的事項	イスパニア語学	○ スペイン語学概論Ⅰ（2） ○ スペイン語学概論Ⅱ（2） ス ペ イ ン 語 史（2） スペイン語音声学・音韻論Ⅰ（2） スペイン語音声学・音韻論Ⅱ（2）	6単位以上
	イスパニア文学	○ スペイン語圏文学Ⅰ（2） ○ スペイン語圏文学Ⅱ（2）	4単位
	イスパニア語コミュニケーション	応 用 会 話 Ⅰ（2） 応 用 会 話 Ⅱ（2） 講 読 ① Ⅰ（1） 講 読 ① Ⅱ（1） 作 文 ① Ⅰ（1） 作 文 ① Ⅱ（1） ○ 総 合 演 習 Ⅰ（2） ○ 総 合 演 習 Ⅱ（2）	6単位以上
	異文化理解	○ スペイン特殊研究A（2） スペイン特殊研究B（2） ○ イスパノアメリカ特殊研究Ⅰ（2） イスパノアメリカ特殊研究Ⅱ（2） ス ペ イ ン 史（2） イスパノアメリカ史（2） 現代スペイン社会論（2） 現代イスパノアメリカ社会論（2）	4単位以上
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	● イスパノ語科教育法Ⅰ（2） ● イスパノ語科教育法Ⅱ（2） ○ イスパノ語科教育法Ⅲ（2） ○ イスパノ語科教育法Ⅳ（2）	中学：8単位 高校：4単位以上	
教科及び教科の指導法に関する科目の合計			中学：28単位以上 高校：24単位以上

(4) 国際日本語学科：中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）

(2025年度入学者適用)

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	本学の開設科目名（単位数）	必要単位数
教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○ 日本語学概論Ⅰ（2） 日本語学概論Ⅱ（2） 日本語教育概論（2） ○ 日 本 語 史（2） 日本語教育文法Ⅰ（2） 日本語教育文法Ⅱ（2） 日本語文法Ⅰ（2） 日本語文法Ⅱ（2） ○ 日本語文章表現Ⅰ（2） 日本語文章表現Ⅱ（2） 日本語表現Ⅰ（2） 日本語表現Ⅱ（2） ○ 日本古典文法Ⅰ（2） 日本古典文法Ⅱ（2） 日本語音声学（2）	中学：12単位以上 高校：14単位以上
	国文学 (国文学史を含む。)	日本近代文学（2） ○ 日本文学概論（2） 日本古典文学Ⅰ（2） 日本古典文学Ⅱ（2）	4単位以上
	漢文学	○ 漢文学概論Ⅰ（2） 漢文学概論Ⅱ（2）	2単位以上
	書道 (書写を中心とする。)	● 書 道（2）	中学：2単位 高校：－（※）
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 国語科教育法Ⅰ（2） ○ 国語科教育法Ⅱ（2） ● 国語科教育法Ⅲ（2） ● 国語科教育法Ⅳ（2）	中学：8単位 高校：4単位以上	
教科及び教科の指導法に関する科目の合計			中学：28単位以上 高校：24単位以上

※高等学校教諭一種免許状に「書道」は配当されていません。

(5) 各教科の指導法の配当年次一覧

(2025年度入学者適用)

免許状の種類	2年次配当科目		3年次配当科目	
	科目名 (単位数)		科目名 (単位数)	
英 語	英語科教育法Ⅰ	(2)	英語科教育法Ⅲ	(2)
	英語科教育法Ⅱ	(2)	英語科教育法Ⅳ	(2)
中国語	中国語科教育法Ⅰ	(2)	中国語科教育法Ⅲ	(2)
	中国語科教育法Ⅱ	(2)	中国語科教育法Ⅳ	(2)
イスパニア語	イスパニア語科教育法Ⅰ	(2)	イスパニア語科教育法Ⅲ	(2)
	イスパニア語科教育法Ⅱ	(2)	イスパニア語科教育法Ⅳ	(2)
国 語	国語科教育法Ⅰ	(2)	国語科教育法Ⅲ	(2)
	国語科教育法Ⅱ	(2)	国語科教育法Ⅳ	(2)

※英語科教育法の履修は、Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳの順に履修・単位修得することが望ましい。

9 教育の基礎的理解に関する科目等

教育の基礎的理解に関する科目等は、次に定められた必要単位数を修得してください。

なお、次の表で○印が付いた科目は必修科目、●印が付いた科目は中学校教諭一種免許状の必修科目です。

(2025年度入学者適用)

免許法の科目区分	本学の開設科目名 (単位数)	配当年次	必要単位数
教育の基礎理解に関する科目	○ 教 育 原 理 (2) ○ 教 育 史 (2) ○ 教 職 論 (2) ○ 教 育 社 会 学 (2) ○ 生 涯 学 習 概 論 (2) ○ 教 育 ・ 発 達 心 理 学 (2) ○ 特 別 支 援 教 育 論 (2) ○ 教 育 課 程 論 (2)	1年 1年 1年 1年 1年 1年 1年	12単位以上
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	● 道徳教育指導論 (2) ○ 総合的な学習の時間指導論 (1) ○ 特 別 活 動 論 (2) ○ 教 育 方 法 (2) ○ 教 育 と I C T 活 用 (2) ○ 生 徒 指 導 論 (2) ○ 教 育 相 談 (カウセリングを含む) (2) ○ 進 路 指 導 論 (2)	2年 1年 2年 2年 2年 2年 2年	中学：15単位 高校：13単位以上
教育実践に関する科目	○ 教育実習(事前・事後指導) (1) ○ 教 育 実 習 Ⅰ (2) ● 教 育 実 習 Ⅱ (2) ○ 教職実践演習(中・高) (2)	3・4年 4年 4年 4年	中学：7単位 高校：5単位以上

※中学校教諭一種免許状の取得希望者は、必ず「道徳教育指導論」(2単位)と「教育実習Ⅱ」(2単位)の単位を修得してください(必修)。

※「教育実習(事前・事後指導)」は、3年次後期及び4年次前期に履修する年度をまたがる科目のため、必ず3年次後期から履修してください。

10 大学が独自に設定する科目

大学が独自に設定する科目は、次に定められたとおり、中学校各教科は「介護等体験」（2単位）、高等学校各教科は「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の必要単位数超過分単位が、合計5単位以上（英語の免許状は除く）になるよう履修し、単位を修得してください。

（2025年度入学者適用）

科目の区分	科目名	中学校教諭一種免許状		高等学校教諭一種免許状	
		英語・中国語・イスパ ^ニ 語・国語	英語	中国語・イスパ ^ニ 語・国語	英語
大学が独自に設定する科目	介護等体験	2単位			5単位以上
	教科及び教科の指導法に関する科目の必要単位数超過分単位	-		-	
	教育の基礎的理解に関する科目等の必要単位数超過分単位	-		-	
合計		2単位		-	5単位以上

- ※ 「道德教育指導論」は、教育の基礎的理解に関する科目等の必要単位数超過分単位として認定されません。
- ※ 中学校教諭一種免許状取得希望者は必ず「介護等体験」（2年次配当）の単位を修得してください（必修）。
また、高等学校教諭一種免許状取得希望者が「介護等体験」の単位を取得した場合は、「大学が独自に認定する科目」（5単位以上）に充当されず（英語の免許状を除く）。

11 履修カルテについて

教職課程履修者の学修状況をきめ細かく把握し、指導・助言に活用するために「履修カルテ」を使用します。詳細については、教職課程ガイダンスにおいて説明しますが、「教育実習（事前・事後指導）」、「教職実践演習（中・高）」を履修するうえで、必要となりますので、教職課程ガイダンスには必ず出席してください。

12 教育実習について

- (1) 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」を実施するためには、以下のことが必要になります。
 - ① 「教職論」を修得していること。
 - ② 「(教育実習を実施する教科の)教科教育法」を修得していること。
 - ③ 「総合的な学習の時間指導論」、「道德教育指導論」、「特別活動論」のうち1科目以上を修得していること。
(高等学校教諭免許状のみを取得希望する者は、「総合的な学習の時間指導論」・「特別活動論」のうち1科目以上を修得していること。)
 - ④ 「教育実習（事前・事後指導）」を3年生で履修し、担当教員が教育実習への派遣を許可していること。
 これらすべての要件を満たさない場合は、実習が中止となりますので、注意してください。
- (2) 教育実習期間は、概ね中学校教諭一種免許状の取得希望者は3～4週間、高等学校教諭一種免許状取得希望者は2週間です。ただし、受入校により若干異なる場合があります。
- (3) 実習校の決定に当たっては、第一に出身校を選び、教育実習を実施する前年度（3年次）中に内諾依頼書を持参のうえ、出身校を訪問し、内諾を得てください。なお、万が一内諾を得ることが出来なかった場合には、八王子学務課に申し出てください。

- (4) 出身校が都立高等学校・都内公立中学校及び拓殖大学第一高等学校の場合は、事前打合せ・実習期間等が予め指定されますので、教職課程ガイダンス時等の指示に従ってください。
- (5) 「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の成績は、大学での「教育実習（事前・事後指導）」の成果、実習生が作成する「教育実習記録」の内容、及び実習校における教育実習状況を総合的に評価し、**4年次の後期に発表**します。
- (6) 教育実習の実習日数により、認定される科目及び認定単位数が次のとおり異なります。
 - ① 2週間実施：「教育実習Ⅰ」（2単位）を認定
 - ② 3週間以上実施：「教育実習Ⅰ」（2単位）と「教育実習Ⅱ」（2単位）を認定
- (7) 教育実習に関わる諸費用として、4年次初めに教育実習費5,000円を指定期日までに八王子学務課に納入してください。ただし、実習校によっては、別途謝礼金が必要になる場合があります。

13 中学校教諭一種免許状取得のための「介護等体験」について

中学校教諭一種免許状を取得するためには、介護等の体験が7日間（福祉施設：5日間、特別支援学校：2日間）必要となります。

- (1) 介護等体験を行うためには、「介護等体験（講義）」（2年次配当）を履修登録し、事前指導を受けることが必要条件です。
- (2) 介護等体験施設については、希望する学生を大学で取りまとめ、教育委員会・施設・学校等に依頼後決定しますので、指定された期間内に「介護等体験申込書」を八王子学務課に提出してください。
- (3) 介護等体験実習費として5,000円、施設・学校への謝礼金として11,000円（2024年度実績）をそれぞれ指定期日までに八王子学務課に納入してください。
なお、介護等体験の実習に際し、「学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険」〔保険料：210円 2024年度実績〕への加入が必要となります。
※ 金額は変更になる場合があります。
- (4) 介護等体験実習は、大学での「介護等体験（講義）」の成果、施設・学校が発行する「介護等体験証明書」及び体験者が作成する「介護等体験記録簿」等の評価を総合的に評価し、履修年度の**後期成績発表時に認定**します。

14 免許状の申請手続き

- (1) 卒業時に免許状を取得する場合（大学一括申請）
 - ① 4年次に配布する「教育職員免許状一括申請申込書」を指定期日までに、八王子学務課へ提出してください。
 - ② 申請書提出者に対し、免許状申請説明会を11月下旬から12月上旬頃に開催します。説明会にて、免許状記載事項の確認、宣誓書への署名捺印及び申請料金の納付（1教科：3,300円 2024年度実績）等の手続きを行います。
 - ③ 上記の手続きを完了し、免許状取得に必要な単位を修得し卒業が確定した者について、大学で取りまとめのうえ東京都教育委員会へ申請手続を行い、卒業式当日に免許状を授与します（印鑑持参）。
- (2) 卒業後に免許状を取得しようとする場合（個人申請）
卒業後、各自が居住する都道府県教育委員会に必要な書類を揃えて申請することにより免許状が取得できます（詳細は居住する都道府県教育委員会に確認してください）。

15 教職課程科目 科目ナンバリング

区 分		授業科目名	配当 年次	ナンバリング	単位数
教科及び教 科の指導法に 関する科目	各教科の指導法	英語科教育法Ⅰ	2	UTL-2-201-20	2
		英語科教育法Ⅱ	2	UTL-2-201-21	2
		英語科教育法Ⅲ	3	UTL-2-201-22	2
		英語科教育法Ⅳ	3	UTL-2-201-23	2
		中国語科教育法Ⅰ	2	UTL-2-201-24	2
		中国語科教育法Ⅱ	2	UTL-2-201-25	2
		中国語科教育法Ⅲ	3	UTL-2-201-26	2
		中国語科教育法Ⅳ	3	UTL-2-201-27	2
		イスパニア語科教育法Ⅰ	2	UTL-2-201-28	2
		イスパニア語科教育法Ⅱ	2	UTL-2-201-29	2
		イスパニア語科教育法Ⅲ	3	UTL-2-201-30	2
		イスパニア語科教育法Ⅳ	3	UTL-2-201-31	2
		国語科教育法Ⅰ	2	UTL-2-201-16	2
		国語科教育法Ⅱ	2	UTL-2-201-17	2
		国語科教育法Ⅲ	3	UTL-3-201-18	2
		国語科教育法Ⅳ	3	UTL-3-201-19	2
教育の基礎的 理解に関する 科目等	教育の基礎的理解 に関する科目	教育原理	1	UTL-1-301-01	2
		教育史	1	UTL-1-301-02	2
		教職論	1	UTL-1-301-03	2
		教育社会学	1	UTL-1-301-04	2
		生涯学習概論	1	UTL-1-301-05	2
		教育・発達心理学	1	UTL-1-301-06	2
		特別支援教育論	1	UTL-1-301-07	2
		教育課程論	1	UTL-1-301-08	2
	道徳、総合的な学 習の時間等の指導 法及び生徒指導、 教育相談等に関す る科目	道徳教育指導論	2	UTL-2-311-01	2
		総合的な学習の時間指導論	1	UTL-1-311-02	1
		特別活動論	2	UTL-2-311-03	2
		教育方法	2	UTL-2-311-04	2
		教育とICT活用	2	UTL-2-311-05	2
		生徒指導論	2	UTL-2-311-06	2
		教育相談（カウンセリングを含む）	2	UTL-2-311-07	2
		進路指導論	2	UTL-2-311-08	2
	教育実践に関する 科目	教育実習（事前・事後指導）	3	UTL-3-321-01	1
		教育実習Ⅰ	4	UTL-4-321-02	2
		教育実習Ⅱ	4	UTL-4-321-03	2
		教職実践演習（中・高）	4	UTL-4-321-04	2
大学が独自に設定する科目		介護等体験	2	UTL-2-401-01	2

拓殖大学日本語教員養成講座 履修要項

【 英米語学科・中国語学科・スペイン語学科 】

1 拓殖大学日本語教員養成講座の概要

本講座は、日本語を母語としない人（主に外国人）を対象に、外国語として日本語を教えるうえで必要な知識・技能を学ぶ講座です。

日本語学習者は、国内 26 万人（※1）、海外 379 万人（※2）を数えます。一度コロナ禍で減少したものの、ふたたび大きく増加しており、多くの日本語教員が国内外で必要とされています。また、日本語教員の養成は、海外との交流のかけ橋となるという本学の建学の理念にも沿ったものです。

今後、日本国内の正規の日本語学校（認定日本語教育機関）で日本語教員として活躍するためには、2024 年 4 月より国家資格となった「登録日本語教員」の資格を有する必要があります。資格を取得するには、日本語教員試験（基礎試験および応用試験）に合格し、実践研修を修了しなければいけません。本講座の 14 科目 27 単位を修得することにより、資格取得に必要な日本語教員試験（基礎試験）および実践研修が免除されます。

したがって、本講座を修了し、日本語教員試験（応用試験）に合格すると「登録日本語教員」の資格を得ることができます。

本講座の修了者のうち、一定以上の水準に達した者には、本学大学院言語教育研究科日本語教育学専攻に進学する道も開かれています。

なお、開講キャンパスは八王子国際キャンパスのみとなります。

※1 2023 年度文化庁調べ、※2 2021 年度国際交流基金調べ

2 拓殖大学日本語教員養成講座の登録

（1）登録方法

拓殖大学日本語教員養成講座に登録し、科目を履修するには、次の手続が必要です。なお、登録手続は初年度のみで、一度登録した者については、翌年度以降は自動継続されます。

①登録料の納付	登録初年度の指定時期（4月）に、登録料を納付する。
②登録の申請	Web 履修登録の『資格申請』で「日本語教員」を申請してください。

※登録料の納付時期・方法については、新年度の日本語教員養成講座ガイダンスにて指示します。

（2）登録料

拓殖大学日本語教員養成講座の登録料は、10,000円です。

ただし、教職課程と併せて登録する場合には、15,000円（2講座）となります。

3 拓殖大学日本語教員養成講座の開設科目と必要単位

拓殖大学日本語教員養成講座を修了するためには、次の科目すべての単位を修得してください。

(2025年度入学者適用)

科目名	単位数	配当年次	文化庁で示す3領域5区分16下位区分による 必須の教育内容(50項目)
日本語学概論Ⅰ	(2)	1年	(11) 待遇・敬意表現 (37) 一般言語学 (38) 対照言語学 (39) 日本語教育のための日本語分析 (40) 日本語教育のための音韻・音声体系 (41) 日本語教育のための文字と表記 (42) 日本語教育のための形態・語彙体系 (43) 日本語教育のための文法体系 (44) 日本語教育のための意味体系
日本語学概論Ⅱ	(2)	1年	(8) 社会言語学 (10) コミュニケーションストラテジー (11) 待遇・敬意表現 (14) 談話理解 (15) 言語学習 (37) 一般言語学 (38) 対照言語学 (45) 日本語教育のための語用論的規範
日本語教育概論	(2)	1年	(3) 多文化共生 (4) 日本語教育史 (7) 世界と日本の日本語教育事情 (13) 多言語・多文化主義 (16) 習得過程(第一言語・第二言語) (19) 日本語学習・教育の情意的側面 (24) 教授法 (34) コミュニケーション教育 (41) 日本語教育のための文字と表記 (43) 日本語教育のための文法体系
日本語教育文法Ⅰ	(2)	1年	(43) 日本語教育のための文法体系
日本語教育文法Ⅱ	(2)	1年	(43) 日本語教育のための文法体系
教育日本語総合A	(2)	2年	(1) 世界と日本の社会と文化 (2) 日本の在留外国人施策 (3) 多文化共生 (4) 日本語教育史 (5) 言語政策 (6) 日本語の試験 (7) 世界と日本の日本語教育事情
教育日本語総合B	(2)	2年	(9) 言語政策とことば (12) 言語・非言語行動 (39) 日本語教育のための日本語分析 (44) 日本語教育のための意味体系 (45) 日本語教育のための語用論的規範
教育日本語総合C	(2)	2年	(15) 言語学習 (16) 習得過程(第一言語・第二言語) (17) 学習ストラテジー (18) 異文化受容・適応 (26) 評価法 (29) 中間言語分析 (30) 授業分析・自己点検能力 (32) 異文化間教育 (33) 異文化間コミュニケーション (34) コミュニケーション教育
日本語教授法Ⅰ	(2)	1年	(20) 日本語教師の資質・能力 (21) 日本語教育プログラムの理解と実践 (22) 教室・言語環境の設定 (24) 教授法 (35) 日本語教育とICT
日本語教授法Ⅱ	(2)	1年	(23) コースデザイン (25) 教材分析・作成・開発 (27) 授業計画 (31) 目的別・対象別教授法
日本語教育教材論	(2)	1年	(7) 世界と日本の日本語教育事情 (23) コースデザイン (25) 教材分析・作成・開発 (31) 目的別・対象別教授法 (35) 日本語教育とICT (36) 著作権
日本語教育実践演習 (※)	(2)	3年	(25) 教材分析・作成・開発 (27) 授業計画 (28) 教育実習 (46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力
日本語教育実習 (※)	(1)	3年	(28) 教育実習 (46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力
異文化間理解	(2)	1年	(3) 多文化共生 (18) 異文化受容・適応 (19) 日本語学習・教育の情意的側面 (32) 異文化間教育 (33) 異文化間コミュニケーション
必要な科目(単位)の合計 : 14科目 (27単位)			カッコ書き数字は、文化庁で示す3領域5区分 16下位区分による必須の教育内容(50項目)の番号

※「日本語教育実践演習」および「日本語教育実習」の履修には条件があります。

詳細は118ページを確認してください。

【参考】文化庁で示す3領域5区分16下位区分による必須の教育内容(50項目)との対応表

3領域	5区分	求められる単位数	拓殖大学日本語教員養成講座 開講科目名・単位数	
社会・文化・地域に関わる領域	[丸囲み数字] 16下位区分 [カッコ書き数字] 必須の教育内容(50項目)			
	① 世界と日本 (1) 世界と日本の社会と文化	2~4	日本語教育概論 (2) 教育日本語総合A (2) 日本語教育教材論 (2) 異文化間理解 (2)	
	② 異文化接触 (2) 日本の在留外国人施策 (3) 多文化共生(地域社会における共生)			
	③ 日本語教育の歴史と現状 (4) 日本語教育史 (5) 言語政策 (6) 日本語の試験 (7) 世界と日本の日本語教育事情			
	④ 言語と社会の関係 (8) 社会言語学 (9) 言語政策とことば	2~4	日本語学概論Ⅰ (2) 日本語学概論Ⅱ (2) 日本語教育概論 (2) 教育日本語総合B (2)	
	⑤ 言語使用と社会 (10) コミュニケーションストラテジー (11) 待遇・敬意表現 (12) 言語・非言語行動			
	⑥ 異文化コミュニケーションと社会 (13) 多文化・多言語主義			
	⑦ 言語理解の過程 (14) 談話理解 (15) 言語学習	2~4	日本語学概論Ⅱ (2) 日本語教育概論 (2) 教育日本語総合C (2) 異文化間理解 (2)	
	⑧ 言語習得・発達 (16) 習得過程(第一言語・第二言語) (17) 学習ストラテジー			
	⑨ 異文化理解と真理 (18) 異文化受容・適応 (19) 日本語の学習・教育の情意的側面			
	教育に関わる領域	⑩ 言語教育法・実習 (20) 日本人教師の資質・能力 (21) 日本語教育プログラムの理解と実践 (22) 教室・言語環境の設定 (24) 教授法 (29) 中間言語分析 (31) 目的・対象別日本語教育法	2~4	日本語教育概論 (2) 教育日本語総合C (2) 日本語教授法Ⅰ (2) 日本語教授法Ⅱ (2) 日本語教育教材論 (2)
		(23) コースデザイン (25) 教材分析・作成・開発 (27) 授業計画	2~6	日本語教授法Ⅱ (2) 日本語教育教材論 (2) 日本語教育実践演習 (2)
		(28) 教育実習	1~3	日本語教育実践演習 (2) 日本語教育実習 (1)
		(26) 評価法 (30) 授業分析・自己点検能力	2	教育日本語総合C (2)
		⑪ 異文化間教育とコミュニケーション教育 (32) 異文化間教育 (33) 異文化コミュニケーション (34) コミュニケーション教育	2	日本語教育概論 (2) 教育日本語総合C (2) 異文化間理解 (2)
		⑫ 言語教育と情報 (35) 日本語教育とICT (36) 著作権	2	日本語教授法Ⅰ (2) 日本語教育教材論 (2)
言語に関わる領域		⑬ 言語の構造一般 (37) 一般言語学 (38) 対照言語学	2	日本語学概論Ⅱ (2)
		⑭ 日本語の構造 (39) 日本語教育のための日本語分析 (40) 日本語教育のための音韻・音声体系 (41) 日本語教育のための文字と表記 (42) 日本語教育のための形態・語彙体系 (43) 日本語教育のための文法体系 (44) 日本語教育のための意味体系 (45) 日本語教育のための語用論的規範	4~8	日本語学概論Ⅰ (2) 日本語学概論Ⅱ (2) 日本語教育概論 (2) 日本語教育文法Ⅰ (2) 日本語教育文法Ⅱ (2)
		⑮ 言語研究	-	
		⑯ コミュニケーション能力 (46) 受容・理解能力 (47) 言語運用能力 (48) 社会文化能力 (49) 対人関係能力 (50) 異文化調整能力	2	日本語教育実践演習 (2) 日本語教育実習 (1)
26~45単位			必要な単位の合計：27単位	

4 拓殖大学日本語教員養成講座の履修上の注意事項

拓殖大学日本語教員養成講座科目の科目は配当（履修）年次を定めていますので、計画的に履修してください。3年次からの2年間、あるいは4年次の1年間では、時間割の関係ですべての科目を履修できない場合がありますので、遅くとも2年次からの受講を推奨します。

(1) 「日本語教育実践演習」および「日本語教育実習」の履修について

この2科目を履修するには、日本語教育についての一定の知識が必要になるため、履修登録時までに①に示す7科目14単位を修得している必要があります。

また、履修するにあたって、②に示されているとおりに履修してください。

①履修登録する時までに以下の7科目14単位を修得していること。

科目名	科目名
日本語学概論Ⅰ	日本語教授法Ⅰ
日本語教育概論	日本語教授法Ⅱ
日本語教育文法Ⅰ	日本語教育教材論
日本語教育文法Ⅱ	

②「日本語教育実践演習」と「日本語教育実習」は同時に履修すること。または先に「日本語教育実践演習」を履修し、次年度に「日本語教育実習」を履修すること。

「日本語教育実習」のみ先に履修することはできない。

5 修了証および単位修得証明書の申請

修了証の発行および単位修得証明書の交付を希望する学生は、修了に必要な単位を全て修得したうえで（修得予定可）、卒業年次に以下の手続きをおこなってください。申請方法等詳細については、ポータルサイト（Takudai Portal）でお知らせします。

(1) 修了証の申請

- ① 申請期間 12月上旬を予定
- ② 提出書類等 修了証申請書（所定用紙に必要事項を記入）、学業成績表（写）
- ③ 修了証の交付 卒業式当日

(2) 単位修得証明書の申請

- ① 申請期間 別途指定する期間（卒業確定者発表以降、指定期日まで）
- ② 費用 1通 400円（証明書自動発行機で申請書を購入してください）
- ③ 証明書の交付 卒業式当日

(3) 修得科目の授業内容等（シラバス）の提出を求められたとき

単位修得年度の「講義要項」を拓殖大学ホームページ上で検索し、印刷してください。

- 本講座は、文化庁が定める日本語教師養成課程の新カリキュラムにも対応済みで、3領域5区分16下位区分による必須の教育内容（50項目）が、各科目のシラバスに反映されています。

区分	授業科目名	配当年次	ナンバリング	単位数
日本語教員養成講座	日本語学概論Ⅰ	1	UJE-1-201-21	2
	日本語学概論Ⅱ	1	UJE-1-201-22	2
	日本語教育概論	1	UJE-1-201-23	2
	日本語教育文法Ⅰ	1	UJE-1-201-24	2
	日本語教育文法Ⅱ	1	UJE-1-201-25	2
	教育日本語総合A	2	UJE-2-201-26	2
	教育日本語総合B	2	UJE-2-201-27	2
	教育日本語総合C	2	UJE-3-201-28	2
	日本語教授法Ⅰ	1	UJE-1-201-29	2
	日本語教授法Ⅱ	1	UJE-1-201-30	2
	日本語教育教材論	1	UJE-1-201-31	2
	日本語教育実践演習	3	UJE-3-201-32	2
	日本語教育実習	3	UJE-3-201-33	1
	異文化間理解	1	UJE-1-201-34	2

拓殖大学学則(抄)

第1章 総則

(目的)

第1条 拓殖大学(以下「本学」という。)は、海外に赴き、地域の開発協力や福利の向上など、公私の事業に貢献できる有為の人材を育成するという建学の初志をふまえ、教育基本法の精神を体し、学校教育法に定める大学の役割を果たすべく、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究して、人格を陶冶し社会の発展に貢献できる有為の人材を育成することを目的とする。

2 第4条に定める学部、学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表第1に定める。

(使命)

第2条 本学は、積極進取の気概とあらゆる民族から敬慕されるに値する教養と品格を具えた有為の人材の育成を建学の理念としている。この国際友愛と人間尊重の理念に基づき、日本及び世界の平和と文化の進展に寄与していくことを使命とする。

(自己点検・評価)

第3条 本学は、教育研究水準の向上に資するため、本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価に関する必要な事項は、別に定める。

第2章 組織

(学部及び学科の設置)

第4条 本学に、商学部、政経学部、外国語学部、工学部及び国際学部を置く。

(1) 商学部は、経営学科、国際ビジネス学科及び会計学科を置く。

(2) 政経学部は、法律政治学科、経済学科及び社会安全学科を置く。

(3) 外国語学部は、英米語学科、中国語学科、スペイン語学科及び国際日本語学科を置く。

(4) 工学部は、機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科及びデザイン学科を置く。

(5) 国際学部は、国際学科を置く。

(入学定員及び収容定員)

第5条 前条に規定する各学科の入学定員及び収容定員は、次の通りとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
商学部	経営学科	416名 (※外国人留学生特別枠36名を含む)	1,664名 (※外国人留学生特別枠144名を含む)
	国際ビジネス学科	159名 (※外国人留学生特別枠9名を含む)	636名 (※外国人留学生特別枠36名を含む)
	会計学科	70名	280名
政経学部	法律政治学科	230名	920名
	経済学科	473名 (※外国人留学生特別枠23名を含む)	1,892名 (※外国人留学生特別枠92名を含む)
	社会安全学科	150名	600名
外国語学部	英米語学科	130名	520名
	中国語学科	50名	200名
	スペイン語学科	50名	200名
	国際日本語学科	50名	200名
工学部	機械システム工学科	80名	320名
	電子システム工学科	80名	320名
	情報工学科	105名	420名
	デザイン学科	80名	320名
国際学部	国際学科	350名	1,400名

(大学院)

第6条 本学に、大学院を置く。

2 大学院に関する規則は、別に定める。

(別科)

第7条 本学に、別科を置く。

2 別科に関する規則は、別に定める。

(附置研究所)

第8条 本学に、附置研究所として、経営経理研究所、政治経済研究所、言語文化研究所、理工学総合研究所、人文科学研究所、海外事情研究所、国際日本文化研究所、国際開発研究所、日本語教育研究所、イスラーム研究所、地方政治行政研究所、産学連携研究センター及び地域連携センター(以下「研究所」という。)を置く。

2 研究所に関する規則は、別に定める。

(図書館)

第9条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する規則は、別に定める。

(事務組織等)

第10条 本学に、事務局、学生支援センター、入学支援センター、総合情報センター、就職キャリアセンター及び国際交流留学生センターを置く。

2 本学の事務組織、学生支援センター、入学支援センター、総合情報センター、就職キャリアセンター及び国際交流留学生センターに関する規則は別に定める。

第3章 職員組織

(職員)

第11条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、助教、講師、助手、学生主事、学生主事補、事務職員及びその他必要な職員を置く。

(学長)

第12条 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(副学長)

第13条 副学長は、学長を補佐し、命を受けて、校務を統括する。

(学部長)

第14条 各学部に、学部長を置く。

2 学部長は、その学部の教授のうちからこれをあてる。

3 学部長は、学長を補佐し、当該学部の校務を統括する。

(研究所長等)

第15条 研究所に、研究所長又はセンター長を置く。

(図書館長)

第16条 図書館に、図書館長を置く。

第4章 教授会

(学部教授会)

第17条 本学の各学部に、教授会を置く。

2 学部教授会は、当該学部の専任の専任の教授、准教授及び助教をもって構成する。ただし、その他の教育職員も出席させることができる。

3 学部教授会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) 教授会の運営に関する事項

(2) 教育課程の編成、変更、実施及び講義担当に関する事項

(3) 学部長の選挙に関する事項

(4) 教員人事に関する事項

(5) 各種委員会に関する事項

(6) 名誉教授の推薦に関する事項

(7) 学則に関する事項

(8) 学生の入学、退学、休学、進級、復学、転部、転科、留学、除籍、卒業及び課程の修了、学位の授与に関する事項

- (9) 学生の試験に関する事項
 - (10) 奨学生の選考に関する事項
 - (11) 学生の賞罰に関する事項
 - (12) 学生団体、学生活動、その他学生生活に関する事項
 - (13) 教授会規程の改廃に関する事項
 - (14) その他当該学部の運営上重要な事項
- 4 前項第4号の審議及び議決には、准教授及び助教は参加することができない。
 - 5 前3項に掲げる審議事項のうち、学生の入学、卒業及び課程の修了、学位の授与については、学長が決定を行うにあたり、必ず意見を述べなければならない。
 - 6 学部教授会において審議、議決された事項は、学部長から学長に報告し、学長が決定する。
 - 7 学部教授会に関するその他必要な事項は、別に定める。
(連合教授会)

第18条 本学に、連合教授会を置く。

- 2 連合教授会は、各学部の専任の教授をもって構成する。ただし、その他の教育職員も出席させることができる。
- 3 連合教授会は、学長が次に掲げる事項を決定するにあたり意見を述べるものとする。
 - (1) 学部教授会から附託された事項
 - (2) その他各学部に共通する事項
- 4 連合教授会に関するその他必要な事項は、別に定める。

第5章 学年・学期及び休業日

(学年)

第19条 学年は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第20条 学年は、次の2学期に分ける。

- 前学期 4月1日から9月30日まで
後学期 10月1日から3月31日まで
(授業期間)

第21条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(休業日)

第22条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (2) 本学の創立記念日(11月3日)
 - (3) 春季休業日 3月24日から3月31日まで
 - (4) 夏季休業日 7月11日から9月10日まで
 - (5) 冬季休業日 12月25日から翌年1月7日まで
- 2 学長は、教授会の議を経て前項に規定する休業日を変更することができる。
 - 3 第1項に規定するもののほか、学長は、教授会の議を経て臨時的休業日を定めることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第23条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第24条 学生は、6年をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、8年以内の期間、在学することができる。

- 2 第30条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学年数の1.5倍の年数(端数が生じた場合は切上げた数)をこえて在学することができない。ただし、教授会の議を経て学長が許可した場合は、その2倍に相当する年数以内の期間、在学することができる。

第7章 入学

(入学の時期)

第25条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第26条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年1月31日文部科学省令第1号)により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度試験に合格した者
- (7) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第27条 本学へ入学を志願する者は、入学志願書に別表第2-1に定める入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

2 入学検定料は、受験の如何にかかわらずこれを返還しない。

(入学者の選考)

第28条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第29条 選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書・同意書その他所定の書類を提出するとともに、別表第2-2に定める学費及び所定の諸会費(以下「学費等」という。)を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学及び転入学)

第30条 次の各号の一に該当する者で、本学へ入学を志願するときは、学長は、欠員のある場合に限り、教授会の議を経て、相当学年に入学を許可することができる。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 短期大学、高等専門学校を卒業した者
 - (3) 他の大学を退学した者
 - (4) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の課程を修了し、又は卒業した者
 - (5) 大学入学資格を有し、専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
 - (6) 大学入学資格を有し、高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者
- 2 前項及び第31条の規定により入学を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が教授会の議を経て決定する。

(再入学)

第31条 学長は、本学の退学者及び除籍者が再入学を願出たときは、次の各号に該当する者を除き、欠員がある場合に限り、教授会の議を経て相当学年に入学を許可することができる。

- (1) 第54条第2項により放校退学された者
- (2) 第54条第2項による論旨退学者で退学決定日より1年以上経過していないとき。
- (3) 第50条第2号により除籍された者

(保護者等)

第32条 入学の許可を得た者は、保護者等を届け出なければならない。

2 保護者等は、父母若しくはこれに準ずる者とする。

3 保護者等は、学生が学修研究活動等を円滑に遂行していくうえで、大学と連携し、学生を指導・支援しなければならない。

第8章 教育課程及び履修方法

(授業科目)

第33条 授業科目は、全学共通教養科目、外国語科目、初期教育科目、専門科目、ゼミナール科目、自由科目、教職課程科目及び拓殖大学日本語教員養成講座科目等とする。

(メディアを利用して行う授業)

第34条 学長は、本学が教育上有益と認めるときは、前条の授業科目を、教授会の議を経て、多様なメディアを高度に利用して、教室以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を限度とする。

(履修方法)

第35条 授業科目の履修方法及び修得すべき単位数は、別表第3のとおりとする。

(単位の計算方法)

第36条 授業科目の単位計算方法は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間を標準とし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、ゼミナール論文、卒業論文、卒業研究等については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合は、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

3 授業科目の単位数は、教授会の議を経て学長が定める。

(教育職員免許状の授与)

第37条 教育職員の資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める単位を修得しなければならない。

2 本学の学部及び学科において取得できる教育職員免許状の種類は、別表第4の通りである。

第9章 試験・成績及び進級

(履修届の提出)

第38条 学生は、毎年度所定の期日までに、履修すべき授業科目を記載した履修届を提出しなければならない。

(試験)

第39条 履修した授業科目は、試験その他の適切な方法等(以下「試験等」という。)により学修の成果を評価し、合格した者に単位を与える。

2 学費等を納付していない者、休学又は停学の期間中の者等には、単位を与えることができない。

3 試験等の実施については、別に定める。

(成績等)

第40条 学生に対して、授業の方法及び内容並びに授業の計画をあらかじめ明示する。

2 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行う。

3 授業科目の成績評価は、S、A、B、C及びFをもって表わし、S、A、B及びCを合格とする。

(進級)

第41条 上級の学年に進級する基準は、別に定める。

第10章 休学・転学・転部・転科・留学・退学及び除籍

(休学)

第42条 疾病その他の事由により3カ月以上修学することができない者は、学長の許可を受けて休学することができる。

2 学長は、疾病のため修学することが適当でないと認められた者に対し休学を命ずることができる。

(休学期間)

第43条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事由がある場合は、さらに1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年をこえることはできない。

3 休学期間は、第24条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第44条 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を受けて復学することができる。

(転入学)

第45条 他の大学へ入学又は転入学を志願しようとする者は、学長に届け出なければならない。

(転部及び転科)

第46条 学長は、他の学部へ転部又は他の学科へ転科することを志願する者に対し、欠員がある場合に限り、教授会の議を経て、許可することができる。

(単位認定等)

第47条 学長は、本学が教育上有益と認めるときは、次の各号の一に該当する単位等は、教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

(1) 本学が定める他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位

(2) 短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし与えることができる単位

(3) 学生が本学に入学する前に大学又は短期大学(いずれも外国の大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位及びその他文部科学大臣が別に定める学修を本学に入学した後の本学における授業科目の履修とみなし与えることができる単位

2 前項により認定することのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、60単位を限度とする。

(留学)

第48条 本学の学生で、外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を受けて留学することができる。

2 前項の許可を受けて留学した期間は、第24条に定める在学期間に含めることができる。

3 前項の規定より履修し、修得した授業科目及び単位は、教授会の議を経て、商学部、政経学部、外国語学部、国際学部においては、30単位を限度として、工学部においては、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(退学)

第49条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第50条 学長は、次の各号の一に該当する者を、教授会の議を経て、除籍することができる。

(1) 学費等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第24条に定める在学年限をこえた者

(3) 第43条第2項に定める休学期間をこえて修学できない者

(4) 履修届の提出等在籍に要する手続を履行しない者

第11章 卒業及び学位

(卒業)

第51条 学長は、本学に4年(第30条第1項及び第31条の規定により入学した者については、第30条第2項により定められた在学すべき年数)以上在学し、別に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、卒業を認定する。

(学位の授与)

第52条 卒業した者には、次の区分に従い、学位を授与する。

商学部	経営学科 国際ビジネス学科 会計学科	学士(商学)
政経学部	法律政治学科 経済学科 社会安全学科	学士(法律政治学) 学士(経済学) 学士(法律政治学)
外国語学部	英米語学科 中国語学科 スペイン語学科 国際日本語学科	学士(英米語) 学士(中国語) 学士(スペイン語) 学士(日本語)

工学部	機械システム工学科 電子システム工学科 情報工学科 デザイン学科	学士(工学)
国際学部	国際学科	学士(国際開発)

- 2 学位の授与に関し、その他必要な事項は拓殖大学学位規程の定めるところによる。

第12章 賞罰

(表彰)

第53条 学長は、学生として表彰に価する行為があった者を教授会の議を経て表彰する。

(懲戒)

第54条 学長は、本学の規則に違反し、次の各号の一に該当する者に対し、教授会の議を経て、懲戒する。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 正当な理由がなく出席が常でない者
- (3) 本学の秩序を乱した者
- (4) 学生としての本分に反した者

- 2 前項の懲戒の種類は、放校退学、論旨退学、停学、謹慎、譴責及び訓戒とする。

第13章 科目等履修生・委託生・受託留学生及び研究生

(科目等履修生)

第55条 学長は、本学において一又は複数の授業科目について履修を志願する者があるときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生は、学期ごとに入学を許可する。
- 3 科目等履修生は、履修した授業科目の試験を受けることができる。試験に合格した者には、所定の単位を認定する。
- 4 科目等履修生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(委託生)

第56条 学長は、本学に対して官公庁、外国政府又は内外の企業・機関等から委託があったときは、各学部の教育に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、委託生として入学を許可することができる。

- 2 委託生は、学期ごとに入学を許可する。
- 3 委託生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(受託留学生)

第57条 学長は、外国の大学との協定に基づき、当該大学からの委託によって一定の期間本学に留学する者は、教授会の議を経て、受託留学生として入学を許可する。

- 2 受託留学生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(研究生)

第58条 学長は、指導教員の指導のもとに特定事項に関する研究をしようとする者があるときは、各学部の教育研究に支障のない場合に限り、教授会の議を経て、研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生は、学期ごとに入学を許可する。
- 3 研究生に関し、その他必要な事項については別に定める。

(学則の準用)

第59条 科目等履修生、委託生、受託留学生及び研究生には、本章に規定するほか、本学則の各章の規定を準用する。

第14章 学費等

(学費の額)

第60条 学費等の額は、別表第2-2及び別表第2-3に定めるとおりとする。

- 2 第30条第1項及び第31条の規定により入学を許可された者が納付すべき学費の額は、在学することとなる年次の学生に適用する学則に定める額とする。
- 3 卒業できない者及び上級の学年に進級できない者の学費は、別表第2-2に定める学費の額にかかわらず、滞留することとなる年次の学生に適用する学則に定める額とする。
- 4 学費の減免及び免除等の特例については、別に定める。

(学費等の納付)

第61条 学費及び所定の諸会費は、当該学年度分を別に定める期日までに納付しなければならない。

- 2 1学期を通じて休学する者に対しては、休学中の授業料及び施設設備資金を免除する。ただし、休学中は1学期につき50,000円の在籍料を納入しなければならない。
- 3 第48条に定める留学中の学費等は、全額納付しなければならない。

(学費等の返還)

第62条 納付した学費等は、事由の如何にかかわらず返還しない。ただし、入学手続時において別に定めるところにより入学を辞退する場合は、この限りでない。

第15章 奨学生

(奨学生)

第63条 学長は、学力優秀、品行方正な学生を、教授会の議を経て、奨学生とすることができる。

- 2 奨学生に関する規程は、別に定める。

第16章 公開講座

(公開講座)

第64条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

- 2 公開講座に関する規程は別に定める。

第17章 寄宿舍

(寄宿舍)

第65条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する規程は、別に定める。

第18章 雑則

(学則の変更)

第66条 この学則は、教授会の議を経て、学長の提案に基づき、理事会の議決により変更することができる。

附 則

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、令和6年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

拓殖大学研究倫理ガイドライン

1. 目的

拓殖大学研究倫理ガイドライン（以下「本ガイドライン」という。）は、拓殖大学（以下「本学」という。）における学術研究が科学的及び社会的規範に従い適切な方法で遂行され、社会からの信頼を確保することを目的に、研究に従事するすべての研究者が遵守すべき倫理指針及び研究活動上の不正行為に関する必要な事項を定めたものである。

2. 用語の定義

本ガイドラインにおいて用いる用語の定義は、次のとおりとする。

(1) 研究者

本学の専任教職員のみならず、本学で研究活動に従事するものすべての者を指し、学生であっても研究にかかわる時は研究者に準ずるものとする。

(2) 研究活動上の不正行為

- ① 故意又は研究者としてわかまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったことによる、ねつ造、改ざん、又は盗用。
 - ・ねつ造：存在しないデータ、研究結果等を作成すること
 - ・改ざん：研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること
 - ・盗用：他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること
- ② ①以外の研究活動上の不適切な行為であって、研究者の行動規範及び社会通念に照らして研究倫理からの逸脱の程度が甚だしい二重投稿、不適切なオーサiership
 - ・二重投稿：他の学術誌等に既発表又は投稿中の論文と本質的に同じ論文を投稿すること
 - ・不適切なオーサiership：論文著作者が適正に公表されないこと

3. 大学の責務

- (1) 本学は、研究倫理にかかわる意識を高め、研究活動における不正行為及び研究費の取り扱いにおける不正行為を防止するため、必要な措置を講じる。
- (2) 本学は、研究活動に不適切な行為が認められた場合は、速やかに原因の究明と適切な措置を講じ、学内外への説明責任を果たす。
- (3) 本学は、本学が研究者などに交付した研究費及び研究者などが学外から獲得した研究費を適切に管理し、研究費を支出又は支出後に、その支出が適正であるか確認し監査する。
- (4) 本学は、各研究科長、各学部長、別科長、各附置研究所長、事務局長を研究倫理教育責任者と定め、研究者による研究活動にかかわる法令等の違反を防止するため、必要な教育研修及び啓発活動を定期的に行う。
- (5) 本学は、研究活動における技術の提供や貨物の輸出について、法令等を遵守し安全保障輸出管理に努める。

4. 研究者の責務

(1) 基本事項

- ① 研究者は、社会倫理を逸脱しないよう自らを強く律し、研究活動を遂行する。
- ② 研究者は、利益相反や責務相反の発生に十分注意を払い、研究活動を遂行する。
- ③ 研究者は、研究倫理及び研究活動に係る法令等に関する研修又は科目等を受講しなければならない。
- ④ 研究者は、研究を進めるにあたり、データのねつ造、改ざん、盗用などの不正な行為を行わないことはもとより、論文等の形で発表された研究成果のもととなった実験データ等の研究資料は、当該論文等の発表から10年間の保存を原則とし、試料や標本などの有体物については5年間の原則とするなど適切な取り扱いを徹底し、不正行為の発生を未然に防ぐよう環境整備を図る。

- ⑤ 研究者は、研究活動の正当性の証明手段を確保するとともに、第三者による検証可能性を担保するため、研究のため収集した資料等の開示の必要性及び相当性が認められる場合には、これを開示する。
 - ⑥ 研究者は、研究費の使用にあたって、本学諸規程及び研究費ごとの決められた条件や使用ルールなどを遵守する。
 - ⑦ 研究者は、研究活動における技術の提供や貨物の輸出について、法令等を遵守し安全保障輸出管理に努める。
 - ⑧ 研究を指導する立場にある研究者は、研究者の研究活動に不正や法令等の違反が起きないように適切に指導・管理を行う。
- (2) 研究成果の適切な発表・オーサーシップの基準
- ① 研究者は、研究成果の公表に際して、データ根拠の信頼性や確保に十分留意し、公正かつ適切な引用を行う。
 - ② 研究者は、学術論文の発表に際して、オーサーシップやすでに発表されている関連データの利用、著作権について、各研究組織、研究分野、学術誌ごとにある固有のルールを十分に尊重する。
 - ③ 研究者は、共同研究における成果の発表に際しては、それぞれの研究者の実質的貢献度を適切に反映させ、研究者全員の了解のもとに行う。
- (3) 審査の公正性
- 研究者は、他者の研究論文の査読や審査にあたる場合、審査対象者に対して予断を持つことなく、学問的な基準や当該審査の審査基準に基づいて公正に審査を行う。
- (4) 個人情報の保護
- 研究者は、研究の過程で得られた個人情報を正当な理由なく他人に知らせ、又は不当な目的に利用しない。
- (5) ハラスメントの排除
- 研究者は、研究活動の遂行にあたり、本学におけるハラスメント防止に関する規則の精神に則り、いかなるハラスメントも行わない。
- (6) 利益相反の適正なマネジメント
- 研究者は、研究活動において、利益相反や責務相反の発生に十分な注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。
- (7) その他
- 「拓殖大学教員必携」(平成15年3月初版発行)にも則り、研究活動を遂行する。

5. 事務

このガイドラインに関する事務は、学務部学長事務室が行う。

6. 改廃

このガイドラインの改廃は、研究倫理・公的研究費適正化委員会の議を経て、理事長が決定する。

附 則

このガイドラインは、令和5年4月1日から施行する。

2025年（令和7年）4月1日発行

2025年度

拓殖大学 外国語学部 履修要項

[2025年度（令和7年度）入学者用]

■八王子国際キャンパス

学務部八王子学務課

〒193-0985

八王子市館町 815-1

<https://www.takushoku-u.ac.jp>

学 部	外 国 語 学 部
学 科	学 科
学生番号	
氏 名	